

【3101】教養科目 人文・社会分野			授業形態				担当教員名				開講年次		開講時期		開講学科					
倫理学				講義				齋藤雅俊				1年		後期		健康栄養学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格								単位認定の方法とフィードバックの有無				
2	15	30	必修		選択			管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理栄養士							
			2													期末試験				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》						《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート	55	無	
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任		生涯学習力	授業内小テスト		
																		授業内提出物	45	有
																		授業内活動		
																		その他		
																		計	100	
			フィードバックの方法																	
○ ○ ○ ○ — ○ ○ ○ ○ — — — ○ ○ ○ —																				
当該科目のキーワード			《知識・理解》		倫理思想史の歩みについての理解										コメントペーパー返却					
			《汎用的技能》		前項目について口頭、文章等で説明															
			《態度・志向性》		社会の形成者としての倫理観の涵養										アクティブラーニングの有無(内容)		無			
授業概要			倫理思想史の歩みについての理解を深めながら、倫理的な考え方やものの見方に慣れ親しんでいく。その際、古代ギリシア時代から現代にわたる倫理的な諸問題(価値の相対主義・絶対主義、カント倫理学・功利主義、ゲーム理論、性善説・性悪説、臓器移植等)にかかわる生命倫理、情報化社会における倫理・リテラシー、移民問題と自国のアイデンティティ、自他の利益相反etc...)を取り上げ、思考実験をしながら、「どのように生きるべきか」といった実存的問いについて各々が思索を深めていく。																	
授業の到達目標			倫理的な考え方やものの見方を身につけるために、 ①倫理の本質と目的、意義と理念について理解する。 ②これまでの倫理思想史の歩みについて理解する。 ③前項目について理解・修得したことを授業内で口頭発表したり、試験・レポート等で論述できる。																	
単位認定の要件			期末レポート(55点)＋コメントペーパー等授業内提出物(3点×15回分)＝60点以上																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																
			1	ガイダンス・倫理学とはどのような学問か？ 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
			2	倫理判断の原理① 価値の相対主義と絶対主義 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
			3	倫理判断の原理② 定言命法と仮言命法(カント倫理学) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
			4	倫理判断の原理③ 功利主義・最大多数の最大幸福(ベンサム、J. S. ミル) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
			5	自己利益の追求か他者との協力か？(四人のジレンマ) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
			6	個人の権利か社会の維持か？(自由主義と共同体主義) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
			7	犯罪者の人権をめぐる問題(死刑、少年法等) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
			8	性善説と性悪説 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
			9	グローバル社会・移民をめぐる問題 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
			10	管理社会・監視社会をめぐる問題 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
			11	生存権・命の尊厳をめぐる問題(生命倫理) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
			12	福祉をめぐる問題(自分の人生を優先するか親の介護を優先するか？) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
			13	規範意識・ルールを守るということ(『星野君の二壘打』より) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
			14	世間への無知・無関心、「他人事」ということ 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
15	他者・世界のために生きるということ(「全体の奉仕者」とは？) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																			
教科書・教材			特になし。																	
参考書・参考文献等			パワーポイントによるまとめプリントを配布する。なお、配布物が多いため、各自綴じるためのファイルを用意すること。																	
履修上の注意等			新聞・テレビ等の教育関連情報に関心をはらうこと。また、出欠の不正(中抜け、無断退出、代返、コメントペーパー代筆等)の他、成績評価に関わる全ての不正については単位認定を不可とする場合がある。																	
実務経験との関連			実務経験の有無	無																

【3103】教養科目 人文・社会分野			授業形態				担当教員名				開講年次		開講時期		開講学科							
日本国憲法			講義				小野昇平				1年		後期		健康栄養学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格								単位認定の方法と フィードバックの有無							
2	15	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理者										
					2					○	○	○			期末試験			40	無			
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》								《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》		期末レポート		30
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト					
																	授業内提出物			30	有	
																	授業内活動					
																	その他					
																	計			100		
																	フィードバックの方法					
			○		○	○	—	—	—	○	○	—	—	—	○	○						
当該科目の キーワード			《知識・理解》		憲法の規定の内容										毎回提出されたミニレポートを踏まえて翌週に解説を行う。 中間レポートに対しても、総括を行う。							
			《汎用的技能》		具体的事例を素材とした講義																	
			《態度・志向性》		国民主権、基本的人権																	
授業概要			憲法改正の国民投票や国政選挙の投票権も18歳以上に引き下げられた現代においては、憲法には何が書いてあるのかということよりも、憲法とは何のためにあるのかということについて、「自分のこと」として深く考えることが不可欠です。この講義では、様々な具体例についての講義とミニレポートを通じて憲法の実在意義をしっかりと理解してもらおうと同時に、多様な場面における憲法の役割を論理的に説明できるようにすることを目的とします。													授業中に教員が問いかけを行う。 授業内でアンケートに回答してもらう。						
授業の到達目標			①憲法が何のためにあるのかを説明できるようになること。 ②憲法で保障されている様々な自由や権利がどのような場合にどのように問題となるのかを論理的に説明できるようになること。																			
単位認定の要件			①②の観点からの評価の結果が60点以上。																			
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																		
			1	憲法とは何なのかを理解しよう 予習：「立憲主義」という言葉の意味を調べてくる。憲法の条文を音読しておく。(120分) 復習：授業で取り上げた憲法の条文をよく読んで中学校や高校の社会の教科書にどう書いてあるか見てみる(60分)																		
			2	「私たちの」国と憲法：国会・内閣の役割はなんだろう？ 予習：「権力分立」という言葉の意味を調べておく。権力が分立されていない国はどんな国か(実際あるのか)調べておく。(90分) 復習：国会と内閣、裁判所の役割についての憲法の条文を読み返して、それぞれの役割を復習する。(90分)																		
			3	国民主権：選挙は何のためにあるのだろうか？ 予習：前回の授業で提示された写真について調べる。「国民主権」という言葉の意味を調べておく。(90分) 復習：青森県知事選挙について、投票するならだれに投票するか、なぜそう考えたかを説明できるようにする。(90分)																		
			4	憲法9条と自衛隊、自衛権の問題 予習：自衛隊がどのような歴史をたどって作られたのかを調べてくる。(90分) 復習：自民党による憲法9条の改正案を見て、授業内容を踏まえて自分の考え(賛成・反対)をまとめる。(90分)																		
			5	憲法9条と自衛隊の海外派兵問題 予習：自衛隊が日本以外の地域でどのような活動をしているのか陸上自衛隊HPなどで調べておく。(90分) 復習：授業で見た映像の中に出てきたイラクと南スーダンにおける自衛隊の活動について詳しく調べる。(90分)																		
			6	基本的人権と公共の福祉—飲酒対策法事件 予習：前回の授業で配布した事例について、憲法の何条が問題となるのか考えてまとめてくる。(90分) 復習：公共の福祉による人権の制約について、図書館などの本(×Web)でちゃんと調べてお。(90分)																		
			7	性犯罪防止法事件とプライバシーの権利 予習：前回の授業で渡した事例について、憲法の何条が問題となるのか考えてまとめてくる。(90分) 復習：日本以外の国で性犯罪者の再犯防止のためにどのような制度があるのか調べてみる。(90分)																		
			8	一票の較差とは？—投票価値の平等と憲法14条 予習：「一票の較差」という言葉について調べて説明できるようにしておく。(90分) 復習：「一票の較差」に関連する2022年と2023年の裁判についてのニュース記事を探しておく。(90分)																		
			9	男女の不平等！？：夫婦同性制度と憲法14条、24条 予習：どうして夫婦は名字を同じにしなければならないのか、その理由を考えてまとめてくる。(90分) 復習：授業で配布した参考資料(裁判例についての記事)をよく読んでおく。(90分)																		
			10	同性婚が認められないのは憲法違反？：同性婚と憲法13条、14条、24条 予習：なぜ同性婚が認められていないのか、その理由を調べておく。同性婚についての自分の考えをまとめてくる。(90分) 復習：授業で配布した参考資料(裁判例についての記事)をよく読んでおく。(90分)																		
			11	ピアノ伴奏をしたくありません！—思想の自由と憲法19条 予習：「思想良心の自由」が何を守っているのか、図書館などの本(×Web)で調べておく。(90分) 復習：授業で扱った事例以外に、思想良心の自由が問題となった事件を調べて、概要をまとめる。(90分)																		
			12	剣道は履修できないのですが……—信教の自由と憲法20条 予習：「信教の自由」が何を守っているのか、図書館などの本(×Web)で調べておく。(90分) 復習：授業で扱った事例以外に、信教の自由が問題となった事件を調べて、概要をまとめる。(90分)																		
			13	犯罪者が出てくる映画は上映しちゃダメ？：表現の自由と憲法21条 予習：「表現の自由」が何を守っているのか、図書館などの本(×Web)で調べておく。(90分) 復習：授業で扱った事例以外に、表現の自由が問題となった事件を調べて、概要をまとめる。(90分)																		
			14	教育は誰のため？何のため？：教育を受ける権利と憲法26条 予習：「全国学力・学習状況調査」とはどのようなものか、何のための調査かを調べておく。(90分) 復習：授業で扱った事例のほかに、「教育を受ける権利」が問題とされた事件を調べて概要をまとめる。(90分)																		
15	まとめ—価値問題の調整原理としての憲法 予習：前回の授業で配布した資料をよく読んで概要を説明できるようにしておく。「アラブの春」という言葉について調べておく。(90分) 復習：これまでの授業で扱ったいくつかの事例について、憲法がどのように問題になるかを復習しておく。(90分)																					
教科書・教材			特になし。ただし、各自授業の前までに日本国憲法の条文(中高の社会の教科書や条文だけ印刷したものでも可)を用意しておくこと。																			
参考書・参考文献等			初回の講義で紹介する																			
履修上の注意等			積極的に質問をするなど、自ら学ぶ姿勢をとること。																			
実務経験との関連			実務経験の有無	無																		

【3104】教養科目 人文・社会分野			授業形態				担当教員名			開講年次		開講時期		開講学科							
法学				講義				小野昇平			1年		前期		健康栄養学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格							単位認定の方法と フィードバックの有無						
2	15	30	必修		選択			管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理者								
					2											期末試験					
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート		60	有		
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観		社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト			
																		授業内提出物		40	有
																		授業内活動			
																		その他			
																		計		100	
			フィードバックの方法																		
—			—			—			—			—									
当該科目の キーワード			《知識・理解》		様々な法についての知識											毎回の提出物および期末レポート に対しては総括的なコメントを出す。					
			《汎用的技能》		自分の主張を論理的に組み立てる																
			《態度・志向性》		法の背景にある正義																
授業概要			この講義では、「法＝ルール／決まり事」について「考えてもらう」ことを目的とする。ニュースや新聞記事などでも目にする身近な問題や社会問題を「法」というレンズを通してみることで、答えない問題について、より深く「考える」ことができるようになる。また、物事を法的に考え、これを論理的に他人に説明する力を身につける。														意見の発表と他の学生の意見を踏まえたアウトプット				
授業の到達目標			到達目標：①法的なものの考え方を身につけること。 ②具体的な問題について様々な角度から考え、自分の言葉で他人に説明できるようになること。																		
単位認定の要件			到達目標①～②の観点からの評価の合計が60点以上であること。																		
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																	
			1	法は何のためにあるのか―いろいろなルールを挙げて考えよう 予習：自分の知っている「ルール」を最低10個考えてくる。(90分) 復習：自分で考えたルールを、授業で学んだ法の役割に当てはめて分類してみる(90分)																	
			2	法は何のためにあるのか②―ルールの読み方を学ぼう 予習：授業で紹介した事例において「バナナ」を持ってきていいかどうか両方の立場から考える。(90分) 復習：授業で学んだ「おやつバナナ問題」についての多様な考え方を整理しておく。(90分)																	
			3	法の使い方①―「要件と効果」 予習：「〇〇は禁止」というルールをいくつか考え、それがどのように使われるかを考えてくる。(90分) 復習：授業の最後の事例について、授業をとっていない人に説明してわかってもらう。(90分)																	
			4	法の使い方②―「法と事実」について知る 予習：「首話法廷」で検索し、「三匹のこぶた裁判」の動画、資料に目を通しておく。(90分) 復習：授業の最後の事例について、授業をとっていない人に説明してわかってもらう。(90分)																	
			5	法と「国」―行政法①放射能汚染廃棄物の処分場問題 予習：授業で配布した資料にある問いについて考えてくる。(90分) 復習：授業の最後の事例について、授業をとっていない人に説明してわかってもらう。(90分)																	
			6	法と「国」―行政法②病院を作るなら医師会と協議しなきゃだめ？ 予習：授業で配布した資料にある問いについて考えてくる。(90分) 復習：授業の最後の事例について、授業をとっていない人に説明してわかってもらう。(90分)																	
			7	法と「制裁」―刑法について知ろう 予習：授業で配布した資料にある問いについて考えてくる。(90分) 復習：授業で話した刑法の基本原則について、Webで調べて再確認する。(90分)																	
			8	法と「制裁」②―構成要件、違法性、有責性 予習：「死刑」になるのはどのような人物か調べる。死刑制度はあった方がいいか自分の考えをまとめてくる。(90分) 復習：授業内で話した「死刑」についての問題に関するニュース記事を3つ調べる。(90分)																	
			9	法と「制裁」③―死刑に意味はあるのだろうか？ 予習：「死刑」になるのはどのような人物か調べる。死刑制度はあった方がいいか自分の考えをまとめてくる。(90分) 復習：授業内で話した「死刑」についての問題に関するニュース記事を3つ調べる。(90分)																	
			10	法と日常生活①―民法の概要を知ろう 予習：授業で配布した予習資料をよく読んで自分の考えをまとめてくる。(90分) 復習：「契約」がどのような場合に成立するか、授業内容を踏まえて身近な事例を題材にして考える。(90分)																	
			11	法と日常生活②―隣人訴訟を題材に「責任」の意味を考えよう 予習：「不法行為」「過失」という言葉についてWeb等で調べて説明できるようにしておく。(90分) 復習：授業で扱った隣人訴訟以外に「不法行為」が成立しそうな事例を3つ考える。(90分)																	
			12	法と「世間」―隣人訴訟の後日談を素材にして考えよう 予習：隣人訴訟について、賠償金の額を考えてくる。隣人訴訟の後に起きた出来事について自分の考えをまとめてくる。(90分) 復習：法や裁判(判決も、訴訟を起こすことも含めて)に関して炎上した事例を調べる。(90分)																	
			13	法と「世界」―国際社会と法 予習：いまの世界で起きている「戦争」を調べてくる。(90分) 復習：授業で話した「戦争」のルールについて授業をとっていない人に説明してわかってもらう。(90分)																	
			14	法と「平和」―国際社会と法② 予習：「戦争」を防ぐための方法を考えてくる。(90分) 復習：授業で説明した「戦争を防ぐためのルール」について、授業をとっていない人に説明してわかってもらう。																	
15	改めて考える「法」の役割―としょかんらいおんを素材に 予習：資料「としょかんらいおん考」を読んでくる。(90分) 復習：「としょかんらいおん」のあらすじと、そこで語られている「ルール」の役割について授業をとっていない人に説明してわかってもらう。																				
教科書・教材			特になし																		
参考書・参考文献等			授業中に指示する。																		
履修上の注意等			授業では教員の問いかけに対して発言をするなどの積極的な「参加」(≠出席)が必須となる。																		
実務経験との関連			実務経験の有無	無																	

【3105】 教養科目 人文・社会分野			授業形態				担当教員名			開講年次		開講時期		開講学科								
経済学				講義				兼平拓道			1年		前期		健康栄養学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格								単位認定の方法と フィードバックの有無							
2	15	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者										
					2											期末試験		70	無			
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》						《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート					
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任		生涯学習力	授業内小テスト				
																		授業内提出物			30	有
																		授業内活動				
																		その他				
																		計			100	
			フィードバックの方法																			
○			—	—	—	—	○	○	○	○	—	—	—	—	○	○						
当該科目の キーワード			《知識・理解》			マーケットメカニズム 金融システム											授業内提出物は各講義終了後に回収し評価した上で次の講義時にフィードバックする。					
			《汎用的技能》			ケーススタディ 経済の実践力																
			《態度・志向性》			マネープランニング																
授業概要			私たちを取り巻く経済環境は時々刻々と変化している。そこで、この講義では「いま、何が起きているのか」をテーマに学習を進める。経済学の基本的知識であるマーケットメカニズム、インフレとデフレ、金融システム、金利、株式、為替、財政、家計などをケーススタディによりわかりやすく解説する。																			
授業の到達目標			経済学の基本的知識を使って、経済社会システムのダイナミックな変容を読み解き、将来への見通しを的確に立てられる能力を身に付ける。グローバル経済の大きな潮流が家庭生活にどのような影響を与えているのかを分析し、ライフステージにおけるマネープランを設計できる経済的実践力を習得する。総仕上げとして国際情勢の変容に伴う日本経済の将来を展望できる応用力を養成する。																			
単位認定の要件			評価の合計が60点以上であること。																			
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																		
			1	経済学とは何か～経済学が、日常生活にどのように関わってくるのかについて考える。 予習：(90分)身の周りの経済を考える。 復習：(90分)メディアで経済ニュースを確認する。																		
			2	モノの値段はどう決まるのか～経済的基礎条件の分析に必要な、マーケットメカニズムを学ぶ。 予習：(90分)身の回りで、毎日、値段が変化している消費財を探す。 復習：(90分)価格変動のメカニズムを復習する。																		
			3	好況や不況はどう決まるのか～インフレとデフレの仕組みを学びそれぞれのメリットとデメリットを理解する。 予習：(90分)身の回りで値段が上がっている消費財を調べる。 復習：(90分)家庭でのインフレ対策を考える。																		
			4	景気変動はなぜ生じるのか～戦後の経済史を振り返りながら、景気循環の仕組みについて学ぶ。 予習：(90分)戦後の代表的な好景気を調べる。 復習：(90分)今が、景気循環ではどのあたりにいるのかを考える。																		
			5	金融とは何か～金融市場における銀行の役割と企業の資金調達について学ぶ。 予習：(90分)企業はなぜ資金が必要であるかを調べる。 復習：(90分)市中銀行のホームページを見て銀行の業務内容を再確認する。																		
			6	金利はどう決まるのか～金利決定メカニズムを学び、金利上昇局面と金利低下局面の経済動向を分析する。 予習：(90分)金利にはどんな種類があるのかを調べる。 復習：(90分)金利が1%上昇すると返済負担がどのくらい増えるのかをシミュレーションする。																		
			7	日銀は何をしているのか～日本銀行の仕組みを学び、金融政策が経済に与える影響を分析する。 予習：(90分)日本銀行のホームページを見て、業務内容などを調べる。 復習：(90分)ゼロ金利政策のニュースを調べる。																		
			8	バブル経済とは何か～バブル経済の発生と崩壊のメカニズムについて学ぶ。 予習：(90分)バブル経済のニュース報道を調べる。 復習：(90分)バブル崩壊で失敗した企業事例を調べる。																		
			9	株の仕組みはどうなっているのか～株式投資のインカムゲインとキャピタルゲインの考え方を学ぶ。 予習：(90分)東日本会社の起源を調べる。 復習：(90分)上場企業を1社ピックアップして、1か月間の値動きのグラフを作成しリスクとリターンを確認する。																		
			10	為替とは何か～円高と円安の仕組みを学び、日常生活と関連づけて考える。 予習：(90分)円高と円安に関連する経済ニュースをピックアップする。 復習：(90分)円安で恩恵を受ける企業と損失を受ける企業を調べる。																		
			11	政府と経済とはどんな関係があるのか～政府の財政政策が日本経済の重要な調節機能となっていることを学ぶ。 予習：(90分)公共投資が私たちの生活に与える影響を調べる。 復習：(90分)財政赤字の削減策を考察する。																		
			12	日本の財政と年金はどうなっているのか～日本の財政危機と年金危機について学ぶ。 予習：(90分)日本の直近の予算を調べる。 復習：(90分)財政赤字の削減策を考察する。																		
			13	家計とは何か～ライフステージにおけるマネープランを設計する方法を学ぶ。 予習：(90分)ライフステージで必要なマネーを調べる。 復習：(90分)マネープランニングにおけるポートフォリオを作成する。																		
			14	国際経済の問題とは何か～国際情勢の変容と今後の日本経済を展望する。 予習：(90分)ロシアのウクライナ侵攻後の国際情勢ニュースを調べる。 復習：(90分)直近のエネルギー価格の高騰などを世界各国ごとにまとめる。																		
15	まとめ～経済学の基本的知識と課題を総括する。 予習：(90分)経済学で学んだことをノートなどにまとめる。 復習：(90分)経済学で学んだ感想や意見をノートなどにまとめる。																					
教科書・教材			特になし																			
参考書・参考文献等			『日本経済新聞』(日本経済新聞社)『週刊東洋経済』(東洋経済新報社)『週刊ダイヤモンド』(ダイヤモンド社)『週刊エコミスト』(毎日新聞社)『Harvard Business Review』(ハーバードビジネスレビュー)『(ダイヤモンド社)																			
履修上の注意等			日頃から、新聞やテレビなどの経済ニュースに目を通しておくこと。																			
実務経験との関連			実務経験の有無	有	金融紙の経済記者としての実務経験を活かし、経済環境の変化等について、基本的知識であるマーケットメカニズム、インフレとデフレ、金融システム、金利、株式、為替、財政、家計などを学ぶ科目である。																	



【3107】 教養科目 人文・社会分野			授業形態		担当教員名			開講年次		開講時期		開講学科												
社会学			講義		中村光宏			1年		後期		健康栄養学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格							単位認定の方法と フィードバックの有無											
2	15	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者												
					2										期末試験									
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》			期末レポート	40	無				
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観				社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト				
			○	○	○	○	—	—	○	○	—	—	—	○				○	○	○	○	授業内提出物	30	有
																		授業内活動	30	有				
																		その他						
																		計	100					
			《知識・理解》		政治、経済、学校・家庭・地域、歴史、宗教、環境などの基本的な知識の理解										・授業後に提出するアンケート に「質問」等を記載する。 ・「質問」等をメールか直接研究室に届ける。 ・可能な限り、次の授業の冒頭で応える。									
当該科目のキーワード			《汎用的技能》		課題思考力・問題解決力、能動的学修姿勢、判断力、表現力																			
			《態度・志向性》		課題に対する探究心・イデオロギー・平等性・協調性・学修に取り組む意欲																			
授業概要			私たち人間は、家庭や学校、地域や企業など「組織」や「集団」をつくって生活しており、その集合体では、個人と個人、集団と集団、あるいは、個人と集団など、人間同士の関係のあり方やイデオロギーの違いによって「生きづらさ」を生み出してしまいうこともある。特に現代社会は、急激な科学技術の発達により、様々なシステムや価値観が生まれ、新たな社会問題を引き起こす要因になっている。この授業では、経済、政治、教育、歴史、宗教、文学、家庭、ジェンダーなど、幅広いテーマから誰もがぶつかる問題を抽出して、問題解決に向けて真剣に考え模索する基本的な姿勢を身に付けさせることを目標とする。													アクティブラーニング 「テーマ」「課題」に応じてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 必要があればディベートを行う。								
授業の到達目標			①社会生活の中にはびこる課題に対して興味を持ち、問題解決のため真剣に模索する姿勢を身に付ける。 ②自己主張に固執せず、相手の意見も受け入れながら議論を深めて、より「生きやすい」社会を形成するために意欲的に学修する。 ③自らの文化や伝統を改めて認識するとともに、グローバルな視点に立ち世界平和を探究する広い心を養う。 ④社会が個の集合体であることを再認識し、人と人との関わり合いを深めると共に、「よりよい社会」を形成するために必要な知識とスキルを磨く。 ⑤社会を様々な角度からとらえ、人々の多様性を認めて様々な人々が生きやすい社会を形成するために思考し取り組む。																					
単位認定の要件			到達目標①～⑤の合計が60点以上であること。																					
			回	内 容																				
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			1	第一章「学校」教育現場における「競争」と「同化」「学校化社会」における「学び」の本質を考える 予習：(分)60分「日本の学校教育制度の変遷について調べておく。」 復習：(分)60分「現代の学校教育における問題点を指摘し、その解決方法について自分の考えをまとめる。」																				
			2	「学校」学力評価主義のひずみ 教育現場に集食う「不登校」の問題について考える 予習：(分)60分「小・中・高における日本全体と青森県の不登校の実態について調べておく。」 復習：(分)60分「日本の教育の現状を正しく理解するとともに、学校が果たす役割について自分の意見をまとめる。」																				
			3	「学校」学校と課外活動 小学校の課外活動(全国大会)は必要か サークル活動の指導現場の実態に迫る「教師の多忙」「体罰」その他 予習：(分)60分「小・中・高における日本全体と青森県の不登校の実態について調べておく。」 復習：(分)60分「教育現場で起る体罰の実態を理解するとともに、その原因と解決策について自分の意見をまとめる。」																				
			4	「学校」日本型学校教育の裏側「ブラック校則」はなぜ生まれたのか 1990年代に起きた「校内暴力」「学級崩壊」「学校崩壊」を考える 予習：(分)60分「自分が過ごしてきた小学校時代を振り返り、父母の様子、教師の様子、児童の様子を整理してまとめておく。」 復習：(分)60分「学校が正常に機能するためには何が必要かについて、自分の考えをまとめる。」																				
			5	「学校」「学校」における「いじめ」を考える 「いじめ」の実態とそのメカニズムを考える 「学校」「家庭」「社会」の関わり 予習：(分)60分「近年に学校で起きたいじめで、全国的に問題となった事例について調べておく。」 復習：(分)60分「いじめ」が起きる原因を認識し、「いじめ」を無くすためにはどのような対策が必要か、自分の考えをまとめる。」																				
			6	第二章「家庭」「家族とは何か」～変容する「家族」の価値観を考える 「機能不全家族」とは何か 「定位家族」とは「生殖家族」 予習：(分)60分「機能不全家族の実態について調べておく。具体的な事例に即応策 復習：(分)60分「家族」による弊害 DVやヤングケアラーの実態を把握し、社会全体でどのようにケアしていくかについて考える。																				
			7	「家庭」「夫婦別姓」について考える ～「選択制夫婦別姓」制度の是非 日本の「戸籍法」における「家制度」について考える 予習：(分)60分「日本における「夫婦別姓」制度を巡る審議状況調べておく。日本の社会背景を考える。「家制度」とは何か。 復習：(分)60分「夫婦別姓」にいた時の子どもの姓をどのようにするか、自分の考えを示すとともに、「家制度」とは何かを考える。																				
			8	「家庭」「結婚」とは何か ～多様な「結婚」のカチで少子化に対応できるか～「同性婚」「パートナーシップ」制度を考える 予習：(分)60分「日本はなぜ「同性婚」が認められないのか」「パートナーシップ」制度について調べておく。 復習：(分)60分「ダイバーシティ社会における「同性婚」「パートナーシップ」制度の正しいあり方について見解を示す。																				
			9	「家庭」「少子化問題」を考える 急速に「核家族化」が進む原因と、それによる社会の変化について考えを深める 予習：(分)60分「日本の「少子高齢化」の現状について調べておく。 復習：(分)60分「少子高齢化がもたらす社会にどのような歪が生じるかを理解する。少子化対策について考える。																				
			10	「家庭」「親子関係」について考える ～青少年の健全育成、子どもへの虐待をどのように阻止するか～ 予習：(分)60分「八戸市で起きた「児童虐待死」について詳細を調べておく。児童虐待がなぜ繰り返されるのかを考える。 復習：(分)60分「児童虐待死」を社会全体で防ぐためには何が必要か、自身の見解を深める。																				
			11	第三章「実社会」「インバウンド」の問題を考える ～「持続可能な観光」のあり方～ 日本は外国人をどのように受け入れるべきか 予習：(分)60分「インバウンド」とは何かを調べておく。「インバウンド」と「経済」の関係を考え、日本の観光ビジネスの在り方を考える。 復習：(分)60分「オーバーツーリズム」をどのように回避し、日本社会のマナーやルールを外国人にどう理解してもらうか考える。																				
			12	「実社会」「食糧問題」について考える ～日本の「食糧自給率」と「フードロス」の問題を考える～「貧困」について理解を深める 予習：(分)60分「世界の食糧事情を調べる。「発展途上国」の「貧困問題」と「難民」について調べておく。 復習：(分)60分「世界の「貧困」問題を解決するために、日本はどのようなことができるか。実行可能な対策について自らの見解を示す。																				
			13	「実社会」「優生思想」を考える ～「命の選別」内なる差別と向き合う～ ヒトラー、やまゆり事件から見る「優生思想」について考える 予習：(分)60分「やまゆり園」における「児童施設虐待事件の内容について調べておく。「優生思想」とは何かを調べておく。 復習：(分)60分「優生思想」は誰の心のなかにも潜んでおり、それが社会にはびこる「差別」の現況であることを理解する。																				
			14	「実社会」「死刑制度」について考える ～「犯罪の加害者と被害者の人権」～ 日本の「死刑」制度は「憲法」違反ではないのか考える 予習：(分)60分「死刑」制度について、日本と他の先進国との違いについて調べておく。 復習：(分)60分「死刑」制度について、賛成か反対か、自身の見解を明確にする。「犯罪」抑止について、その対策を考える。																				
			15	「実社会」「探究」「社会」を生きる ～「実社会」を生き抜いていくために必要な力とは何か～「社会人基礎力」を高めるための方法を知る 予習：(分)60分「社会人基礎力」とは何かを調べておく。現在の自分に何が足りないかを客観的に認識しておく。 復習：(分)60分「実社会」を力強く生き抜くためには、「自己肯定感」を高める必要があることを認識し、その方法を探究する。																				
教科書・教材			特になし。																					
参考書・参考文献等			社会学をつかむ(有斐閣)西澤晃彦・渋谷望、社会学入門(有斐閣ストゥディア)簡井淳也・前田泰樹、本当にわかる社会学(日本実業出版社)堀内進之介・大河原麻衣・山本祥弘・神代健彦、14歳からの社会学(ちくま文庫)宮谷真司、社会学の教科書(ちくま学芸文庫)ケン・ブラマー他																					
履修上の注意等			世の中の出来事をタイムリーなテーマとして取りあげるため、授業の順番を入れ替えたり新たなテーマと差し替えたりすることがある。「社会」にある諸問題に対して興味関心を持つとともに、その解決のために意欲的に考察し、他者の意見交換しながら自身の考えをしっかりと主張する、真面目な学修態度を基に																					
実務経験との関連			実務経験の有無	無																				

【3108】教養科目 人文・社会分野			授業形態				担当教員名				開講年次		開講時期		開講学科						
心理学			講義				小林琢哉				1年		前期		健康栄養学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格									単位認定の方法と フィードバックの有無					
2	15	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理員									
					2											期末試験		70	有		
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート					
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観		社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト			
																		授業内提出物		30	有
																		授業内活動			
																		その他			
																		計		100	
			フィードバックの方法																		
			○	—	○	—	○	○	—	○	—	—	○								
当該科目の キーワード			《知識・理解》		心理学に関する基礎的知識の理解										授業内提出物にコメントを添付して返却する。						
			《汎用的技能》		仮説検証のための方法論																
			《態度・志向性》		心理学の知見を自らに当てはめて考える姿勢										アクティブラーニングの有無 (内容)		有				
授業概要			この授業では、心理学的なもの見方と、自己や社会に関する問題について新しい問いを立てて検証していくための方法論についての基礎知識を理解することを目的とする。認知、記憶、感情、人格、社会、文化などの様々な事象に関する心理学の研究の成果を学ぶ。社会と人間の行動については同調、偏見などの社会状況と人間の行動との関係について理解を深める。認知過程については、推論、認知バイアス、記憶といった認知心理学の主要な研究成果と脳科学や神経科学との接点に関する知見を紹介する。学ぶ。文化と人間の行動については、文化心理学に関する学びを通して、人間の思考と社会規範や文化がどのように関係しているかを検討する。一連の講義を通して、心理学の知見とそれらを生み出す心理学的な見方・考え方の理解を目指す。														心理実験の模擬体験とグループワーク				
授業の到達目標			① 社会、人格、認知に関する心理学的知見について説明できる。 ② 心理学の研究方法について、その基本的な考え方を理解し説明できる。 ③ 心理学の知見を実生活に当てはめて自己の行動を説明することができる。																		
単位認定の要件			到達目標①～③の合計が60点以上であること。																		
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																	
			1	ガイダンス 授業の内容と進め方 予習：(90分)心理学の主要な研究分野にはどんなものがあるかを調べておく。 復習：(90分)授業で取り上げた心理学の研究対象・分野についてまとめる。																	
			2	人格心理学 人格理論と測定方法 予習：(90分)心理学における人格の定義と主要な人格の理論について調べる。 復習：(90分)性格検査の理論と方法についてまとめる。																	
			3	社会心理学①社会的認知 予習：(90分)社会・他者を人がどのように理解しているか考えてみる。 復習：(90分)スキーマ・認知バイアスについて考察をまとめる。																	
			4	社会心理学②印象形成 予習：(90分)他者に対してどのようなことを手掛かりに印象を形成するかを考える。 復習：(90分)印象形成がどのように行われるかをまとめる。																	
			5	社会心理学③説得の過程と態度の変容 予習：(90分)他者を説得するにはどのような方法があるかを考える。 復習：(90分)説得の過程と影響要因についてまとめる。																	
			6	認知心理学①感覚・知覚 物・形の見え方 予習：(90分)視覚・多義図形について調べる。 復習：(90分)人が世界を見る仕組みと錯視の仕組みについて考察をまとめる。																	
			7	認知心理学②注意と意識 予習：(90分)選択的注意、変化の見落としについて調べておく。 復習：(90分)人が外界の対象に注意を向け認知する仕組みと過程について考察しまとめる。																	
			8	認知心理学③推論の過程 予習：(90分)演繹・帰納推論について復習する。 復習：(90分)人が推論を行う過程について考察する。																	
			9	認知心理学④思考と意思決定 予習：(90分)人が様々な問題を解決する際にどのように考えて意思決定をしているのかを考える。 復習：(90分)意思決定や問題解決に関する主要な心理学の理論について考察しまとめる。																	
			10	認知心理学⑤記憶の仕組み 予習：(90分)記憶の種類について調べておく。 復習：(90分)心理学における記憶の理論について考察し、効果的な記憶の方法について考えをまとめる。																	
			11	感情心理学 感情とコミュニケーション 予習：(90分)感情の発生に関する中枢起源説・末梢起源説について調べる。 復習：(90分)コミュニケーションにおける感情の役割について考察をまとめる。																	
			12	文化心理学 文化の中の自己 予習：(90分)文化や社会が人の考え方にどう影響するかを考え、調べる。 復習：(90分)文化と認知の関係について学習した内容をまとめる。																	
			13	脳の心理学 脳科学・神経科学との接点 予習：(90分)フィニアス・ゲイジの事例から、脳と人格、社会性の関係について考える。 復習：(90分)脳と認知機能の関連性について考察しまとめる。																	
			14	心理学研究の方法論 予習：(90分)心理学の研究はどのような方法によって行われているかを調べてみる。 復習：(90分)心理学が研究する内容・対象と研究手法の関係について考察しまとめる。																	
15	心理学の歴史・実生活との接点 予習：(90分)心理学の研究と生活の接点について考える。 復習：(90分)心理学・教育心理学がどのような過程で成り立ってきたのか、学んだ内容をまとめる。																				
教科書・教材			特になし。授業時に資料を配布する。																		
参考書・参考文献等			藤田哲也(編) 絶対役立つ教養の心理学 ミネルヴァ書房																		
履修上の注意等			理解を助けるために授業時間内に心理学の実験課題等を紹介することがあるので、遅刻しないようにすること。																		
実務経験との関連			実務経験の有無	無																	

【3109】 教養科目 人文・社会分野			授業形態				担当教員名				開講年次		開講時期		開講学科					
地域活性化論A			講義				市田淳治				1年		前期		健康栄養学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格									単位認定の方法と フィードバックの有無				
2	15	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理員								
					2															
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末試験				
			基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然 コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	期末レポート		100	有			
														授業内小テスト						
														授業内提出物						
														授業内活動						
														その他						
			計	100																
フィードバックの方法																				
			○	—	○	○	○	○	—	○	○	○								
当該科目の キーワード			《知識・理解》		地域イノベーション、イノベーションデザイン										提出したレポートについて公表を行う					
			《汎用的技能》		グループディスカッション、グループワーク															
			《態度・志向性》		地域発展、地域貢献										アクティブラーニングの有無 (内容)		有			
授業概要			本授業は、弘前大、弘前学院大と共通開講されるものであり、3日間のメインテーマは「地域の課題を理解し、地域の発展を考える」である。今年度は、地域に特色のある資源を研究材料に取り上げ、それらを取り巻く産業クラスターの形成と、クラスターから創成される産業イノベーションについて、いくつかの事例を上げて議論する。さらに、地域イノベーションを育成するための施策について修得し、グループディスカッションとプレゼンテーションにより、地域発展のアイデアをまとめる。															グループディスカッション、グループワーク		
授業の到達目標			①地域の状況を具体的に理解できるようになること ②課題の解決のために、学生としてできることは何かを考えることができるようになること ③各テーマに対して、自分の考えを述べることができるようになること																	
単位認定の要件			到達目標の①②③の観点からの評価合計が60点以上																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																
			1	I.地域イノベーションをデザインする(柴田学園大学) ①イノベーションを学ぶ意義:地域資源を活用した産業イノベーションの現状と課題(市田)																
			2	②市民社会イノベーションの現状と課題(弘前市役所)																
			3	③イノベーションデザインのケーススタディと手法(兼平)																
			4	④イノベーションデザイン演習(グループワーク)																
			5	⑤イノベーションデザインのプレゼンテーション																
			6	II.弘前大学 ①性とは何か(医学・生物学的立場から)																
			7	②性の多様性と人権・社会での取組を交えて 弘前市パートナーシップ制度の紹介																
			8	③これからの性教育・学校教育の取組と課題																
			9	④グループディスカッション																
			10	⑤発表・まとめ・講評																
			11	III.社会的つながりとウェルビーイング(弘前学院大学) ①社会的つながりが人々にもたらすもの																
			12	②社会の変化と社会的つながりの変化																
			13	③弘前市内の事例																
			14	④社会的つながりを形成するための具体的な方法を考える																
15	⑤発表、質疑																			
教科書・教材			特になし																	
参考書・参考文献等			特になし																	
履修上の注意等			開講日は8/22～8/24の3日間、各日も9時30分～18時20分(90分×5コマ×3日間)場所:ヒロロ4階 市民文化交流館ホール 本学からの履修可能人数は10名程の予定であり、履修希望者多数の場合は、学科ごとの希望者数のバランス等を考慮して抽選を行う。抽選に漏れた学生は後期に開講される地域活性化論Bの受講を勧める。地域活性化論Bについても全学科で50名の履修人数制限があるため、抽選の際には、地域活性化論Aの受講を希望したが抽選に漏れた学生を優先する。																	
実務経験との関連			実務経験の有無	有	主担当者(市田)は、青森県の試験研究機関において、地域資源の有効利用に関する研究開発に携わり、研究成果を地域企業に移転して事業化に取り組んでいる。															



【3110】 教養科目 人文・社会分野				授業形態				担当教員名				開講年次		開講時期		開講学科						
地域活性化論B				講義				小野昇平・他				1年		後期		健康栄養学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件						免許・資格								単位認定の方法と フィードバックの有無					
2	15	30	必修		選択				管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理者								
					2												期末試験					
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート				70	有
			基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然 コミュニケーションスキル			数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					授業内小テスト											
											授業内提出物				30		有					
											授業内活動											
											その他											
											計				100							
			フィードバックの方法																			
			—	—	○	○	○	○	○	—	○	—	—	○	—	○						
当該科目の キーワード			《知識・理解》			青森県・弘前市の地域的課題											予復習レポートについては次の授業でコメントする。期末レポートについても総括をする。					
			《汎用的技能》			地域課題の解決																
			《態度・志向性》			グループワーク											アクティブラーニングの有無 (内容)		有			
授業概要			地域に根差した大学の学生として、自らが住む地域の現在、未来を考えることは不可欠である。この講義では、弘前市職員の方などをゲストに迎え、地域活性化のための様々な取り組みについて学び、その上で、グループワーク、グループディスカッションを通じ、若者ができることは何かについて自分たちで考え、調べ、まとめ、発表する。														授業内で、グループディスカッションやグループワークを行う					
授業の到達目標			①地域の状況を具体的に理解できるようになること ②課題の解決のために、学生としてできることは何かを考えることができるようになること ③各テーマに対して、自分で調べた上で、自分の考えを述べることができるようになること																			
単位認定の要件			①②③の観点からの評価の合計が60%以上																			
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																		
			1	授業の進め方の説明／現代社会の特徴 予習：青森県の地域課題を5つ調べてくる(90分) 復習：授業内で紹介した現代社会の課題に関するニュース記事を5つ集める(90分)																		
			2	青森県／弘前市の特徴と課題－弘前市総合計画 予習：授業内で指示した動画を見て、弘前市の特徴を説明できるようにしてくる。(90分) 復習：授業内で自分たちが考えた弘前市のいいところを伸ばし、悪いところを改善するために自分に何ができるかをまとめる。(90分)																		
			3	青森県／弘前市の産業とデジタルトランスフォーメーション(DX)①青森県／弘前市の産業 予習：農業の六次産業化について説明できるようにしてくる。指定された動画を見て内容をまとめる。(90分) 復習：授業内で紹介したもの以外に、青森県における農業の六次産業化の具体例を5つ集める。(90分)																		
			4	青森県／弘前市の産業とデジタルトランスフォーメーション(DX)②ドローンに何ができるか 予習：授業内で指定した動画を見て、農業用ドローンに何ができるのかを調べてくる(90分) 復習：授業内で見た農業用ドローンを使ってどのようなことができるか、他にどのようなドローンがあればいいかを考えてくる(90分)																		
			5	青森県／弘前市の産業とデジタルトランスフォーメーション(DX)③農業のスマート化 予習：授業内で指定した動画を見て、スマート農業とはどのようなことが、青森県でどのような取り組みがあるかを調べてくる(90分) 復習：授業の内容を踏まえて、りんごの生産におけるスマート農業の利点と限界をまとめる(90分)																		
			6	青森県／弘前市の産業とデジタルトランスフォーメーション(DX)④グループディスカッションと発表 予習：6目の授業で踏んだ取組について、その特徴や生産地を調べてくる。(90分) 復習：授業内容を踏まえ、紹介した農産物について、どのように生産しているのか、より効率的に生産できないかを考えてくる(90分)																		
			7	青森県／弘前市の人々の健康と栄養①青森県／弘前市の健康課題 予習：青森県の特産物(農産物・海産物)を10個見つけて、全国におけるシェアをそれぞれ調べてくる(90分) 復習：青森県健康課題およびその解決策として紹介された取組等について内容をまとめておく(90分)																		
			8	青森県／弘前市の人々の健康と栄養②健康づくりのために必要なこと 予習：青森県の人々の健康課題を年代別(20代、30代…)に調べてくる(90分) 復習：授業内で紹介された青森県健康課題解決のための取り組みの良いところ、課題をまとめておく(90分)																		
			9	青森県／弘前市の人々の健康と栄養③健康課題解決のアイデア 予習：青森県／弘前市の人々の健康課題以外における「食」に関連した取組にはどのようなものがあるかを5つ調べてくる(90分) 復習：授業内で紹介された取組に自分が大学生として参加するならばどのようなように参加するかまとめる。(90分)																		
			10	青森県／弘前市の人々の健康と栄養④グループディスカッションと発表 予習：9目の授業で紹介された取組を踏まえて、青森の特産品を生かして健康課題解決のためにできそうなことを考える。(90分) 復習：ほかのグループの発表を聞いて、自分たちのグループのアイデアとの違い、良い点、課題をまとめる。(90分)																		
			11	青森県／弘前市の子どもたち①子どもをめぐる社会問題と子どもの権利 予習：「子ども」と「大人」の違いを20個考えてくる。「普通」ではない「子ども」「子育て家庭」を10個考えてくる。(90分) 復習：授業で紹介された「子どもの困りごと」から2つ選んで、どのような解決策が制度としてあるのかを調べてまとめておく。(90分)																		
			12	青森県／弘前市の子どもたち②未来を担う人づくり 予習：青森県こども若者白書令和4年版を読んで、気になったことを5点まとめる。(90分) 復習：授業内で説明した子どもの困りごと5つについて、子どもにとって何が問題かをまとめる。(90分)																		
			13	青森県／弘前市の子どもたち③弘前市の困難を抱える子どもの支援 予習：弘前市における困難を抱えた子どもや家庭に対する支援の制度にはどのようなものがあるかを調べてまとめる。(90分) 復習：授業の中で聞いた弘前市における子ども・子育て支援の中で自分が「発見」したことをまとめる。(90分)																		
			14	青森県／弘前市の子どもたち④グループディスカッションと発表 予習：2100年の日本の「家族」の形を調べて、どんな問題があるのかまとめる。(90分) 復習：ほかのグループの発表を聞いて、自分たちのグループのアイデアとの違い、良い点、課題をまとめる。(90分)																		
15	総括：地域活性化のために若者ができること 予習：農業・健康・子どものそれぞれについて、青森県の地域課題を3つずつ整理してくる。(90分) 復習：地域課題解決のために大学生として自分ができること、やってみたいことを具体的にまとめる。(90分)																					
教科書・教材			特になし																			
参考書・参考文献等			河合雅司「未来の年表－人口減少社会でこれから起きること」(講談社現代新書、2017年) 河合雅司「未来の年表2－人口減少社会であなたに起きること」(講談社現代新書、2018年)																			
履修上の注意等			履修人数の上限は50名。希望者多数の場合は、各学科の学生数、希望者数を考慮しつつ抽選を行うが、夏季休業期間中に集中講義形式で実施される地域活性化論Aの抽選に漏れた学生が優先される。 グループワークが必須となるので、積極的にこれに取り組む意識を持つこと。																			
実務経験との関連			実務経験の有無	無																		



【3111】 教養科目 人文・社会分野			授業形態		担当教員名			開講年次		開講時期		開講学科								
学園と地域を知る			講義		中村光宏・他			1年		前期		健康栄養学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格							単位認定の方法と フィードバックの有無							
2	15	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者								
			2											期末試験						
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート	60	無			
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ		倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
																		授業内提出物	20	有
																		授業内活動	20	有
																		その他		
																		計	100	
			○ ○ ○ ○ ○ — — ○ ○ — — — ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○													フィードバックの方法				
当該科目の キーワード			《知識・理解》		それぞれの分野についての基礎知識や実勢内容の有効性等を正しく理解する。											①質問等は、授業終了後のアンケートに記載または副担当者に送付する。 ②講義内容の修得については、アンケート内に記載された小レポートも評価の対象とする。				
			《汎用的技能》		「地域活性化」や「社会貢献のあり方」を論理的に考え、自身の学修課題と向き合う。															
			《態度・志向性》		「地域活性化」のリーダーとして成長することを自覚し、真摯に学修に取り組む。															
授業概要			本学が目指す教育目標に対して意欲的に取り組むため、柴田学園の「沿革」と創設者の「建学の精神」を深く理解して、その積極かつ建設的な姿勢を活かして、地域の問題解決のためにリーダーとなって取り組む人材を育成する。毎時、「テーマ」に沿って様々な分野で学修活動を深めるため、必要に応じて地域で活躍する有識者の方々をゲストスピーカーにお招きし、各方面での実践や業績等を講義いただき、それをもとに、「地域活性化のために、自分たちに何ができるのか」をディスカッションしながら、主体的に取り組む姿勢を身に付けさせていく。授業を通じ、地域が抱えている課題を学生自らが認識するようにし、グループワークを通じて能動的な学修を展開していく。														アクティブラーニングの有無 (内容)		有	
授業の到達目標			①「柴田学園」の沿革とその教育理念を正しく理解し、本学が「地域社会」に果たしてきた功績を再確認する。 ②それぞれの分野で活躍されるゲストスピーカーの方々の取り組みや実践活動等を吸収することにより、学生個々が「社会貢献」できる人材に成長する。め「何が必要」「何ができるか」という自身の課題を認識し、2年間・4年間の高等教育現場での「学修」につなげていく。 ③確かな知識と豊かな人間性に基づいた創造力を持って、「地域活性化」を果たすリーダーに成長することを到達目標とする。																	
単位認定の要件			「授業の到達目標」中の①～③について、合計が60点以上であること。																	
			回	内 容																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			1	ガイダンス ○学園の沿革と建学の精神 ～教育即生活(建学の精神)を学ぶ～【担当:中村 光宏】 予習:(分)60分「柴田やす伝」の講読と柴田学園の沿革について調べておく。 復習:(分)60分「100周年を迎えた本学が、さらなる地域貢献で何ができるか」について認識を深める。																
			2	○プロスポーツによる地域活性化 ～ブランドー弘前FCの闘いから～【GS:ブランドー弘前FC取締役社長 西澤 雄貴】 予習:(分)60「ブランドー弘前FC」について調べておく。プロスポーツによる地域活性化の実例を調べておく。 復習:(分)60「プロスポーツ」は、地域とのつながりが最も重要であることを認識する。地域活性化の必要性を学ぶ。																
			3	○キャリアデザイン ～本学での学びと社会貢献のための自分デザイン～【担当:中村 光宏】 予習:(分)60分「自己目標を設定する」(目標を達成するために何をすることを可視化する) 復習:(分)60分「マインドマップを作る」(思考や情報、記憶などを脳内に近い状態で紙やパソコン上に可視化する)																
			4	○フリーアナウンサーとしての苦悩 女性として・妻として・母として、力強く社会を生きる【GS:フリーアナウンサー 増田 由美子】※交渉中 予習:(分)60「女性」の社会進出の状況について調べておく。フリーアナウンサーの仕事について調べておく。 復習:(分)60「フリーアナウンサー」として青森県を活性化させるために奮闘する姿を認識して、自身の学びのエネルギーとする。																
			5	○郷土の魅力発見 ～弘前市の文化財(地域が愛される理由)～【GS:弘前市文化財課 担当】※交渉中 予習:(分)60 弘前市の「文化財」「伝統文化」「祭」「史跡」等について調べておく。 復習:(分)60 弘前市にたくさんの文化財や伝統文化があることを認識し、改めて地域に対する愛着を深める。																
			6	○地域資源を活かしたブランド化 ～米神植物から乳酸菌・地域ブランド品の開発～【GS:株式会社ラビレ代表取締役社長 三浦 和英】 予習:(分)60 株式会社ラビレの業務内容について調べておく。 復習:(分)60「起業」の苦労や商品開発による事業化がいかに困難であるかを深く認識し、将来の自身のキャリアに活かす。																
			7	○芸術活動による地域活性化 ～りんご娘をプロデュースして～【GS:株式会社リンゴミュージック社長 樋川 新一】※交渉中 予習:(分)60「りんご娘」と「リンゴミュージック」の活動について調べておく。 復習:(分)60「リンゴミュージック」立ち上げの苦労を知ること、地方の芸術活動がいかにあるべきかをしっかりと認識する。																
			8	○弘前市の教育・発達障害への対応とインクルーシブ教育 ～養護学校の現場から～【GS:弘前第一養護学校 校長 佐藤 忠全】※交渉中 予習:(分)60「インクルーシブ教育」について調べておく。 復習:(分)60「障がい」のある児童・生徒でも生きやすい社会をつくるために何が必要かをしっかりと認識する。																
			9	○児童養護の現場から ～社会福祉法人「愛成会」の取組み～【GS:社会福祉法人「愛成会」理事長 佐々木 哲】 予習:(分)60 子どもたちそれぞれの個性を伸ばし、伸び伸び成長させるための革新的な「幼児教育プログラム」 復習:(分)60「愛成会」の取組みを理解することで、それぞれの個性を尊重した多様性に対応する教育の必要性について学ぶ。																
			10	○地域活性化の取組み ～弘前市相馬地区地域おこし協力隊の一日～【GS:弘前市相馬地区地域おこし協力隊 隊員 穂坂 修基】 予習:(分)60「地域おこし協力隊」の制度について調べておく。 復習:(分)60「地域おこし協力隊」の活動と現状を理解し、より地域の活性化に繋がる政策とするためには何が必要かを考える。																
			11	○りんご産業を未来に繋げる～シードル・Kimoriプロジェクト【GS:株式会社百姓堂本舗 代表取締役社長 高橋 哲史】※交渉中 予習:(分)60 弘前市のりんご産業(収穫量・収益等)について調べておく。シードルとは何かを調べておく。 復習:(分)60 地域の特産物を商品開発し、ブランド化することの苦労とその有益性について学ぶ。																
			12	○「若者たちへ伝える沖縄隊」～「みらいを紡ぐボランティア」の活動～【GS:フリージャーナリスト 浜田 哲二・律子】※交渉中 予習:(分)60 自分たちが学んでいる弘前市がどのような街であるか、人口の推移や産業の状況などについて調べておく。 復習:(分)60「みらいを紡ぐボランティア」の活動を通じて、ボランティアの意義と社会貢献の本質を学ぶ。																
			13	○「男女共同参画社会って何(差別のない安心して暮らせる社会)【GS:青森市男女共同参画プラザ館長・篠崎有香】※交渉中 予習:(分)60 社会にある差別について調べておく。「男女共同参画」について調べておく。 復習:(分)60 社会にある「差別」を理解し、全ての人が平等に楽しく生きることの大切さを深く認識する。																
			14	○地域活性化・行政庁の現場から～世界に発信する魅力ある街・弘前市～【GS:弘前市長 櫻田 宏】※交渉中 予習:(分)60 自分たちが学んでいる弘前市がどのような街であるか、人口の推移や産業の状況などについて調べておく。 復習:(分)60 地方行政のトップがどのような思いで街づくりをしているかを知り、それにどのような関与ができるかを考える。																
			15	○研究者としての責任と意義～本学での学びに繋げるために～【GS:柴田学園大学 学長 吉澤 結子】 予習:(分)60分 大学とはどのような学びの場であるかを調べて理解しておく。 復習:(分)60分 本学での4年間の学びが、社会貢献に繋がる有意義なものになるよう、大学生に課せられた使命を理解する。																
教科書・教材			特になし																	
参考書・参考文献等			特になし																	
履修上の注意等			必要に応じてプリントを配布またはPowerPointを使用 講義中は私語はせず、必要に応じてメモを取ること。質問・意見があれば、毎講義終了後に提出する「アンケート」に記載する。また、「レポート」が出題された場合は、期日までに必ず提出すること。 担当者 mitsuhiro-nakamura@shibata.ac.jp																	
実務経験との関連			実務経験の有無	無																

【3121】 教養科目 自然分野				授業形態				担当教員名				開講年次		開講時期		開講学科					
有機化学				講義				奥野海良人				1年		後期		健康栄養学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件							免許・資格							単位認定の方法と フィードバックの有無				
2	15	30	必修		選択			管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理者								
			2															期末試験	80	有	
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に 利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート		無			
			基礎知識の体系的理解  多文化・異文化  文化・社会・自然  コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		20	有				
														授業内提出物			無				
														授業内活動			無				
														その他			無				
														計		100					
			フィードバックの方法																		
○		—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○							
当該科目の キーワード			《知識・理解》		化学式の理解・異性体の理解											連絡または面談					
			《汎用的技能》		生体成分・食品成分への適用																
			《態度・志向性》													アクティブラーニングの有無 (内容)		無			
授業概要			健康栄養に関係する化学成分は無機質と有機物であるが、多くは有機物(有機化合物)である。我々が毎日食べている食品に含まれる栄養素を理解する上で有機化学は重要な学問である。具体的な栄養素についても触れていく。																		
授業の到達目標			様々な有機物の種類と化学構造および性質を体系的に理解する。																		
単位認定の要件			筆記試験、授業内小テストの合計が60点以上																		
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																	
			1	構造式の書き方と構造異性体 予習:(60分) 水素からセレンまでの原子の電子配置について化学基礎の教科書を読んで調べる。 復習:(90分)																	
			2	原子構造 予習:(60分) 原子の構造、電気陰性度、極性、化学結合について化学基礎の教科書を読んで調べる。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。																	
			3	化学結合 予習:(60分) 電子式と共有結合オクテット則について化学基礎の教科書を読んで調べる。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。																	
			4	量子論の基礎 予習:(60分) 電子の軌道について化学基礎の教科書を読んで調べる。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。																	
			5	飽和炭化水素とアルカン 予習:(60分) 炭素と水素からなる有機化合物について化学基礎の教科書を読んで調べる。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。																	
			6	化合物群と官能基 予習:(60分) 有機化合物のを構成する原子団(官能基)について化学基礎の教科書を読んで調べる。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。																	
			7	飽和有機化合物(ハロアルカン) 予習:(60分) ハロアルカンという有機物について、構造と性質の特徴について調べておく。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。																	
			8	飽和有機化合物(アミン) 予習:(60分) 第1、3回の授業の配位、非共有電子対、水素結合について再度調べておく。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。																	
			9	飽和有機化合物(アルコール) 予習:(60分) アルコールについて、第1、2回の授業のアルカンとヒドロキシ基について再度調べておく。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。																	
			10	飽和有機化合物(多価アルコール) 予習:(60分) 多価アルコールとはどのようなものか、また身の回りにどういふものがあるのか調べておく 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。																	
			11	飽和有機化合物(エーテル) 予習:(60分) エーテルについて調べ、アルカンとの違いを明らかにしておく。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。																	
			12	不飽和有機化合物(カルボニル化合物とカルボン酸) 予習:(60分) 第3回の授業のカルボニル基、アルデヒド基、ケトン基について再度調べておく。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。																	
			13	不飽和有機化合物(エステルとアルケン) 予習:(60分) 第6、9回の授業のカルボン酸、アルコールについて再度調べておく。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。																	
			14	芳香族炭化水素化合物 予習:(60分) 身体ではたらく芳香族炭化水素化合物とはどのようなものがあるのか、調べておく。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。																	
			15	有機化学と栄養学のつながり 予習:(60分) 五大栄養素とはようなものがあるか調べておく。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。																	
教科書・教材			講義配布プリント																		
参考書・参考文献等			高校時代の化学基礎の教科書																		
履修上の注意等			本講義では主に化学構造を扱う。栄養素の構造を理解する上で重要になるため、復習をしっかり行って知識を身につけてください。																		
実務経験との関連			実務経験の有無	無																	

【3122】 教養科目 自然分野			授業形態				担当教員名			開講年次		開講時期		開講学科								
化学			講義				飯泉恭一			1年		前期		健康栄養学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格								単位認定の方法と フィードバックの有無							
2	15	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理員										
			2											期末試験			70	有				
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート						
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観		社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト				
																		授業内提出物			20	有
																		授業内活動			10	有
																		その他				
																		計			100	
			フィードバックの方法																			
			○	—	○	○	—	○	○	○	○	—	—	○	○							
当該科目の キーワード			《知識・理解》			生活と化学												提出課題は、正解と解説を記して返却する。				
			《汎用的技能》			論理的思考力																
			《態度・志向性》			相手に伝える技術と態度												アクティブラーニングの有無 (内容)		有		
授業概要			地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨、PM2.5など環境問題が深刻化している。我々は、これらの問題の本質を理解し、効果的な対策を考える必要に迫られている。また、化学(生物化学)研究の成果は、生命を遺伝子レベルで改変することを可能とした。今後、遺伝子組換えを利用した医療・医薬品・食材はますます増えてくると想定される。それらが持つリスクと利益は何か、これらを適切に判断するためには、化学や生物化学に関する基礎知識が不可欠である。本講義ではそれらの習得を目標とする。ただし、知識偏重とならないように簡単な実験やプレゼンテーションなども実施し、思考力・判断力の育成も合わせて目指す。														グループディスカッションとプレゼンテーション					
授業の到達目標			1. 化学が我々の生活にどのように役立っているのかを理解する。 2. 化学が他の自然科学(生物科学、医学など)の発展にどのように貢献したのかを理解する。 3. プレゼンテーションを通して論理的思考力を身につける。																			
単位認定の要件			到達目標の達成が60%以上																			
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																		
			1	物質の構成 予習: 0(分) 復習: 180(分) 授業の進め方を確認し、適切に予習・復習するための準備をする。																		
			2	原子構造と周期表 予習: 60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習: 120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																		
			3	原子量、分子量、式量 予習: 60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習: 120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																		
			4	物質の状態変化 予習: 60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習: 120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																		
			5	酸と塩基 予習: 60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習: 120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																		
			6	溶液の性質 予習: 60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習: 120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																		
			7	酸化還元反応 予習: 60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習: 120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																		
			8	光の性質 予習: 60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習: 120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																		
			9	洗濯の化学 予習: 60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習: 120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																		
			10	生体内の化学物質 一糖質— 予習: 60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習: 120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																		
			11	生体内の化学物質 一タンパク質— 予習: 60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習: 120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																		
			12	生体内の化学物質 一核酸— 予習: 60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習: 120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																		
			13	放射線 予習: 60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習: 120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																		
			14	プレゼンテーション(前半) 予習: 60(分) 図書館で文献を読み、プレゼンテーションの準備をする。 復習: 120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																		
15	プレゼンテーション(後半) 予習: 60(分) 図書館で文献を読み、プレゼンテーションの準備をする。 復習: 120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																					
教科書・教材			配布資料を用意する。																			
参考書・参考文献等			必要に応じて紹介する。																			
履修上の注意等			授業中に簡単な実験を実施することがあるので、動きやすい服装での参加が望ましい。																			
実務経験との関連			実務経験の有無	無																		

【3124】 教養科目 自然分野			授業形態				担当教員名				開講年次		開講時期		開講学科																											
生命科学						講義				友田志郎				1年		前期		健康栄養学科																								
単位数		授業回数		時間数		卒業要件						免許・資格								単位認定の方法と フィードバックの有無																						
						必修		選択		管理栄養士		栄養士		栄養教諭		中学家庭		高校家庭					食品衛生 監視員・管理員																			
2		15		30				2														期末試験		55	有																	
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目				《知識・理解》			《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》		期末レポート																							
				基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然 コミュニケーションスキル			数量的スキル			情報リテラシー			論理的思考力			問題解決力			自己管理能力			チームワーク			リーダーシップ			倫理観			社会的責任			生涯学習力			授業内小テスト		15	有		
																																					授業内提出物					
																																					授業内活動		30	無		
																																					その他					
																																					計		100			
				フィードバックの方法																																						
				○		－		－		－		－		－		－		－																								
当該科目の キーワード				《知識・理解》			細胞生物学、分子生物学、生態系、系統進化															小テストは授業時間内で正答を解説する。期末テストについても正答を示す。																				
				《汎用的技能》																																						
				《態度・志向性》																		アクティブラーニングの有無 (内容)		無																		
授業概要				現代生物学の諸分野の内、細胞、遺伝子、エネルギー、生態系、進化といった分野に重点を置いて、広く概説する。各分野についてバラバラに学ぶのではなく、互いの関連を踏まえながら生命現象全般について総合的に理解できるよう講義する。																																						
授業の 到達目標				①生体分子、DNAの構造と役割など、生命現象を分子レベルで理解する。 ②細胞の構造、細胞内小器官、有性生殖と多様性の関わりなどを理解する。 ③生命とエネルギーの関わりを、その進化的な成り立ちも含めた視点から理解する。 ④地球環境と生態系の成り立ち、生物と生物の関わりを理解する。																																						
単位認定の要件				到達目標①～④の合計が60点以上であること。																																						
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)				回		内 容																																				
				1		生体物質。生体を構成する元素。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。																																				
				2		糖質。脂質。アミノ酸とタンパク質。核酸 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。																																				
				3		細胞の構造。細胞内小器官。細胞骨格。細胞周期と体細胞分裂。減数分裂と有性生殖 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。																																				
				4		遺伝現象。遺伝子の正体。DNAの構造。DNAの複製 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。																																				
				5		DNA情報の発現。RNAの役割と機能。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。																																				
				6		タンパク質の合成。DNAの発現調節。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。																																				
				7		シグナル伝達系。ステロイドホルモン。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。																																				
				8		代謝。生物とエネルギー。酸素呼吸 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。																																				
				9		TCA回路。電子伝達系とATP合成。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。																																				
				10		光合成明反応。地球の生命と酸素の役割。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。																																				
				11		バクテリアのエネルギー代謝。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。																																				
				12		地球環境と生態系の成り立ち。生態系と物質循環。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。																																				
				13		生態系とエネルギー。生物相互の関係。競争、共生、捕食。生物群の個体数変動。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。																																				
				14		動物の行動と適応戦略。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。																																				
15		生物の種分化。進化と系統分類。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。																																								
教科書・教材				特に無し																																						
参考書・ 参考文献等				特に無し																																						
履修上の 注意等				試験はノート・資料の持ち込みを前提として行うので、暗記は必要ないが、講義内容をしっかりと理解し、復習時にノートした内容を整理すること。																																						
実務経験との 関連				実務経験 の有無		無																																				



【3125】 教養科目 自然分野			授業形態				担当教員名			開講年次		開講時期		開講学科					
数理科学					講義				友田志郎			1年		後期		健康栄養学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格							単位認定の方法と フィードバックの有無				
2	15	30	必修		選択			管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理員						
			2																
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末試験			無
			基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然 コミュニケーションスキル			数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				期末レポート									
										授業内小テスト									
										授業内提出物		70	有						
										授業内活動		30	無						
										その他									
			計		100														
フィードバックの方法																			
○			－	－	－	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－				
当該科目の キーワード			《知識・理解》		数値解 シミュレーション計算 最適化 機械学習 ニューラルネット 人工知能										レポートの結果を配布し、知識の定着に資する。				
			《汎用的技能》		数理モデル														
			《態度・志向性》												アクティブラーニングの有無 (内容)		有		
授業概要			「ビッグデータ」や「人工知能」などの言葉を一般社会でも耳にするようになって久しい。これからの社会では不確定な事象に対して、目的に応じてデータを収集、処理、分析し、判断していく事がますます重要になっていく。本講義ではその為の基礎として、高校までの数学ではあまり取り上げられない「数値解を得ること」「最適化」などの考え方、及び人工知能システムの根幹を成す「機械学習」「ニューラルネット」などについて学び、それらに関する基本的な理解を得ることを目的とする。													授業内でノートパソコンを使用し、計算プログラムを動作させるなどの作業を行う			
授業の到達目標			① 数値解を得るという事に関する理解 ② シミュレーション計算に関する理解 ③ 最適化という事に関する理解 ④ 機械学習・ニューラルネットに関する基本的な理解																
単位認定の要件			到達目標①～④の合計が60点以上であること。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容															
			1	解析解と数値解 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
			2	プログラム言語Pythonの概説。Python処理システムの導入 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
			3	ベクトルと行列。Pythonによる行列計算 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
			4	数値解を得る手法。求根法 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。授業内で出された課題を仕上げて提出する。															
			5	数値解を得る手法。モンテカルロ法 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
			6	Pythonによるリスト処理 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。授業内で出された課題を仕上げて提出する。															
			7	シミュレーション計算 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
			8	確率モデルとシミュレーション計算 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。授業内で出された課題を仕上げて提出する。															
			9	パラメータの最適化。最小二乗法と回帰直線 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
			10	パラメータの最適化。勾配法 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
			11	神経細胞とニューラルネット 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
			12	Pythonでのクラスの扱い。グラフ表示 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
			13	ニューラルネットの学習原理。パーセプトロン 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
			14	誤差逆伝搬法 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。															
15	深層学習と人工知能 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。授業内で出された課題を仕上げて提出する。																		
教科書・教材			特になし																
参考書・参考文献等			特になし																
履修上の注意等			授業内で各自がノートパソコンを使用する必要があるので、ノートパソコンを持参すること。																
実務経験との関連			実務経験の有無	無															

【3126】 教養科目 自然分野				授業形態				担当教員名				開講年次		開講時期		開講学科						
統計学				講義				小林琢哉				1年		後期		健康栄養学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格								単位認定の方法と フィードバックの有無							
2	15	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理者										
					2		☆									期末試験		70	有			
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート						
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観		社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト				
																		授業内提出物		30	有	
																		授業内活動				
																		その他				
																		計		100		
			フィードバックの方法																			
			○	—	○	○	○	○	○	○	—	—	○	○								
当該科目の キーワード			《知識・理解》		記述統計・推測統計の基礎知識										授業内で実施する課題に正解と解説を付けて返却する。							
			《汎用的技能》		データ分析の基礎的技能																	
			《態度・志向性》		仮説検証型の思考										アクティブラーニングの有無 (内容)		有					
授業概要			本授業の目的は、課題を発見し解決していくために必要なリサーチクエストの設定・適切なデータ解析方法の選択と実行・データ解析の実行による仮説検証ができるようになることである。授業においては、期待値など統計学の基礎となる確率の概念の理解から始め、正規分布などの統計分布について理解を深める。そのうえで、記述統計量とその意味について、サンプルデータをグラフによる視覚的表現と数値による要約をする方法について学ぶ。記述統計に関する基礎的な知識の理解を活かして、標本と母集団の関係、信頼区間の推定・仮説検定といった各種のデータ分析について、調査データを例に学習していく。														データ解析の練習					
授業の到達目標			①統計的データ分析の基本となる考え方を理解できる。 ②目的に合った統計手法でデータ分析ができる。 ③授業内で自学学習ができる。																			
単位認定の要件			期末試験と授業内提出物の合計点が60点以上であること。																			
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																		
			1	統計に関する知識と日常生活の関係 予習：(90分)統計学が社会科学分野で必要とされる理由は何かを考える。 復習：(90分) 様々な事象について予測、効果の推定を行う際に何が必要かを考察しまとめる。																		
			2	記述統計①尺度の水準とデータの関係 予習：(90分)データの種類とそのまとめ方について調べる。 復習：(90分) 4つのデータの水準とその集計方法について調べ、まとめる。																		
			3	記述統計②質的変数・量的変数の度数分布とグラフ化 予習：(90分)データを要約・可視化する方法について調べる。 復習：(90分) データの水準ごとのグラフ化方法を確認する。																		
			4	記述統計③代表値・散布度によるデータの要約と変換 予習：(90分)データの代表値・散布度とは何かについて調べる。 復習：(90分) 標準化、標準得点の算出方法を復習する。																		
			5	推測統計①母平均・母分散の推定 予習：(90分)標本のデータと母集団の関係について調べる。 復習：(90分)復習課題のサンプルデータを用いて 母平均・母分散の算出方法を学ぶ。																		
			6	推測統計②信頼区間の推定 予習：(90分)観測データから母集団の平均を推定する方法について調べる。 復習：(90分) サンプルデータの母集団の95%、99%信頼区間を算出する。																		
			7	二変量の関係 相関係数と決定係数 予習：(90分)1対のデータの関連性を推測する方法は何か調べる。 復習：(90分) 相関係数の算出しその意味について学ぶ。																		
			8	統計的検定①χ <sup>2</sup> 二乗検定 予習：(90分)名義尺度データの検定方法を学ぶ。 復習：(90分) χ <sup>2</sup> 二乗検定の実施方法と検定結果の解釈の仕方を確認する。																		
			9	統計的検定②F検定とt検定 予習：(90分)2つのデータの分散、平均値の際の検定方法について調べる。 復習：(90分) 標本に応じた適切なt検定の手法を選択し、平均値の差の検定を実施しその結果を解釈する。																		
			10	統計的検定③対応のある場合の検定 予習：(90分)対応のあるデータの平均値を比較する方法を学ぶ。 復習：(90分) 対応のあるデータのt検定を実施し、その結果を解釈する。																		
			11	統計的検定④等分散性の検定と一元配置分散分析 予習：(90分)3標本以上のデータについて平均値の差を検定する場合の検定方法を調べる。 復習：(90分) 一元配置分散分析の方法を習得しサンプルデータの分析結果を解釈する。																		
			12	統計的検定⑤一元配置分散分析と多重比較 予習：(90分)分散分析の結果有意差が認められた場合の事後分析の方法にはどのようなものがあるか調べる。 復習：(90分) 一元配置分析と多重比較を、サンプルデータを用いて適切に実施できるようにする。																		
			13	統計的検定⑥二元配置分散分析 予習：(90分)データに影響する要因が2種類ある場合にはどのような検定方法があるかを調べえる。 復習：(90分) 復習課題のサンプルデータを使用して、二元配置分散分析を実施し分散分析表を作成する。																		
			14	統計的検定⑦二元配置分散分析の下位検定 予習：(90分)交互作用、単純主効果の検定について調べる。 復習：(90分) サンプルデータを使用して二元配置分散分析と下位検定を適切に行う方法を確認する。																		
			15	統計的検定⑧回帰分析 予習：(90分)説明変数を用いて目的変数を予測できるかどうかを推測するにはどのような方法があるかを調べる。 復習：(90分) サンプルデータを用いて、回帰分析を実施しその結果を解釈する方法を確認する。																		
教科書・教材			統計学がわかる ハンバーガーショップでむりなく学ぶ、やさしく楽しい統計学																			
参考書・参考文献等			吉田寿夫 本当にわかりやすいすご大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本 向後千春・富永敦子 統計学がわかる ハンバーガーショップでむりなく学ぶ、やさしく楽しい統計学																			
履修上の注意等			表計算ソフトExcelを使って実際に統計量を算出するので、Excelの使い方に慣れておくこと。																			
実務経験との関連			実務経験の有無	無																		

【3131】 教養科目 基礎技術分野				授業形態		担当教員名			開講年次		開講時期		開講学科							
論作文技術Ⅰ				演習		船水周			1年		前期		健康栄養学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格							単位認定の方法と フィードバックの有無					
1	15	30	必修		選択			管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理員							
			1													期末試験				
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に 利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート			40	無
			基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然 コミュニケーションスキル	数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力												授業内小テスト			30	有
																授業内提出物			30	有
																授業内活動				
																その他				
																計			100	
													フィードバックの方法							
					○	—	—	○	○	○	—	—	—	—	○	—				
当該科目の キーワード			《知識・理解》		序論・本論・結論										①時間内に教師が答えを発表し、 学生に自己採点させる。 ②提出物等の結果は、ICTの活用 や口頭により、全体に解説する。					
			《汎用的技能》		根拠・意見・理由・事実															
			《態度・志向性》		疑問・反論															
授業概要			この科目は、大学におけるレポート・論文の書き方について、基礎的な知識と技能を身に付けることをめざす。 レポート・論文は、小・中学校で書いてきたような感想文とは違い、与えられたテーマや課題に沿って、型を活用すれば、誰でも書くことができるものである。肝心なことは、模範になるレポート・小論文をしっかりと読むこと、自分で実際に書いてみることで、そして、推敲することである。こうした経験が単位の取得に欠かせないことを知ってほしい。													演習、個人・ペア・グループワーク 学習等				
授業の 到達目標			①感じたままに書く感想文と根拠をもとに主張を書くレポート・論文との違いを理解する。 ②構成やパラグラフの知識・技能を使い、相手に伝わる文章を書く。 ③資料収集と提示の仕方(引用・表記)、論文の要件(問い・答え・論証)がわかる。 ④学習した知識・技能を使い、様式や要件に沿ったレポート・論文を書き上げる。																	
単位認定の要件			到達目標①～④の合計が60点以上であること。																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																
			1	レポート・論文を書く準備をしよう(5つの構成要素・パラグラフの考え方1) 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと																
			2	「引用」とは何かを知らう(やってはいけない盗用、引用のルール・種類、パラグラフの考え方2) 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと																
			3	「参考文献のリスト」とは何かを知らう(参考文献のリストの書き方・確認事項、ナンバーリング1) 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと																
			4	「報告型学習レポート」「ブック(読書)レポート」「論文」を知らう(基本形、ナンバーリング2) 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと																
			5	レポート・論文に必要な考える方法を知る(発散型思考・収束型思考・思考スキルの基礎、ロジックツリー1) 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと																
			6	読んで理解する(的確な情報を抜き出す・自分の言葉で言い換える・グラフや図を読み取る、ロジックツリー2) 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと																
			7	他者の主張を正しくつかむ(要約について知る・要約文の書き方を学ぶ、箇条書き 他) 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと																
			8	論理的な表現を知る①(事実と意見の区別・論理的な文章を書くための考え方1、ピラミッドストラクチャー1) 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと																
			9	論理的な表現を知る②(事実と意見の区別・論理的な文章を書くための考え方2、ピラミッドストラクチャー2) 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと																
			10	「課題発見力」(自分の問題意識をもつ・論点を考える・論点を絞り探索方針を決める 他) 授業内小テスト① 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと																
			11	「情報探索力」(情報を入力する・文献を入力する 他) 授業内小テスト② 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと																
			12	「情報整理力」(文献を取捨選択する・文献を整理保存する 他) 授業内小テスト③ 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと																
			13	「課題考察力」「論文構成力」(考察を深める・論文の骨子をつくる 他) 授業内小テスト④ 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと																
			14	「文章構成力」(執筆する・章立てを確定し文章を推敲する 他) 授業内小テスト⑤ 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと																
15	卒業論文に向けて(卒業論文とレポート・論文との違いを知る・卒業論文への準備をする 他) 授業内小テスト⑥ 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと																			
教科書・教材			桑田てるみ編『学生のレポート・論文作成トレーニング改訂版』(実教出版) レジューメ																	
参考書・ 参考文献等			石井一成『ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方』(ナツメ社) 戸田山和久『新版論文の教室』(NHK) 菅田小彌太『論文レポートはどう書くか』(日本実業社) 初年次教育テキスト編集委員会編『フレッシュマンセミナーテキスト第2版』(東京電気大学出版局) 結城浩『数学文章作法 基礎編』(筑摩書房) 沼崎一郎『はじめての研究レポート作成術』(岩波書店) 伊藤羊一『1分で話せ』(SB Creative)																	
履修上の 注意等			教科書の該当部分等、予習して授業に臨む。																	
実務経験との 関連			実務経験の有無	有	公立小学校教諭・教頭・校長、教育センター研究員、小・中・高での授業、内地留学、教育雑誌・書籍・新聞コラムの執筆等の実務経験をもとに、レポートや論文を書くための形式やルールを理解させ、論理的な文章の書き方の基礎を身に付けてもらう。															

【3132】 教養科目 基礎技術分野			授業形態				担当教員名				開講年次		開講時期		開講学科						
論作文技術Ⅱ					演習				船水周				1年		後期		健康栄養学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格									単位認定の方法と フィードバックの有無				
1	15	30	必修		選択			管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者								
			1														期末試験				
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》						《獲得した能力を総合的に 利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート	40	無		
			基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然 コミュニケーションスキル	数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力														授業内小テスト	30	有	
																		授業内提出物	30	有	
																		授業内活動			
																		その他			
																		計	100		
													フィードバックの方法								
			○	—	—	○	—	—	○	○	○	—	—	—	—	○	—				
当該科目の キーワード			《知識・理解》		論理・文脈													①時間内に教師が答えを発表し、 学生に自己採点させる。 ②提出物等の結果は、ICTの活用 や口頭により、全体に解説する。			
			《汎用的技能》		目的意識・相手意識・方法意識																
			《態度・志向性》		疑問・反論																
授業概要			大学4年間はもちろん、社会人になると一層求められるのが、文章を理解し、表現する力である。この科目は、日常的に書く機会が多い感想文や作文を含めた、さまざまな文章について、型を使えば誰でも書ける、という実感をもたせることをねらいにしている。相手によく伝わる文章表現の基礎知識を理解したり、縮約・要約技能に習熟したりする学習も行うことになる。自分の文章表現力をさらに磨いていく機会として積極的に取り組むことを期待している。															演習、個人・ペア・グループワーク 学習等			
授業の 到達目標			①相手によく伝わる文章表現の基礎知識を知り、適切に使うことができる。 ②文章の的確な読み書きに欠かせない技能である。縮約と要約ができる。 ③文章・論文を、型を使って相手に伝わるように書くことができる。																		
単位認定の要件			到達目標①～③の合計が60点以上であること。																		
			回	内 容																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			1	【文章表現の基礎知識1】(箇条書き・原稿用紙の使い方・主観、客観表現 一実践練習) 予習：(20分)教科書の「ことばのドリル」Part1(12頁)、Part2(13頁)を事前にやっておくこと 復習：(40分)「箇条書き」「原稿用紙の使い方」「主観、客観表現」の知識・技能を使って、提示課題を解くこと																	
			2	【文章表現の基礎知識2】(主題・粗筋・要点・要旨・趣旨・プロット 一実践練習) 授業内小テスト① 予習：(20分)教科書の「ことばのドリル」Part8(23頁)を事前にやっておくこと 復習：(40分)「主題」「粗筋」「要点」「要旨」「趣旨」「プロット」の意味の違いを整理しておくこと																	
			3	【文章表現の基礎知識3】(文脈・キーワード・形式段落、意味段落・文章構成 一実践練習) 授業内小テスト② 予習：(20分)教科書の「ことばのドリル」Part9(24頁)を事前にやっておくこと 復習：(40分)「文脈」「キーワード」「形式段落」「意味段落」「文章構成」の意味の違いを整理しておくこと																	
			4	【文章をまとめる技能1】(縮約練習：新聞コラム 一実践練習) 授業内小テスト③ 予習：(20分)「縮約」について調べ、200字程度に文章でまとめておくこと 復習：(40分)縮約の知識・技能を使って、課題として示された文章を縮約すること																	
			5	【文章をまとめる技能2】(要約練習：新聞コラム 一実践練習) 予習：(20分)「要約」について調べ、200字程度に文章でまとめておくこと 復習：(40分)要約の知識・技能を使って、課題として示された文章を要約すること																	
			6	【文章をまとめる技能3】(要約練習：文学的文章 要約プラス意見・感想 一実践練習) 予習：(20分)事前に配布された文学的文章を丁寧に読んでおくこと 復習：(40分)要約の知識・技能を使って、課題として示された文学的文章を要約し、意見・感想を書くこと																	
			7	【文章をまとめる技能4】(要約練習：説明的文章 要約プラス意見・感想 一実践練習) 予習：(20分)事前に配布された説明的文章を丁寧に読んでおくこと 復習：(40分)要約の知識・技能を使って、課題として示された説明的文章を要約し、意見・感想を書くこと																	
			8	型で書く文章1(紹介文：「です・ます」「4段構成」「PREP法」 一実践練習) 予習：(20分)教科書の紹介文1(26～28頁)、紹介文2(32～34頁)を丁寧に読んでおくこと 復習：(40分)「です・ます」「4段構成」で、紹介文1(私の好きなこと・もの)か紹介文2(私の故郷)のいずれかの文章を書くこと																	
			9	型で書く文章2(賛成・反対意見文1：「だ・である」「YES、BUT型」「5段構成」 一実践練習) 予習：(20分)教科書の賛成・反対の意見文1(38～40頁)を丁寧に読んでおくこと 復習：(40分)「だ・である」「YES、BUT型」「5段構成」で、身近な問題をテーマに文章を書くこと																	
			10	型で書く文章3(賛成・反対意見文2：同上プラス「対策や提案」 一実践練習) 予習：(20分)教科書の賛成・反対の意見文2(44～49頁)を丁寧に読んでおくこと 復習：(40分)「だ・である」「YES、BUT型」「5段構成」+「対策や提案」で、「社会的な問題」をテーマに文章を書くこと																	
			11	型で書く文章4(before／afterの文章1：①時間軸中心の構成②5段構成③自分の変化 一実践練習) 予習：(20分)教科書の賛成・反対の意見文2(58～60頁)を丁寧に読んでおくこと 復習：(40分)「時間軸中心の構成」「5段構成」で、○になる(を)する前と後など、自分の変化を書くこと																	
			12	型で書く文章5(before／afterの文章2：上記①②プラス「社会の変化」「情報収集」 一実践練習) 予習：(20分)教科書の賛成・反対の意見文2(64～66頁)を丁寧に読んでおくこと 復習：(40分)「時間軸中心の構成」「5段構成」「情報収集」で、○になる(が)できる前と後など、社会の変化を書くこと																	
			13	型で書く文章6(対立項と時間軸のある文章 一実践練習) 授業内小テスト④ 予習：(20分)教科書の対立項と時間軸のある文章(70～71頁)を丁寧に読んでおくこと 復習：(40分)教科書の対立項と時間軸のある文章(72～74頁)のグラフと表などから自分が書くべき分野を選んでおくこと																	
			14	型で書く文章7(対立項と時間軸のある文章の続き 一実践練習) 授業内小テスト⑤ 予習：(20分)教科書の対立項と時間軸のある文章(75頁)の文章設計図に必要事項を記入しておくこと 復習：(40分)対立項と時間軸の両方を使って、実際に文章を書くこと																	
			15	型で書く文章8(敬語の使い方：敬語の識別・実践のポイント／メール／手紙、他) 授業内小テスト⑥ 予習：(20分)教科書の敬語の識別(86頁)、敬語の実践(91～93頁)を丁寧に読んでおくこと 復習：(40分)授業で学習した敬語の使い方に関するポイントを箇条書きで整理しておくこと																	
教科書・教材			板東実子『大学生のための文章練習帳 第2版』(国書刊行会) レジュメ																		
参考書・ 参考文献等			西田みどり『接続語を使えば誰でも書ける』(知玄社)プレゼンテーション研究会『学生のためのプレゼンテーション・トレーニング』(実教出版)倉八順子『日本語の作文帳』(古今書院)桑田てるみ編『学生のレポート・論文作成トレーニング改訂版』(実教出版)齋藤孝『新聞力』(筑摩書房)齋藤孝『読書力』(岩波新書)都築学『レポートの書き方』(有斐閣)																		
履修上の 注意等			教科書の該当部分等、予習して授業に臨む。																		
実務経験との 関連			実務経験 の有無	有	公立小学校教諭・教頭・校長、教育センター研究員、小・中・高での授業、内地留学、教育雑誌・書籍・新聞コラムの執筆等の実務経験をもとに、読み手に伝わる文章について具体的に理解させ、論理的な文章の書き方の基本を身に付けてもらう。																



【3133】 教養科目 基礎技術分野			授業形態				担当教員名				開講年次		開講時期		開講学科						
情報機器の操作Ⅰ			演習				奈良拓哉				1年		前期		健康栄養学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格									単位認定の方法と フィードバックの有無					
1	15	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理者									
			1						○	○	○				期末試験						
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート					
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観		社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト			
																		授業内提出物	50	有	
																		授業内活動	50	有	
																		その他			
																		計	100		
			フィードバックの方法																		
			○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	課題は提出時に評価のポイントを事前に示し、内容が不足する場合は再提出を求める。 タッチタイプの技術習得の状況は、個別に管理する記録表で、随時確認できる。							
当該科目のキーワード			《知識・理解》		情報化社会											アクティブラーニングの有無 (内容)			有		
			《汎用的技能》		コンピュータリテラシー																
			《態度・志向性》		情報倫理																
授業概要			タッチタイプ等の初歩的技術の習得にはじまり、日本語ワードプロセッサの理解を深める内容へと展開する。レイアウトデザインのポイントを学びながら、効率よく書類を作成する能力を養う。総合的にパーソナルコンピュータ全般の理解と操作技能の習得を実践的に学ぶ。															実習			
授業の到達目標			パーソナルコンピュータおよび日本語ワードプロセッサの基本的な操作技術を習得し、書類作成における表現能力の向上を目指す。																		
単位認定の要件			全ての課題・レポートが提出されていること。																		
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																	
			1	授業概要、PCの初期設定等の確認、タッチタイプの方法について 等 予習：(0分) 復習：(45分) キーボード操作に慣れ親しむためタッチタイプの練習を行う																	
			2	ソフトウェアを利用したタッチタイプについて 等 予習：(0分) 復習：(45分) キーボード操作に慣れ親しむためタッチタイプの練習を行う																	
			3	Googleサービスの利用について 等 予習：(0分) 復習：(45分) キーボード操作に慣れ親しむためタッチタイプの練習を行う																	
			4	IME の操作について、短文・長文の入力(文節の移動や変更) 等 予習：(0分) 復習：(45分) キーボード操作に慣れ親しむためタッチタイプの練習を行う																	
			5	情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドライン(厚生労働省)について、長文入力練習 等 予習：(0分) 復習：(45分) キーボード操作に慣れ親しむためタッチタイプの練習を行う																	
			6	ページ設定、印刷、校正記号について 等 予習：(0分) 復習：(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																	
			7	センタリング、右寄せ、両端揃え、均等割り付け、罫線 等 予習：(0分) 復習：(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																	
			8	表操作、インデント 等 予習：(0分) 復習：(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																	
			9	FONT、単語登録、オートコレクト、検索・置換 等 予習：(0分) 復習：(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																	
			10	通信文の概要(ビジネス文章の構成、頭語と結語、時候のあいさつ 等) 予習：(0分) 復習：(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																	
			11	通信文の作成 予習：(0分) 復習：(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																	
			12	文章と図形や写真との関係、コピー&ペースト、ドラッグ&ドロップ 等 予習：(0分) 復習：(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																	
			13	Web 上のデータを利用した書類作成(文字・文章の活用) 予習：(0分) 復習：(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																	
			14	Web 上のデータを利用した書類作成(図・写真等の活用) 予習：(0分) 復習：(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																	
15	校閲、差し込み印刷、数式エディタについて、まとめ 予習：(0分) 復習：(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																				
教科書・教材			特になし。																		
参考書・参考文献等			随時参考資料を配布する。																		
履修上の注意等			毎回の授業時には、各自のパーソナルコンピュータを持参すること。 操作技術の習得には毎時間の積み重ねが必要なので、その都度復習すること。																		
実務経験との関連			実務経験の有無	無																	

【3134】 教養科目 基礎技術分野			授業形態				担当教員名				開講年次		開講時期		開講学科							
情報機器の操作Ⅱ			演習				奈良拓哉				1年		後期		健康栄養学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格									単位認定の方法と フィードバックの有無						
1	15	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理員										
			1						○	○	○				期末試験							
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に 利用し、自ら設定し た課題へ適用し、その 課題を解決する能力》	期末レポート						
			基礎知識の体系的 理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーション スキル	数量的 スキル	情報リテラシー	論理的 思考力	問題 解決力	自己 管理力	チーム ワーク	リーダー シップ	倫理 観		社会的 責任	生涯 学習力	授業内小テスト			50	有
																		授業内提出物			30	有
																		授業内活動			20	有
																		その他				
																		計			100	
			フィードバックの方法																			
○			－		－		○	○	○	○	○	○										
当該科目の キーワード			《知識・理解》			情報化社会									授業内小テストは、終了後に正答を解説する。提出物は内容が不足する場合に、説明後に再提出を求める。タッチタイプの技術習得の状況は、個別に管理する記録表で、随時確認できる。							
			《汎用的技能》			コンピューターリテラシー																
			《態度・志向性》			情報倫理																
授業概要			表計算ソフトウェアの「計算機能」、「グラフ作成機能」、「データベース機能」などの基本的な仕組みと特徴を理解しながら、データの集計や整理・編集方法を実践的に学ぶ。												実習							
授業の到達目標			Microsoft Excel の基本的な操作方法を学び、他のソフトウェアと連携しながら書類を作成する能力を養う。総合的にパーソナルコンピュータ全般の理解と操作技術の向上を目指す。																			
単位認定の要件			全ての課題・レポートが提出されていること。																			
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																		
			1	表計算ソフトの概要 予習：(0分) 復習：(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																		
			2	表操作、オートフィル、相対参照・絶対参照 等 予習：(25分) オートフィルや相対参照・絶対参照の操作を確認する 復習：(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																		
			3	関数を用いた集計(SUM、AVERAGE、COUNT、MAX、MIN、RANK) 等 予習：(20分) テキストの「関数事典」で、上記関数の使い方を確認する 復習：(25分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																		
			4	グラフ作成の基礎 予習：(25分) グラフの形状がどういったデータの表現に適するか確認する 復習：(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																		
			5	グラフを活用した資料作成 予習：(25分) コピー&ペーストや貼り付けの種類を確認する 復習：(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																		
			6	IF関数について 等 予習：(25分) IF関数の使い方を確認する 復習：(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																		
			7	VLOOKUP(近似値検索) 等 予習：(25分) VLOOKUP(近似値検索)の使い方を確認する 復習：(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																		
			8	VLOOKUP(完全一致検索) 等 予習：(25分) VLOOKUP(完全一致検索)の使い方を確認する 復習：(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																		
			9	TODAY、ISNUMBER 予習：(25分) 上記関数の使い方を確認する 復習：(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																		
			10	COUNTIF、COUNTIFS 等 予習：(25分) 上記関数の使い方を確認する 復習：(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																		
			11	IF、VLOOKUP、COUNTIF 等 予習：(25分) これまで授業で扱ってきた関数について確認する 復習：(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																		
			12	Web 上のデータを利用したデータ処理(気象庁のデータ活用) 予習：(25分) コピー&ペーストの操作方法を確認する 復習：(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																		
			13	LEFT、RIGHT、MID、LEN、FIND 等 予習：(25分) 上記の文字列関数について使い方を調べる 復習：(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																		
			14	SUMIF、SUMIFS、ピボットテーブル、並べ替え 等 予習：(25分) 上記内容について使い方を調べる 復習：(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する																		
15	授業内小テスト、まとめ 等 予習：(45分) 授業内小テストに向け、これまで授業で扱ってきた関数や操作方法を確認する 復習：(0分)																					
教科書・教材			できるポケット 短時の王道 Excel 関数全事典 改訂3版 2021/2019/2016/2013 & Microsoft 365対応																			
参考書・参考文献等			随時参考資料を配布する。																			
履修上の注意等			毎回の授業時には、各自のパーソナルコンピュータを持参すること。 操作技術の習得には毎時間の積み重ねが必要なので、その都度復習することが望ましい。																			
実務経験との関連			実務経験の有無	無																		

【3141】 外国語科目			授業形態		担当教員名			開講年次		開講時期		開講学科								
			演習		FitzpatrickChristopher			1年		前期		健康栄養学科								
英語AⅠ																				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格									単位認定の方法と フィードバックの有無					
1	15	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者								
			1												期末試験	60	有			
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート				
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観		社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト	20	有
																		授業内提出物	10	有
																		授業内活動	10	有
																		その他		
																		計	100	
			フィードバックの方法																	
○ ○ ○ ○ — — — — ○ ○ — — — — ○																				
当該科目の キーワード			《知識・理解》		英語の知識全般、健康と栄養の英語専門用語										質問等がある場合は申し出ること。 内容に応じて適切な対応をする。					
			《汎用的技能》		英語の運用能力向上、専門用語運用能力															
			《態度・志向性》		出席の重要性、課題の管理、小テスト準備、グループワーク										アクティブラーニングの有無 (内容)		有			
授業概要			1学期6ユニットを学習する。各ユニットは20単語の語彙(リスニング練習付)、ウォームアップ、対話(リスニング)、文法演習、アクティビティで構成されている。補助教材を配布することもある。授業で与えられた練習問題の答は全て確実書き込まなければならない。期末試験の前は既出学習内容の理解を確かなものにするため、十分な時間をもって復習を行う。														郷土料理の作り方や文化的背景 日本の食習慣など、実生活に即したトピックについて調べて文章にまとめ、ペアワーク、小グループまたは教師と話し合う。			
授業の到達目標			英語を理解し実際に使う能力を向上させるとともに、健康、栄養、食事の分野で役立つ多くの用語を学習し習得する。異文化の比較も取り上げることにより、英語の理解をさらに深め、専門分野に対する視野を広げる手助けをする。																	
単位認定の要件			全ての評価観点の合計が60点以上。																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																
			1	Introduction (導入) テキストの紹介、授業構成の説明 予習:(20分)シラバスを読む テキストpg.18の語彙を読み、意味を確認する 復習:(25分) 語彙ページの20単語を覚える																
			2	Unit 1 Counting Calories (カロリーを計算する) … 食物のカロリー 語彙、リスニング 予習:(15分)pg.18の語彙を再度読み、意味を確認する 復習:(30分)数の読み方を振り返る																
			3	Unit 1 Counting Calories (カロリーを計算する) … 数字の読み方 文法演習 予習:(15分)pg.23を読み単語の意味を調べる 復習:(30分)カロリーを考慮した一日の献立作りを完成させる																
			4	Unit 2 How much butter? How many apples? (バターの量は?りんごは何個?) … ショッピング 語彙、リスニング 予習:(15分)pg.24の語彙を読み、意味を確認する 復習:(30分)語彙ページの20単語を覚える。可算名詞と不可算名詞の振り返り																
			5	Unit 2 How much butter? How many apples? (バターの量は?りんごは何個?) … 可算名詞と不可算名詞 文法演習 予習:pgs.28-29を読み単語の意味を調べる 復習:(30分)数量詞の振り返り																
			6	Unit 3 Are you ready to order? (注文はお決まりですか?) … 外国の料理とレストランでの注文 語彙、リスニング 予習:(15分)pg.30の語彙を読み、意味を確認する 復習:(30分)語彙ページの20単語を覚える。国とそれに関する形容詞																
			7	Unit 3 Are you ready to order? (注文はお決まりですか?) … be動詞と一般動詞 文法演習 予習:pgs.34-35を読み単語の意味を調べる 復習:(30分)be動詞と一般動詞の振り返り																
			8	Unit 4 How do you make curry? (カレーはどうやって作るの?) … 調理法の説明 語彙、リスニング 予習:(15分)pg.37の語彙を読み、意味を確認する 復習:(30分)語彙ページの20単語を覚える。料理に関連する動詞と命令文																
			9	Unit 4 How do you make curry? (カレーはどうやって作るの?) … 命令文 文法演習 予習:(15分)pg.38-40を読み単語の意味を調べる 復習:(30分)調理法で使われた命令文の振り返り																
			10	Unit 5 Which is better for you, fish or meat? (魚と肉ではどちらが健康にいいですか?) … 比較級 語彙、リスニング 予習:(15分)pg.43の語彙を読み、意味を確認する 復習:(30分)語彙ページの20単語を覚える。比較級の振り返り																
			11	Unit 5 Which is better for you, fish or meat? (魚と肉ではどちらが健康にいいですか?) … 最上級 文法演習 予習:(15分)pgs.45-49を読み単語の意味を調べる 復習:(30分)最上級の振り返り																
			12	Unit 6 Review (ユニット1から5までの復習) 健康と栄養に関する補助教材 予習:(15分)pgs.51-54を読み単語の意味を調べる 復習:(30分)解答の確認と振り返り																
			13	Unit 6 Review (ユニット1から5までの復習) 健康と栄養に関する補助教材 予習:(15分)pgs.55-59を読み単語の意味を調べる 復習:(30分)解答の確認と振り返り																
			14	補足アクティビティによる復習 予習:(15分)全ユニットの質問があるか考え、尋ねる準備をする 復習:(30分)全ユニットの答えが書かれているか確認																
15	期末試験に向けての復習 予習:(15分)期末試験に向けて質問をまとめる 復習:(時間指定なし)試験に向けて勉強する																			
教科書・教材			You Are What You Eat 南雲堂																	
参考書・参考文献等			授業で指示する																	
履修上の注意等			授業で指示する																	
実務経験との関連			実務経験の有無	有	長年にわたり国内や海外の様々な教育機関で教鞭をとってきたESLの経験豊富な教員が授業を担当する。スキューバーダイビングのダイブマスターとレスキューダイバーの資格をPADIから取得する過程において栄養とフィットネスに対する理解を深めた。医療関連の英語論文を多数編集／校正した経験もある。															

【3142】外国語科目			授業形態			担当教員名			開講年次		開講時期		開講学科							
英語AⅡ			演習			FitzpatrickChristopher			1年		後期		健康栄養学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格								単位認定の方法と フィードバックの有無						
1	15	30	必修		選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者									
			1												期末試験	60	有			
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート					
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ		倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト	20	有
																		授業内提出物	10	有
																		授業内活動	10	有
																		その他		
																		計	100	
			フィードバックの方法																	
○		○	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—	○						
当該科目の キーワード			《知識・理解》			英語の知識全般、健康と栄養の英語専門用語										質問等がある場合は申し出ること。 内容に応じて適切な対応をする。				
			《汎用的技能》			英語の運用能力向上、専門用語運用能力														
			《態度・志向性》			出席の重要性、課題の管理、小テスト準備、グループワーク										アクティブラーニングの有無 (内容)		有		
授業概要			1学期6ユニットを学習する。各ユニットは20単語の語彙(リスニング練習付)、ウォームアップ、対話(リスニング)、文法演習、アクティビティで構成されている。授業で与えられた練習問題の答は全て確実に書き込まなければならない。期末試験の前は既出学習内容の理解を確かなものにするため、十分な時間をとって復習を行う。													郷土料理の作り方や文化的背景、日本の食習慣など、実生活に即したトピックについて調べて文章にまとめ、ペアワーク、小グループまたは教師と話し合う。				
授業の到達目標			英語を理解し実際に使う能力を向上させるとともに、健康、栄養、食事の分野で役立つ多くの用語を学習し習得する。異文化の比較も取り上げることにより、英語の理解をさらに深め、専門分野に対する視野を広げる手助けをする。																	
単位認定の要件			全ての評価観点の合計が60点以上。																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																
			1	Unit 7 We had a good time at the party! (パーティーは楽しかったよ) … 世間話 語彙・リスニング 予習:(20分)シラバスを読む pg.60の語彙を読み、意味を確認する 復習:(25分)語彙ページの20単語を覚える																
			2	Unit 7 We had a good time at the party! (パーティーは楽しかったよ) … 動詞の過去形 文法演習 予習:(15分)pgs.63-65を読む 復習:(30分)プリントの不規則動詞を覚える																
			3	Unit 8 Please describe what okonomiyaki is. (お好み焼きはどんなもの) … 日本食を説明する 語彙・リスニング 予習:(15分)pg.66の語彙を読み、意味を確認する 復習:(30分)語彙ページの20単語を覚える																
			4	Unit 8 Please describe what okonomiyaki is. (お好み焼きはどんなもの) … 知覚動詞 文法演習 予習:(15分)郷土料理の作り方の説明を考える 復習:(30分)プリントの不規則動詞を覚える。和食の描写の振り返り																
			5	Unit 9 Are you eating well? (きちんと食べていますか?) … ダイエットを継続する 語彙・リスニング 予習:(15分)pg.72の語彙を読み、意味を確認する 復習:(30分)語彙ページの20単語を覚える																
			6	Unit 9 Are you eating well? (きちんと食べていますか?) … 状態動詞と動作動詞 文法演習 予習:(15分)pgs.76-77を読む 復習:(30分)状態動詞の振り返り																
			7	Unit 10 Have you ever eaten sea urchin? (ウニは食べたことがありますか?) … 多様な料理を試す 語彙・リスニング 予習:(15分)pg.80の語彙を読み、意味を確認する 復習:(30分)語彙ページの20単語を覚える																
			8	Unit 10 Have you ever eaten sea urchin? (ウニは食べたことがありますか?) … 現在完了時制 文法演習 予習:(15分)pgs.83-85を読む 復習:(30分)現在完了の振り返り																
			9	Unit 11 You will be healthy! (健康になれますよ) … 健康増進 語彙・リスニング 予習:(15分)pg.86の語彙を読み、意味を確認する 復習:(30分)語彙ページの20単語を覚える																
			10	Unit 11 You will be healthy! (健康になれますよ) … 未来時制 文法演習 予習:(15分)pgs.89-90を読む 復習:(30分)未来形の振り返り																
			11	Unit 12 Review (ユニット7から11までの復習) 健康と栄養に関する補助教材 予習:(15分)pgs.93-96を読み単語の意味を調べる 復習:(30分)解答の確認と振り返り																
			12	Unit 12 Review (ユニット7から11までの復習) 健康と栄養に関する補助教材 予習:(15分)pgs.97-99を読み単語の意味を調べる 復習:(30分)解答の確認と振り返り																
			13	Appendix A ~ Appendix C (カロリー表、文法説明、ボキャブラリーリスト) 予習:(15分)pgs.101-123を読む 復習:(30分)授業で指示された内容を振り返る																
			14	補足アクティビティによる復習 予習:(15分)全ユニットの質問があるか考え、尋ねる準備をする 復習:(30分)全ユニットの答えが書かれているか確認																
			15	期末試験に向けての復習 予習:(15分)期末試験に向けて質問をまとめる 復習:(時間指定なし)試験に向けて勉強する																
教科書・教材			You Are What You Eat 南雲堂																	
参考書・参考文献等			授業で指示する																	
履修上の注意等			授業で指示する																	
実務経験との関連			実務経験の有無	有	長年にわたる国内や海外の様々な教育機関で教鞭をとってきたESLの経験豊富な教員が授業を担当する。スキューバーダイビングのダイブマスターとレスキューダイバーの資格をPADIから取得する過程において栄養とフィットネスに対する理解を深めた。医療関連の英語論文を多数編集／校正した経験もある。															



【3143】 外国語科目				授業形態				担当教員名				開講年次		開講時期		開講学科									
英語B I				演習				杉本久美子				1年		前期		健康栄養学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件						免許・資格								単位認定の方法と フィードバックの有無								
			必修		選 択				管理栄養士		栄養士	栄養教諭	中学家庭		高校家庭						食品衛生 監視員・管理者				
1	15	30	1									○	○		○				期末試験		70	有			
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》					《態度・志向性》								《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》		期末レポート				
			基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然 コミュニケーションスキル			数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			自己管理能力			チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			授業内小テスト										
															授業内提出物										
															授業内活動		30	有							
															その他										
															計		100								
			フィードバックの方法																						
			○		○		—		○		—		—		○		○								
当該科目の キーワード			《知識・理解》			英語の基礎文法定着と外国の文化理解															期末試験は採点後返却し解答の説明を行う。授業内活動についても、実施ごとに説明と所見を伝える。				
			《汎用的技能》			ペア、グループによる外国語活動																			
			《態度・志向性》			継続的学習態度の育成																			
																			アクティブラーニングの有無 (内容)		有				
授業概要			これまで学んだ英語の知識を定着させ、専門的英語を学ぶ前段階としての準備を行う。 また自分の持つ英語力を使って、積極的にコミュニケーションをとる姿勢を養う。																			ペアワーク、問題解決学習等			
授業の 到達目標			英語学習の基本となる文法の基礎固めを行う。 習得した文法を基に英語の4技能(聞く・話す・読む・書く)の向上を図る。 特にこの授業で使用するテキストは、食をテーマとした内容構成となっているため、専門分野に関する英語の知識の育成に重点を置き、主体的に学ぶ姿勢を養うことを目標とする。																						
単位認定の要件			授業内活動(30%)と期末試験(70%)の合計が60点以上であること。																						
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																					
			1	授業概要説明(使用テキスト、授業展開方法、成績評価方法などについて) Chapter 1 導入 ※授業内活動含む。以下すべての回で同様。 予習:(30分) 初回は使用テキストの内容確認。2回目からは授業内にて指示。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。※予習・復習に関しては各回同様。																					
			2	Chapter 1 Harry Potter and Chocolate Frogs ① Grammar: itの用法 予習:(30分) 復習:(30分)																					
			3	Chapter 1 Harry Potter and Chocolate Frogs ② Reading 予習:(30分) 復習:(30分)																					
			4	Chapter 2: Peter Rabbit and Pie ① Grammar: 品詞 予習:(30分) 復習:(30分)																					
			5	Chapter 2: Peter Rabbit and Pie ② Reading 予習:(30分) 復習:(30分)																					
			6	Chapter 3: Mrs. Rabbit and Herb Tea ① Grammar: 分詞構文 予習:(30分) 復習:(30分)																					
			7	Chapter 3: Mrs. Rabbit and Herb Tea ② Reading 予習:(30分) 復習:(30分)																					
			8	Chapter 4: Winnie-the-Pooh and Honey ① Grammar: 使役動詞 予習:(30分) 復習:(30分)																					
			9	Chapter 4: Winnie-the-Pooh and Honey ② Reading 予習:(30分) 復習:(30分)																					
			10	Chapter 5: Daddy-Long-Legs and Ice Cream ① Grammar: 接続詞 予習:(30分) 復習:(30分)																					
			11	Chapter 5: Daddy-Long-Legs and Ice Cream ② Reading 予習:(30分) 復習:(30分)																					
			12	Chapter 6: Kenji Miyazawa and Tomatoes ① Grammar: 否定 予習:(30分) 復習:(30分)																					
			13	Chapter 6: Kenji Miyazawa and Tomatoes ② Reading 予習:(30分) 復習:(30分)																					
			14	Chapter 7: O. Henry and "Witches' Loaves" ① Grammar: 比較 予習:(30分) 復習:(30分)																					
15	Chapter 7: O. Henry and "Witches' Loaves" ② Reading 前期授業総括 予習:(30分) 復習:(30分)																								
教科書・教材			『フィクションにみる食文化 A Taste of English: Food and Fiction』田口誠一、フィオナ・ミナミ、本山ふじ子 編著 朝日出版社 ¥1700+税																						
参考書・ 参考文献等			特になし																						
履修上の 注意等			授業内活動(ペア、グループ等)には積極的に取り組むこと。																						
実務経験との 関連			実務経験 の有無	無																					

【3144】 外国語科目			授業形態				担当教員名				開講年次		開講時期		開講学科						
			演習				杉本久美子				1年		後期		健康栄養学科						
英語BⅡ											1年		後期		健康栄養学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格									単位認定の方法と フィードバックの有無					
			必 修		選 択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者									
1	15	30	1						○	○	○				期末試験			70	有		
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》								《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート		
			基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然 コミュニケーションスキル			数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					授業内小テスト						
																			授業内提出物		
															授業内活動						
																			その他		
															計				100		
			フィードバックの方法																		
			—			○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	○					
当該科目の キーワード			《知識・理解》		英語の基礎文法定着と外国の文化理解										期末試験は採点後返却し解答の説明を行う。授業内活動についても、実施ごとに説明と所見を伝える						
			《汎用的技能》		ペア、グループによる外国語活動																
			《態度・志向性》		継続的学習態度の育成										アクティブラーニングの有無 (内容)		有				
授業概要			これまで学んだ英語の知識を定着させ、専門的英語を学ぶ前段階としての準備を行う。 また自分の持つ英語力を使って、積極的にコミュニケーションをとる姿勢を養う。																ペアワーク、問題解決学習等		
授業の 到達目標			英語学習の基本となる文法の基礎固めを行う。 習得した文法を基に英語の4技能(聞く・話す・読む・書く)の向上を図る。 特にこの授業で使用するテキストは、食をテーマにした内容構成となっているため、専門分野に関する英語の知識の育成に重点を置き、主体的に学ぶ姿勢を養うことを目標とする。																		
単位認定の要件			授業内活動(30%)と期末試験(70%)の合計が60点以上であること。																		
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																	
			1	授業概要説明(使用テキスト、授業展開方法、成績評価方法について)Chapter 7 導入 ※授業内活動含む。以下すべての回で同様。 予習:(30分) 前期の学習内容確認。2回目以降、予習に関しては授業内で指示。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。 ※各回の予習・復習に関しては各回同様。																	
			2	Chapter 8: The Old Man and Fish ① Grammar: 完了形 予習:(30分) 復習:(30分)																	
			3	Chapter 8: The Old Man and Fish ② Reading 予習:(30分) 復習:(30分)																	
			4	Chapter 9: East of Eden and Lettuce ① Grammar: 動名詞 予習:(30分) 復習:(30分)																	
			5	Chapter 10: Laura and Cheese-Making on the Prairie ① Grammar: 動名詞 予習:(30分) 復習:(30分)																	
			6	Chapter 10: Laura and Cheese-Making on the Prairie ② Reading 予習:(30分) 復習:(30分)																	
			7	Chapter 11: Breakfast and Tiffany's ① Grammar: 関係詞 予習:(30分) 復習:(30分)																	
			8	Chapter 11: Breakfast and Tiffany's ② Reading 予習:(30分) 復習:(30分)																	
			9	Chapter 12: "Mujina" and "Soba" ① Grammar: 不定詞 予習:(30分) 復習:(30分)																	
			10	Chapter 12: "Mujina" and "Soba" ② Reading 予習:(30分) 復習:(30分)																	
			11	Chapter 13: Bridget Jones and Dieting ① Grammar: 助動詞 予習:(30分) 復習:(30分)																	
			12	Chapter 13: Bridget Jones and Dieting ② Reading 予習:(30分) 復習:(30分)																	
			13	Chapter 14: Agatha Christie and Apples ① Grammar: 受動態 予習:(30分) 復習:(30分)																	
			14	Chapter 14: Agatha Christie and Apples ② Reading 予習:(30分) 復習:(30分)																	
15	これまでの内容の復習 / 後期授業総括 予習:(30分) 復習:(30分)																				
教科書・教材			『フィクション』にみる食文化 A Taste of English: Food and Fiction』田口誠一、フィオナ・ミナミ、本山ふじ子 編著 朝日出版社 ¥1700＋税																		
参考書・ 参考文献等			特になし																		
履修上の 注意等			授業内活動(ペア、グループ等)には積極的に取り組むこと。																		
実務経験との 関連			実務経験 の有無	無																	

【3161】保健体育科目				授業形態				担当教員名			開講年次		開講時期		開講学科						
体育Ⅰ				講義				神和人			1年		前期		健康栄養学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件						免許・資格							単位認定の方法と フィードバックの有無					
1	15	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理員									
			1						○	○	○				期末試験						
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート				
			基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然 コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト			70	無			
														授業内提出物							
														授業内活動			30	無			
														その他							
														計			100				
			フィードバックの方法																		
○			－			○	－			○	○	○	－								
当該科目の キーワード			《知識・理解》			個人の体力能力の把握と健康意義を理解する。											小テストにおいてポイント説明と採点解説				
			《汎用的技能》			個人の運動能力は異なるが、目指す方向性を認識し、そのためのスキルを養う															
			《態度・志向性》			各スポーツでのルール・マナーは異なるが、それを認識しお互いが楽しめることを養う											アクティブラーニングの有無 (内容)		有		
授業概要			授業で体得したスキルが様々な場面で発揮できるよう学ぶ。														ゲームにおける戦術とチーム戦によるゲーム進行				
授業の到達目標			各時間ごとにテーマ(目標設定)を設定し、それが個人・集団スポーツでも反映できるよう学ぶ。																		
単位認定の要件			各種スポーツのポイントを理解しているかを重要視する。																		
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																	
			1	ガイダンス (授業内容の説明、注意事項、テスト方法 予習:30(分)実技に伴う準備運動 復習:30(分) 身体を使用した筋群のストレッチングと次週のシャトルラン																	
			2	体力測定(形態・機能) 予習:30(分)体力測定の実施に伴う準備運動 復習:30(分) 身体を使用した筋群のストレッチングと次週のシャトルランに向けてのジョギングの実施																	
			3	体力測定(持久性・能力) 予習:40(分)シャトルランに向けての準備 復習:30(分) 身体を使用した筋群のストレッチング																	
			4	体づくり運動(柔軟性・筋力) 予習:30(分)身体運動の柔軟性 復習:30(分) 個々の体力要素の把握に伴う補強																	
			5	体づくり運動(歩く・走る・投てきのフォーム指導) 予習:30(分)身体活動の準備運動 復習:30(分) 人間の機能特性の把握に伴う運動の実施																	
			6	バドミントンのガイダンス(歴史・ルール・ショット・ハイクリア) 予習:30(分)準備運動の実施 復習:30(分) 各ショットの打ち方の復習																	
			7	バドミントンの基本技術習得(ドライブ・ヘアピン) 予習:30(分)各ショットのポイント把握 復習:30(分) 打点のポイント確認																	
			8	バドミントンの基本技術習得(ドロップ・サーブ・スマッシュ) 予習:30(分)各ショットのポイント確認 復習:30(分)打点と姿勢の確認																	
			9	バドミントンの基本技術習得(スマッシュ・レシーブゲーム方法) 予習:30(分)基本姿勢の確認と打点の位置把握 復習:30(分) 打ち込み打点の確認と基本姿勢の確認																	
			10	バドミントン・小テストテスト 予習:30(分)個人ショットの確認と戦術 復習:30(分) テスト結果に伴う技術確認																	
			11	バスケットボールのガイダンス(歴史・ゲーム方法・小テストについて) 予習:30(分)準備運動 復習:30(分) ボールの感触																	
			12	バスケットボールの基本技術習得ボールに慣れる(シュート) 予習:30(分)ボールの感触とシュート時の基本姿勢の確認 復習:30(分) シュート時のフォーム確認																	
			13	バスケットボールの基本技術習得(パス・ドリブル・レイアップ) 予習:30(分)各ポイント把握 復習:30(分) シュートまでのタイミング、ドリブル時の相手・味方の確認																	
			14	バスケットボールの基本技術習得(オフェンス・ディフェンスの役割) 予習:30(分)ボールコントロール 復習:30(分) 役割の確認																	
			15	バスケットボール・小テスト 予習:30(分)オフェンス・ディフェンスの役割確認 復習:30(分) 動きの確認																	
教科書・教材			特になし																		
参考書・参考文献等			授業内で適宜資料を配布する。																		
履修上の注意等			規則の遵守、用具の取り扱い																		
実務経験との関連			実務経験の有無	有	アルペンスキーオリンピック世界選手権大会等での日本チームトレーナーとしての経験を活かし、スポーツに関する知識等を学ぶ内容の科目である。																

【3162】 保健体育科目			授業形態				担当教員名			開講年次		開講時期		開講学科				
体育Ⅱ			実技				神和人			1年		後期		健康栄養学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格								単位認定の方法と フィードバックの有無			
1	15	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者						
			1						○	○	○			期末試験				
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート		
			基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然 コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト 70 無				
														授業内提出物				
														授業内活動 30 無				
														その他				
														計 100				
			フィードバックの方法															
○ — ○ ○ — — ○ ○ ○ ○ — — ○ ○																		
当該科目の キーワード			《知識・理解》		各種スポーツのスキル習得と協力										授業内試験においてポイント説明と 終了後の採点解説			
			《汎用的技能》		種目の特性を理解しスポーツの楽しみを理解する													
			《態度・志向性》		個人・集団スポーツのルールとマナーを学びお互いがそ雲長できる態度を学ぶ										アクティブラーニングの有無 (内容)		有	
授業概要			スポーツにおける個人的能力を高め、技術習得の重要性を認識し様々な応用ができるよう努める。													各種目ごとに戦術・チームプレーが スムーズに行えるよう実施する		
授業の 到達目標			スポーツの技術習得に向け、段階的に計画し最終的にチームとしても個人としても楽しむことができるようにする。															
単位認定の要件			個人で習得したスキルが場面場面で発揮できているかがポイント															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容														
			1	後期授業についてのガイダンス 予習:30(分)準備運動 復習:30(分) 体づくり運動に向けた準備運動														
			2	体づくり運動(柔軟性・筋力) 予習:30(分)柔軟性向上に向けた準備運動 復習:30(分) 使用した筋群のストレッチング														
			3	体づくり運動(敏捷性・巧緻性) 予習:30(分)敏捷性の準備運動 復習:30(分) 動きで生じる感覚の確認														
			4	ソフトバレーボールにおけるガイダンス 予習:30(分)ソフトバレーボールの感触と打感の確認 復習:30(分) 打点と受ける姿勢の確認														
			5	ソフトバレーボールの基本技術習得(レシーブ・パス) 予習:30(分)ボールと身体の位置確認と基本姿勢 復習:30(分) ボールを受ける姿勢・打つ時の打点確認														
			6	ソフトバレーボールの基本技術習得(サーブ・アタック) 予習:30(分)レシーブ・トスの位置確認 復習:30(分) 各動作と打点の位置確認														
			7	ソフトバレーボールの基本技術習得(ゲーム)(担当:神) 予習:30(分)チームごとの戦術確認 復習:30(分) 勝敗についての検証														
			8	ソフトバレーボール・テスト 予習:30(分)チームごとに戦術の確認 復習:30(分) 勝敗について検証														
			9	バレーボールについてのガイダンス 予習:30(分)ソフトバレーボールとの感触の違い確認 復習:30(分) ボールを受ける位置の把握														
			10	バレーボールの基本技術習得(レシーブ・トス) 予習:30(分)基本姿勢を保ちレシーブ・トス 復習:30(分) 身体とボール位置の確認														
			11	バレーボールの基本技術習得(サーブ・スパイク・ブロック) 予習:30(分)ジャンプ力を高めるための準備 復習:30(分) 打つ打点とブロックの確認														
			12	バレーボールの基本技術習得(ルール・ミニゲーム) 予習:30(分)スパイク・ブロック打点の把握 復習:30(分) チーム戦術														
			13	バレーボールのテスト 予習:30(分)チーム戦術の確認 復習:30(分) 勝敗に対しての検証														
			14	各種スポーツの実施 予習:30(分)チーム・個人ゲームでの確認 復習:30(分) ゲームの勝敗についての検証														
15	総評 予習:30(分)今年度実施したスポーツの検証 復習:30(分) 生涯スポーツに向けての準備																	
教科書・教材			特になし															
参考書・ 参考文献等			授業内で適宜資料を配布する。															
履修上の 注意等			規則を遵守															
実務経験との 関連			実務経験 の有無	有	アルペンスキーオリンピック世界選手権大会等での日本チームトレーナーとしての経験を活かし、スポーツに関する知識を学ぶ内容の科目である。													



【3301】 専門教育科目 専門基礎分野			授業形態				担当教員名			開講年次		開講時期		開講学科						
			講義				市田淳治			1年		後期		健康栄養学科						
地域健康支援論															健康栄養学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格							単位認定の方法と フィードバックの有無					
2	15	30	必修		選択			管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理員							
					2			○									期末試験		無	
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート	40	有		
			基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然 コミュニケーションスキル	数量的スキル				情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観		社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		無
																	授業内提出物	60	有	
																	授業内活動			
																	その他			
																	計	100		
																フィードバックの方法				
			○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○					
当該科目の キーワード			《知識・理解》			日本人および青森県民の食生活と健康の理解									提出物は次の講義で評価、解説、論評する。					
			《汎用的技能》																	
			《態度・志向性》												アクティブラーニングの有無 (内容)		有			
授業概要			青森県の生活者の健康状態、食生活実態を学び、現在問題となっている「短命県日本一」返上に、如何に、産学官が連携して住民の健康支援に取り組んでいるかについて事例より学修する。また、青森県特産の農林水産物の機能性研究と健康との関わりについて学び、その効果的な摂取法などを理解する。これらを踏まえ、地域住民に対する食を通しての健康支援のあり方を考究する。													調査学習、グループディスカッション、グループワーク				
授業の到達目標			人が健康に生活することについて理解し、健康を維持・増進するために必要なことを主に食の視点から修得する。さらに地域社会の（青森県）の実態を把握した上で、地域社会における健康支援の指導的役割を担う能力を獲得する。																	
単位認定の要件			到達目標の到達度合計が60点以上。																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																
			1	栄養と健康について 予習：90(分)講義関係資料に目を通す。 復習：90(分)講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理しておく。																
			2	健康と食生活について 予習：90(分)講義関係資料に目を通す。 復習：90(分)講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理しておく。																
			3	食生活指針について 予習：90(分)講義関係資料に目を通す。 復習：90(分)講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理しておく。																
			4	日本人の健康状態について 予習：90(分)講義関係資料に目を通す。 復習：90(分)講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理しておく。																
			5	国民健康栄養調査から読み解く 予習：90(分)講義関係資料に目を通す。 復習：90(分)講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理しておく。																
			6	青森県民の健康状態について 予習：90(分)講義関係資料に目を通す。 復習：90(分)講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理しておく。																
			7	青森健康栄養調査から読み解く 予習：90(分)講義関係資料に目を通す。 復習：90(分)講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理しておく。																
			8	青森県の食文化について 予習：90(分)講義関係資料に目を通す。 復習：90(分)講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理しておく。																
			9	栄養素とエネルギーについて 予習：90(分)講義関係資料に目を通す。 復習：90(分)講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理しておく。																
			10	地域の農林水産物の栄養性・機能性を考える(カンス) 予習：90(分)講義関係資料に目を通す。 復習：90(分)講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理しておく。																
			11	地域の農林水産物の栄養性・機能性を考える(リンゴ) 予習：90(分)講義関係資料に目を通す。 復習：90(分)講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理しておく。																
			12	地域の農林水産物の栄養性・機能性を考える(ナガイモ) 予習：90(分)講義関係資料に目を通す。 復習：90(分)講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理しておく。																
			13	地域の農林水産物の栄養性・機能性を考える(夏野菜) 予習：90(分)講義関係資料に目を通す。 復習：90(分)講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理しておく。																
			14	地域の農林水産物の栄養性・機能性を考える(ホタテ) 予習：90(分)講義関係資料に目を通す。 復習：90(分)講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理しておく。																
15	地域の農林水産物の栄養性・機能性を考える(鮭)／まとめ 予習：90(分)講義関係資料に目を通す。 復習：90(分)すべての講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、試験までに整理しておく。																			
教科書・教材			配布プリント																	
参考書・参考文献等			特になし																	
履修上の注意等			地域とその健康と食生活を深く理解するよう、積極的に情報収集をすること資料を閲覧したり、情報収集のためノートパソコンを使用します。常に持参するようにしてください。特別の理由がない30分以上の遅刻は欠席扱いとなります																	
実務経験との関連			実務経験の有無	有	担当者は、長年にわたり青森県の試験研究機関において、地域の食品資源が健康の増進と疾病の予防に及ぼす影響について研究を行っている。															

【3302】専門教育科目 専門基礎分野			授業形態				担当教員名			開講年次		開講時期		開講学科							
社会福祉論				講義				齋藤史彦			1年		前期		健康栄養学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格							単位認定の方法と フィードバックの有無						
2	15	30	必修		選択			管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理者								
			2					○	○							期末試験			80	無	
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》						
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観			社会的責任	生涯学習力			
			○	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—			○	—	—		
			《知識・理解》			基礎的知識の体系的理解 文化・社会・自然											特に行わない				
			《汎用的技能》			-															
			《態度・志向性》			自己管理能力 社会的責任															
			《知識・理解》														アクティブラーニングの有無 (内容)			無	
《汎用的技能》																					
《態度・志向性》																					
授業概要			社会保障・社会福祉は、国民が「人たるに値する」生活を送るために、一定のサービス等を公的に提供する制度であるが、その内容は状況に応じて様々である。現代の少子高齢社会において、社会保障・社会福祉の重要性はますます増大している。この講義は、日本の社会保障・社会福祉政策の現状を認識し、将来の問題を自ら考えることができるようになるために必要な知識を獲得するものである。																		
授業の到達目標			①現代社会の生活上に生じる諸問題と社会保障・社会福祉の必要性を理解する。 ②社会保障の理念と基本的なしくみについて理解する。 ③社会福祉の理念と諸概念についてその概要を理解する。 ④社会福祉のしくみについてその概要を理解する。																		
単位認定の要件			上記の到達目標を確認する期末試験および授業参加状況・レポート等を含めた総合評価が60%以上であること。																		
授業計画 (予習・復習の内容・時間含む)			回	内 容																	
			1	“社会問題とその背景 予習：(90分)個人や家族の生活の維持・存続にとって障害となっている社会的な問題を調べ、その概要をノートにまとめなさい。 復習：(90分)あなたの考える<ニユリスク>を挙げ、それによる生活への影響をノートにまとめなさい。”																	
			2	“生活自助原則と福祉 予習：(90分)あなたが生活する上で最低限必要なものや条件を挙げ、それらをどのように入手しているかをノートの整理しなさい。 復習：(90分)現在のあなたの生活において<生活行為>が中断される要因をあげ、それらにどのように対応できるか検討しなさい。”																	
			3	“社会問題への対応と社会保障・社会福祉 予習：(90分)「夜警国家」および「福祉国家」とはどのようなものか。各々の概念を社会問題と関連させながらノートにまとめなさい。 復習：(90分)「福祉国家の危機」とはどのようなことか。800字程度でノートにまとめなさい。”																	
			4	“社会保障の目的・体系的理解 予習：(90分)生活問題に対する自助・共助・公助にはどのようなものがあげられるか。それぞれ具体例をあげてノートに整理しなさい。 復習：(90分)社会保障制度が充実していない社会において生じる問題を検討し、ノートにまとめなさい。”																	
			5	“社会保障の機能・方法の理解 予習：(90分)教科書P225第3節～P237をよく読んで講義に臨むこと。 復習：(90分)「社会保険」の目的と仕組みについて、具体例を挙げて800字程度で説明しなさい。(第1回目レポート)”																	
			6	“現代社会と社会福祉の基本的な視点 予習：(90分)現在、あなたが所属している集団を全て挙げ、その中でどのような役割を果たしているかをノートに整理しなさい。 復習：(90分)一般政策と社会福祉の視点の違いをノートにまとめなさい。”																	
			7	社会福祉法制の体系 予習：(90分)教科書P39～P43を読み、社会福祉の法制度がそのような背景の中で制定されてきたのかをノートにまとめなさい。 復習：(90分)講義で取り上げた生活を支える法律以外に、生活を支える法律にはどのようなものがあるのか調べなさい。”																	
			8	“社会福祉の実施体制 予習：(90分)地方自治法による国と地方自治体の役割分担を調べてノートに整理しなさい。 復習：(90分)弘前市内にある社会福祉の専門機関や民間機関・団体にはどのようなものがあるかをノートに整理しなさい。”																	
			9	“福祉サービスの利用と権利擁護 予習：(90分)契約の定義および契約が認められる要件を調べてノートに整理しなさい。 復習：(90分)「社会福祉サービスの利用において成年後見制度が必要となった理由をノートに整理しなさい。”																	
			10	“社会福祉の担い手 予習：(90分)教科書P185～P189を読み、社会福祉に関する主な資格と業務を表にしてノートに整理しなさい。 復習：(90分)障害児入所施設以外に管理栄養士が社会福祉の担い手と連携するのはどのような時かをノートに整理しなさい。”																	
			11	“社会福祉の分野とサービス① 公的扶助 予習：(90分)教科書P73～P75を読み、低所得と貧困の違いをノートに整理しなさい。 復習：(90分)生活保護法の基本原理に関する過去の新聞記事を読み、その概要と記事に対するあなたの意見を述べなさい。(第2回目レポート)																	
			12	社会福祉の分野とサービス② 子ども家庭福祉 予習：(90分)日本ユニセフ協会のホームページを見て、児童の権利に関する条約の概要をノートにまとめなさい。 復習：(90分)管理栄養士の仕事において子どもの権利はどのように関連するかを検討しなさい。”																	
			13	“社会福祉の分野とサービス③ 難病および障害児・者の福祉 予習：(90分)教科書P142～P147を読み、各法律に規定されている障害児・者の定義と手帳制度を表にまとめなさい。 復習：(90分)合理的配慮を説明した上で、どのような対応がされなければならないのかを説明しなさい。”																	
			14	社会福祉の分野とサービス④ 介護保障システムと高齢者福祉 予習：(90分)「介護問題」を複数挙げ、それらはどのような問題か、またどのような背景から生じるのかをノートにまとめなさい。 復習：(90分)介護保険制度のしくみを説明した上で、今後、保険制度を維持していく上で必要と思われる事を説明しなさい。”																	
15	“社会福祉の分野とサービス⑤ 地域福祉 予習：(90分)教科書P166～P169を読んで、あなたが生活している中で感じている地域の問題を複数あげなさい。 復習：(90分)“<コミュニティ>を形成していくために必要なこととあなたができることをノートに書きなさい。”																				
教科書・教材			山田美津子・稲葉光彦編「社会福祉を学ぶ(第四版)」2019年 みらい																		
参考書・参考文献等			講義の中で紹介する。																		
履修上の注意等			講義の中で取り上げる諸問題について、自分と関連する問題として捉えてほしい。 日々の新聞から講義計画に記載されているワードや、それに関連する記事を探してよく読むこと。																		
実務経験との関連			実務経験の有無	無																	

【3303】 専門教育科目 専門基礎分野				授業形態		担当教員名		開講年次		開講時期		開講学科								
健康衛生学				講義		田中里奈		1年		後期		健康栄養学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格						単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理者								
2	15	30	2				○	○							期末試験	40	有			
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》				
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任				生涯学習力	
○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	期末レポート						
当該科目の キーワード			《知識・理解》			公衆衛生、地域保健、健康増進、環境保健										授業の内容を反映した小テストを 授業の最後に実施する。正否は即時 確認できるようにする。				
			《汎用的技能》			疫学														
			《態度・志向性》																アクティブラーニングの有無 (内容)	無
授業概要			健康の定義や予防の概念を知り、人口統計や保健統計などの疫学的な学修を通して、人間を取り巻く健康課題を理解する。また、その健康課題に対しての疾病予防、早期発見、そして健康増進のための組織的な取組みついて理解する。																	
授業の 到達目標			・健康の定義、予防の概念が説明できる。 ・主要な健康指標を理解し、健康課題が説明できる。 そして健康の保持・増進に対する対策や制度について説明できる。																	
単位認定の要件			3分の2以上出席した上で、期末試験、小テスト、授業態度などの総合評価が60点以上であること。																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																
			1	オリエンテーション 健康の概念と公衆衛生学 予習:(60分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(60分)小テストで誤った箇所を確認する。																
			2	人口動態統計と保健統計 予習:(60分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(60分)小テストで誤った箇所を確認する。																
			3	疫学1 予習:(60分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(60分)小テストで誤った箇所を確認する。																
			4	疫学2 予習:(60分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(60分)小テストで誤った箇所を確認する。																
			5	母子保健 予習:(60分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(60分)小テストで誤った箇所を確認する。																
			6	成人保健 予習:(60分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(60分)小テストで誤った箇所を確認する。																
			7	学校保健・高齢者保健 予習:(60分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(60分)小テストで誤った箇所を確認する。																
			8	感染症 予習:(60分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(60分)小テストで誤った箇所を確認する。																
			9	食品衛生 予習:(60分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(60分)小テストで誤った箇所を確認する。																
			10	環境保健 予習:(60分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(60分)小テストで誤った箇所を確認する。																
			11	社会保障と社会福祉 予習:(60分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(60分)小テストで誤った箇所を確認する。																
			12	精神保健と障害者保健 予習:(60分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(60分)小テストで誤った箇所を確認する。																
			13	産業保健 予習:(60分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(60分)小テストで誤った箇所を確認する。																
			14	国際保健 予習:(60分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(60分)小テストで誤った箇所を確認する。																
			15	まとめ 予習:(60分)教科書の該当箇所を読む。 復習:(60分)小テストで誤った箇所を確認する。																
教科書・教材			南江堂「シンプル衛生公衆衛生学2024」辻一郎、小山洋編																	
参考書・ 参考文献等			公衆衛生がみえる(メディックメディア) よくわかる公衆衛生(金原出版)など																	
履修上の 注意等			座学が中心となります。 自分自身や周囲の個人あるいは家族、地域社会に目を向けて推考し、理解を深めて欲しいです。 健康に関するニュースに関心を持って下さい。																	
実務経験との 関連			実務経験 の有無	無																

【3308】 専門教育科目 専門基礎分野				授業形態				担当教員名				開講年次		開講時期		開講学科					
生化学				講義				飯泉恭一				1年		後期		健康栄養学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件						免許・資格								単位認定の方法と フィードバックの有無				
2	15	30	必修		選択				管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理員							
			2						○	○							期末試験	70	有		
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート				
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任		生涯学習力	授業内小テスト	20	有	
																	授業内提出物				
																	授業内活動	10	有		
																	その他				
																	計	100			
																	フィードバックの方法				
			《知識・理解》			生化学に関する知識													提出課題は、正解と解説を記して返却する。		
当該科目のキーワード			《汎用的技能》			論理的思考力															
			《態度・志向性》			相手に伝える技術と態度													アクティブラーニングの有無 (内容)		有
授業概要			本講義では、我々の細胞がどのような物質によって構成されているのか、そしてそれらの物質がどのように合成・分解されるのかを学ぶ。必要に応じて組織・器官・個体レベルにも触れ、単なる化学反応を学習しているのではなく、我々の身体が対象であることを確認する。なお、簡単な実験やグループ討論なども実施し、受け身ではなく自ら積極的に学ぶ姿勢を養う。															グループディスカッションとプレゼンテーション			
授業の到達目標			以下の項目を到達目標とする。 1. 生体構成成分の化学的性質を理解する。 2. 生体構成成分の役割を理解する。 3. 生体構成成分の代謝機構を理解する。 4. プレゼンテーションを通して論理的思考力と問題解決力を養成する。																		
単位認定の要件			到達目標の達成が60%以上																		
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																	
			1	細胞の構造と機能 予習:0(分) 復習:180(分) 授業の進め方を確認し、適切に予習・復習するための準備をする。																	
			2	生命維持に必要な物質の構造と性質1(糖質) 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																	
			3	生命維持に必要な物質の構造と性質2(脂質) 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																	
			4	生命維持に必要な物質の構造と性質3(アミノ酸・タンパク質) 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																	
			5	酵素の性質と働き 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																	
			6	生命維持に必要な物質の構造と性質4(核酸) 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																	
			7	生命維持に必要な物質の構造と性質5(ビタミン) 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																	
			8	糖質の代謝1(解糖系・TCA回路、電子伝達系) 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																	
			9	糖質の代謝2(グリコーゲン合成、ペントースリン酸回路) 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																	
			10	糖質の代謝3(血糖値の調節) 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																	
			11	アミノ酸の代謝 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																	
			12	脂質の代謝 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																	
			13	核酸の代謝 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																	
			14	グループディスカッションとプレゼンテーション 予習:60(分) グループごとにディスカッションを実施し、プレゼンテーションの準備を行う。 復習:120(分) ディスカッションとプレゼンテーション内容をまとめ、重要項目の理解と知識の定着をはかる。																	
15	まとめ 予習:60(分) これまでの範囲で理解できなかった箇所を明らかにする。 復習:120(分) 問題演習を通して、知識の定着をはかる。																				
教科書・教材			・健康・栄養科学シリーズ 生化学(南江堂) ・配付資料																		
参考書・参考文献等			必要に応じて紹介する。																		
履修上の注意等			小テストを毎回実施するので復習は必ず実施すること。授業中や授業後の積極的な質問を歓迎する。																		
実務経験との関連			実務経験の有無	無																	



【3309】 専門教育科目 専門基礎分野				授業形態				担当教員名			開講年次		開講時期		開講学科						
栄養生化学				講義				奥野海良人			1年		後期		健康栄養学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格							単位認定の方法と フィードバックの有無						
			必修		選択			管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理員								
2	15	30	2					○	○							期末試験	100	有			
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート				
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任		生涯学習力	授業内小テスト			
																		授業内提出物			
																		授業内活動			
																		その他			
																		計	100		
			フィードバックの方法																		
○			－		－		○	○	－	－	－	－	－	－	－						
当該科目の キーワード			《知識・理解》			生体内における栄養素の代謝の理解											期末試験は栄養学の意義を深く理解できたかの観点から評価し、次年度の実験に対する思考力を高める。				
			《汎用的技能》			エネルギー代謝に関する計算															
			《態度・志向性》														アクティブラーニングの有無 (内容)		無		
授業概要			栄養生化学は、生化学の研究成果を栄養学的に展開したものである。健康とは、体内の生化学反応の調和がとれている状態である。栄養素は細胞内の分解、変換、合成などの代謝を経て生命の基本である生体機能の維持がなされる。																		
授業の到達目標			ヒトは外界から取り入れる物質に依存して生命活動を営んでいる。私たちは、①どのような食事または栄養素を摂取するのか？②どのような仕組みが必要なのか？③物質代謝とエネルギー代謝はどのような関係にあるのか？④ヒトが異なる生活環境により栄養代謝の流れはどのように変化し調和するのか？などを修得する。																		
単位認定の要件			筆記試験の60%以上。																		
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																	
			1	講義内容:脂溶性ビタミン(ビタミンA, D, E, K) 予習:(60分)教科書p199～208を読み込む。 復習:(60分)それぞれの脂溶性ビタミンの特徴、生理作用、欠乏症、過剰症を理解する。																	
			2	講義内容:水溶性ビタミン(ビタミンB1, B2, ナイアシン, B6, B12, 葉酸) 予習:(60分)教科書p208～213を読み込む。 復習:(60分)それぞれの水溶性ビタミンの特徴、生理作用、欠乏症を理解する。																	
			3	講義内容:水溶性ビタミン(パントテン酸, ビオチン, ビタミンC) 予習:(60分)教科書p215～218を読み込む。 復習:(60分)それぞれの水溶性ビタミンの特徴、生理作用、欠乏症を理解する。																	
			4	講義内容:多量ミネラル(Ca, P, Mg, Na, K) 予習:(60分)教科書p227～238を読み込む。 復習:(60分)それぞれのミネラルの生理作用、血中濃度の維持機構、欠乏症および過剰症を理解する。																	
			5	講義内容:微量ミネラル(Fe, Cu, Zn, Mn) 予習:(60分)教科書p238～245を読み込む。 復習:(60分)それぞれのミネラルの生理作用、血中濃度の維持機構、欠乏症および過剰症を理解する。																	
			6	講義内容:微量ミネラル(Se, Cr, I, Mo) 予習:(60分)教科書p244～247を読み込む。 復習:(60分)それぞれのミネラルの生理作用、血中濃度の維持機構、欠乏症および過剰症を理解する。																	
			7	講義内容:水の特性と体内調節 予習:(60分)教科書p253～261を読み込む。 復習:(60分)水の性質、身体に含まれる水の種類、水の出納について理解する。栄養素によって発生する代謝水量を計算できる。																	
			8	講義内容:電解質と緩衝作用 予習:(60分)教科書p262～267を読み込む。 復習:(60分)体内の電解質の分布の特徴を理解する。生体内での酸塩基の変化と調節メカニズムを説明できる。																	
			9	講義内容:エネルギー代謝の概念 予習:(60分)教科書p181～198を読み込む。 復習:(60分)食品がもつエネルギーと体内で利用されるエネルギーについて理解する。基礎代謝、安静時代謝、活動時代謝とその測定法を説明できる。																	
			10	講義内容:栄養と遺伝子(1) 予習:(60分)教科書p267～274を読み込む。 復習:(60分)セントラルドグマについて説明できる。先天的な遺伝子変異による体質の特徴や疾病を理解する。遺伝子レベルでの身体調節を理解する。																	
			11	講義内容:栄養と遺伝子(2) 予習:(60分)教科書p18, 19, 48～50, 275～280を読み込む。 復習:(60分)後天的な遺伝情報の修飾について理解する。後天的遺伝子変異による癌の発生について理解する。																	
			12	講義内容:食物繊維 予習:(60分)教科書p125～133を読み込む。 復習:(60分)各種食物繊維を性質に分けて覚え、その構造を理解する。食物繊維の生理作用を理解し、疾病との関連を説明できる。																	
			13	講義内容:食物繊維以外の難消化成分 予習:(60分)教科書p125～133を読み込む。 復習:(60分)オリゴ糖、糖アルコールの構造、生理作用を理解する。アルコールの作用と代謝について理解する。																	
			14	講義内容:栄養素どうしの関わり 予習:(60分)教科書p124, 125, 156, 175, 176, 220～224を読み込む。 復習:(60分)特に3大栄養素の代謝の関りを理解し、空腹時、満腹時の血糖調節についてそれぞれの栄養素から説明できる。																	
			15	講義内容:栄養素の代謝異常 予習:(60分)教科書p176～179を読み込む。 復習:(60分)糖質、脂質、アミノ酸の代謝異常による疾患を説明できる。																	
教科書・教材			健康・栄養科学シリーズ 基礎栄養学(南江堂)																		
参考書・参考文献等			健康・栄養科学シリーズ 生化学(南江堂)																		
履修上の注意等			毎回の予習と復習が大切である。 毎回の到達目標は必ず達成すること。																		
実務経験との関連			実務経験の有無	無																	

【3318】 専門教育科目 専門基礎分野				授業形態		担当教員名		開講年次		開講時期		開講学科							
食品健康科学				講義		前多準人		1年		後期		健康栄養学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格						単位認定の方法と フィードバックの有無						
		必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理員								
2	15	30	2				○	○			○	○			期末試験	90	有		
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》							期末レポート				
	基礎知識の体系的 理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	授業内小テスト	10	有	
																授業内提出物			
																授業内活動			
																その他			
																計	100		
	フィードバックの方法																		
○		—		○	—	—	○	○	○	—									
当該科目の キーワード	《知識・理解》		食品成分の役割と健康機能性															採点後に返却します	
	《汎用的技能》		食品成分と疾患予防																
	《態度・志向性》		食と健康のつながりを伝える力															アクティブラーニングの有無 (内容)	無
授業概要		健全な食生活は健康的な生活の維持に極めて重要である。食品に含まれる様々な栄養素の概念について学ぶとともに、近年注目されている食品成分による疾患の予防改善作用など、食品の三次機能について詳しく学ぶ。特に、機能性を示す食品成分の作用メカニズムを理解することにより科学的根拠に基づいた食品の正しい知識を修得する。																	
授業の 到達目標		本講義では食品成分の個々の役割を学び、食指導に必要な以下の点についての知識を深めることを目標とします。 1. 食品に含まれる成分と健康との関わりを正しく理解する。 2. 食品の3次機能に關係する機能性非栄養素とその役割について理解する。 3. 病気の予防につながる食生活について理解を深める。																	
単位認定の要件		単位認定の基準に従い評価し、合計が60点以上。																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																	
	1	食品の健康機能の概念、機能性食品 予習:(90分)教科書の序論の予習 復習:(90分)プリントの重要用語の記述事項の整理																	
	2	炭水化物の種類 予習:(90分)教科書の該当箇所の予習 復習:(90分)プリントの重要用語の整理と教科書の該当箇所の再チェック																	
	3	炭水化物と病態 予習:(90分)教科書の該当箇所の予習 復習:(90分)プリントの重要用語の整理と教科書の該当箇所の再チェック																	
	4	炭水化物と糖尿病 予習:(90分)教科書の該当箇所の予習 復習:(90分)プリントの重要用語の整理と教科書の該当箇所の再チェック																	
	5	炭水化物の機能(レジスタントスターチ、食物繊維、オリゴ糖) 予習:(90分)教科書の該当箇所の予習 復習:(90分)プリントの重要用語の整理と教科書の該当箇所の再チェック																	
	6	脂質の種類、脂肪酸 予習:(90分)教科書の該当箇所の予習 復習:(90分)プリントの重要用語の整理と教科書の該当箇所の再チェック																	
	7	脂質の代謝 予習:(90分)教科書の該当箇所の予習 復習:(90分)プリントの重要用語の整理と教科書の該当箇所の再チェック																	
	8	コレステロールの代謝 予習:(90分)教科書の該当箇所の予習 復習:(90分)プリントの重要用語の整理と教科書の該当箇所の再チェック																	
	9	脂質と病態、脂質の機能(DHA/EPA/CLA、植物ステロール) 予習:(90分)教科書の該当箇所の予習 復習:(90分)プリントの重要用語の整理と教科書の該当箇所の再チェック																	
	10	タンパク質、アミノ酸の種類、代謝 予習:(90分)教科書の該当箇所の予習 復習:(90分)プリントの重要用語の整理と教科書の該当箇所の再チェック																	
	11	タンパク質の機能(ペプチド、大豆たんぱく質) 予習:(90分)教科書の該当箇所の予習 復習:(90分)プリントの重要用語の整理と教科書の該当箇所の再チェック																	
	12	脂溶性ビタミンの機能 予習:(90分)教科書の該当箇所の予習 復習:(90分)プリントの重要用語の整理と教科書の該当箇所の再チェック																	
	13	水溶性ビタミンの機能 予習:(90分)教科書の該当箇所の予習 復習:(90分)プリントの重要用語の整理と教科書の該当箇所の再チェック																	
	14	ミネラルの機能 予習:(90分)教科書の該当箇所の予習 復習:(90分)プリントの重要用語の整理と教科書の該当箇所の再チェック																	
	15	機能性非栄養素とその摂取方法 予習:(90分)教科書の該当箇所の予習 復習:(90分)プリントの重要用語の整理と教科書の該当箇所の再チェック																	
教科書・教材		わかりやすい食品機能栄養学(三共出版)																	
参考書・参考文献等		食品学・食品成分と機能性・(東京化学同人)、基礎栄養学ノート(羊土社)																	
履修上の注意等		テストは単語の暗記だけではなく、記述問題もあります。内容をよく理解し、自分の言葉で説明ができるように心がけ、学習に取り組んでください。																	
実務経験との関連		実務経験の有無	無																

【3320】 専門教育科目 専門基礎分野			授業形態			担当教員名			開講年次		開講時期		開講学科									
調理学				講義			山田和歌子			1年		前期		健康栄養学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格								単位認定の方法と フィードバックの有無							
2	15	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理者										
			2				○	○														
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》						《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》						
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任				生涯学習力			
			○	○	○	○	○	○	—	○	○	—	—	—	—				○	—		
			期末試験																80	有		
			期末レポート																			
			授業内小テスト																10	有		
			授業内提出物																10	有		
			授業内活動																			
その他																						
計															100							
フィードバックの方法																						
			《知識・理解》			調理の基本や食品の調理特性と食文化の理解										理解度を確認するため随時小テストを実施し、解説を行う。						
当該科目の キーワード			《汎用的技能》			調理特性を活かした献立計画と栄養価計算能力の習得																
			《態度・志向性》			健康的な食生活・食を取り巻く環境への興味																
授業概要			調理の目的は食品を安全でおいしく、より効率的に栄養を摂取できるよう加工することである。調理学では調理操作の目的や特徴、食素材の調理特性を理論的に学び、健康的な食生活を支えるための食事作りに関する知識を学修する。さらに具体的な事例を取り入れて調理の理論と実践に必要な知識を学び、「おいしさの科学」も学修する。																			
授業の到達目標			調理学の基本となる知識を修得するために ①食材料を調理することによる食品の組織・物性・栄養成分の変化を理解する ②調理操作の目的や特徴を理解する ③おいしさに関する食べ物の味などの性質を理解する ④各種食材料の調理特性を理解する ⑤栄養バランスのとれた献立作成など実践に結び付けける力を身を獲得する																			
単位認定の要件			到達目標の①～⑤の項目が60％以上理解できていること																			
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																		
			1	調理学の基礎:調理の基本、食事設計の意義・内容について 予習: (60分)テキストの該当する箇所を読んで学習内容の確認をする 復習: (120分) 調理の基本、食餌設計の意義・内容についてノートにまとめる																		
			2	食事設計の基礎知識: 食事設計と嗜好性、嗜好性の評価、だし・調味料・香辛料の特徴と栄養学的・機能的利点について 予習: (60分)テキストの該当する箇所を読んで学習内容の確認をする 復習: (120分) 食事設計と嗜好性、嗜好性の評価、だし・調味料・香辛料の特徴と栄養学的・機能的利点についてノートにまとめる																		
			3	食品成分表の理解と活用: 食品成分表の役割、構成と内容、食品成分表の活用、食品成分表の利用における注意点について 予習: (60分)テキストの該当する箇所を読んで学習内容の確認をする 復習: (120分) 食品成分表の役割、構成と内容、食品成分表の活用、食品成分表の利用における注意点についてノートのまとめる																		
			4	調理操作の分類: 食品の特徴に応じた調理の特性について 予習: (60分)テキストの該当する箇所を読んで学習内容の確認をする 復習: (120分) 食品の特徴に応じた調理の特性についてノートをまとめる																		
			5	非加熱調理操作: 非加熱調理操作の原理・種類・特徴、使用する器具・機器、非加熱調理操作の栄養学的・機能的利点について 予習: (60分)テキストの該当する箇所を読んで学習内容の確認をする 復習: (120分) 非加熱調理操作の原理・種類・特徴、使用する器具・機器、非加熱調理操作の栄養学的・機能的利点についてノートをまとめる																		
			6	加熱調理操作: 加熱調理操作の原理・種類・特徴、使用する器具・機器、加熱調理操作の栄養学的・機能的利点について 予習: (60分)テキストの該当する箇所を読んで学習内容の確認をする 復習: (120分) 加熱調理操作の原理・種類・特徴、使用する器具・機器、加熱調理操作の栄養学的・機能的利点についてノートにまとめる																		
			7	調理器具・機器、エネルギー源: 加熱機器の構造、加熱方法、調理に使われる熱源の特徴について 予習: (60分)テキストの該当する箇所を読んで学習内容の確認をする 復習: (120分) 加熱機器の構造、加熱方法、調理に使われる熱源の特徴についてノートにまとめる																		
			8	調理操作と栄養(穀類): 食品の成分特性・栄養特性・調理特性と調理特性による食品の組織・物性と栄養成分の変化について 予習: (60分)テキストの該当する箇所を読んで学習内容の確認をする 復習: (120分) 食品の成分特性・栄養特性・調理特性と調理特性による食品の組織・物性と栄養成分の変化についてノートにまとめる																		
			9	調理操作と栄養(イモ類、豆類、糧実類): 食品の成分特性・栄養特性・調理特性と調理特性による食品の組織・物性と栄養成分の変化について 予習: (60分)テキストの該当する箇所を読んで学習内容の確認をする 復習: (120分) 食品の成分特性・栄養特性・調理特性と調理特性による食品の組織・物性と栄養成分の変化についてノートにまとめる																		
			10	調理操作と栄養野菜類、果物類、キノコ類、藻類: 食品の成分特性・栄養特性・調理特性と調理特性による食品の組織・物性と栄養成分の変化について 予習: (60分)テキストの該当する箇所を読んで学習内容の確認をする 復習: (120分) 食品の成分特性・栄養特性・調理特性と調理特性による食品の組織・物性と栄養成分の変化についてノートにまとめる																		
			11	調理操作と栄養(食肉類): 食品の成分特性・栄養特性・調理特性と調理特性による食品の組織・物性と栄養成分の変化について 予習: (60分)テキストの該当する箇所を読んで学習内容の確認をする 復習: (120分) 食品の成分特性・栄養特性・調理特性と調理特性による食品の組織・物性と栄養成分の変化についてノートにまとめる																		
			12	調理操作と栄養(魚介類): 食品の成分特性・栄養特性・調理特性と調理特性による食品の組織・物性と栄養成分の変化について 予習: (60分)テキストの該当する箇所を読んで学習内容の確認をする 復習: (120分) 食品の成分特性・栄養特性・調理特性と調理特性による食品の組織・物性と栄養成分の変化についてノートにまとめる																		
			13	調理操作と栄養(卵類、牛乳・乳製品): 食品の成分特性・栄養特性・調理特性と調理特性による食品の組織・物性と栄養成分の変化について 予習: (60分)テキストの該当する箇所を読んで学習内容の確認をする 復習: (120分) 食品の成分特性・栄養特性・調理特性と調理特性による食品の組織・物性と栄養成分の変化についてノートにまとめる																		
			14	調理操作と栄養(でんぷん、油脂類、ケル化素材): 食品の成分特性・栄養特性・調理特性と調理特性による食品の組織・物性と栄養成分の変化について 予習: (60分)テキストの該当する箇所を読んで学習内容の確認をする 復習: (120分) 食品の成分特性・栄養特性・調理特性と調理特性による食品の組織・物性と栄養成分の変化についてノートにまとめる																		
15	献立作成と料理様式: 献立作成条件と手順、供食、食卓構成、食事環境について 予習: (60分)テキストの該当する箇所を読んで学習内容の確認をする 復習: (120分) 献立作成条件と手順、供食、食卓構成、食事環境についてノートにまとめる																					
教科書・教材			中嶋加代子編著、調理学の基本 第五版・おいしさと健康を目指す - 同文書院 ビジュアル食品成分表(八訂)(大修館書店) NEW調理と理論(同文書院、山崎 清子著)																			
参考書・参考文献等			「こつ」の科学(柴田書院、杉田浩一著)																			
履修上の注意等			授業時間内で随時小テスト(本試験に関連する問題が含まれます)を行います。調理学は後期に履修する基礎調理学実習の基礎となるためよく学修してください。																			
実務経験との関連			実務経験の有無	無																		

【3323】 専門教育科目 専門基礎分野				授業形態				担当教員名				開講年次		開講時期		開講学科				
基礎調理学実習				実習				山田和歌子				1年		後期		健康栄養学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件						免許・資格								単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修		選択				管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理者						
1	8	30	1						○	○			○	○			期末試験	50	有	
学士力の分類  当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》						《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート			
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任		生涯学習力	授業内小テスト		
																		授業内提出物	25	有
																		授業内活動	25	有
																		その他		
																		計	100	
			フィードバックの方法																	
			○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	○	○					
当該科目の キーワード			《知識・理解》			調理技術の習得 食品の調理特性の理解 健康で豊かな食生活への応用											試験や提出物は採点・返却し、解説する。授業内活動(実習)は授業内で評価を行い、解説する。			
			《汎用的技能》			共同作業における技術の習得														
			《態度・志向性》			共同作業の円滑な運営											アクティブラーニングの有無 (内容)		有	
授業概要			健康的な食生活を実践するためには、調理学の理論をよく理解し、「おいしさと健康」を考えた食事作りが重要である。安全面や衛生面に配慮し、バランスの良い食事作りが実践できる能力と技術を養うとともに調理操作に伴う食品の物性、嗜好性、栄養成分の変化について理解を深め、食べ物の特性を考慮した献立作り及び調理の役割を理解する。日本の食風土から発展した日本料理の文化を念頭に、食の多様性から西洋料理、中華料理の特性も含めて「調理と健康」を考えて実習する。試食前に教員による評価を行う。														調査学習、グループディスカッション、グループワーク			
授業の到達目標			①健康で豊かな食生活ができるように、基本的な調理の理論を科学的に捉えた調理技術の習得と食品の調理特性を理解する。 ②代表的な日本料理、西洋料理、中国料理の献立と調理法を習得する。 ③行事食について知り、調理法を習得する。																	
単位認定の要件			実技試験、提出物、実習への取り組みを総合的に判断し、60%以上の習得とする																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																
			1	オリエンテーション:調理実習室の使用、実習における安全と衛生管理、調理器、計量器などの使用方法について 予習:15(分)実習内容について教科書に目を通しておく 復習:30(分) 次回からの実習に向けて本日の内容を確認する																
			2	調理の基本:炊飯方法、だしのとり方、食材の切り方について 予習:30(分)教科書の該当部分を読み、実習の計画を立てる。 復習:60(分)実習で学んだことを整理し、まとめる。																
			3	日本料理の基本1:炊飯方法(味付き飯)、緑黄色野菜の調理について 予習:30(分)教科書の該当部分を読み、実習の計画を立てる。 復習:60(分)実習で学んだことを整理し、まとめる。																
			4	日本料理の基本2:魚類の調理(三枚卸)について 予習:30(分)教科書の該当部分を読み、実習の計画を立てる。 復習:60(分)実習で学んだことを整理し、まとめる。																
			5	西洋料理の基本1:スープストックのとり方、芋類の調理、ゼラチンの調理について 予習:30(分)教科書の該当部分を読み、実習の計画を立てる。 復習:60(分)実習で学んだことを整理し、まとめる。																
			6	西洋料理の基本2:小麦粉の調理、肉類の調理、紅茶について 予習:30(分)教科書の該当部分を読み、実習の計画を立てる。 復習:60(分)実習で学んだことを整理し、まとめる。																
			7	中国料理の基本1:炊飯方法(粥)、寒天の調理、中国茶について 予習:30(分)教科書の該当部分を読み、実習の計画を立てる。 復習:60(分)実習で学んだことを整理し、まとめる。																
			8	行事食【正月】:卵の調理(希釈卵液)について 予習:30(分)教科書の該当部分を読み、実習の計画を立てる。 復習:60(分)実習で学んだことを整理し、まとめる。																
教科書・教材			新 調理学実習 第二版 ―基礎調理から給食への展開―(同文書院) 調理のためのベーシックデータ第6版(女子栄養大学出版部) ハ訂準拠ビジュアル食品成分表(大修館書店) ※必要に応じてプリントを配布する																	
参考書・参考文献等			NEW調理と理論第二版(同文書院) 調理学の基本第5版ーおいしさ健康を目指すー 調理学実習 基礎から応用(女子栄養大学出版部)																	
履修上の注意等			次回の授業内容を熟読して授業に臨むこと。時間割では3時間ですが、実習終了時まで行うので実習の後には予定を入れないこと。 日々の食事に関心を寄せ、献立・調理法への理解を深めること。 食材の都合により、実習の内容や順番が変わることがあります。																	
実務経験との関連			実務経験の有無		無															



【3325】 専門教育科目 専門分野			授業形態				担当教員名			開講年次		開講時期		開講学科						
基礎栄養学				講義				奥野海良人			1年		前期		健康栄養学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格							単位認定の方法と フィードバックの有無					
2	15	30	必修		選択			管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理員							
			2					○	○		○	○			期末試験			100	有	
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート				
			基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然 コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト						
														授業内提出物						
														授業内活動						
														その他						
														計			100			
			フィードバックの方法																	
○		－		－		○	－	○	○	－	－	－	－							
当該科目の キーワード			《知識・理解》		栄養と食事の医学的意義の理解										期末試験は栄養学の意義を深く理解できたかの観点から評価し、次年度の実験に対する思考力を高める					
			《汎用的技能》		科学的知識を重視した栄養のプロを目指すこと															
			《態度・志向性》																	
授業概要			食と栄養の健康科学的意義を理解するとともに、ヒトでの栄養現象の全体像を修得させる。生きるために食べることは摂食行動から消化吸収を介して各臓器での栄養代謝まで深く関わっている。規則正しい食生活の意義や、環境変化に適応した内分泌・代謝の役割も関連させながら、健康の保持・増進、疾病の予防と治療に重要な栄養の基本的概念を解説する。																	
授業の到達目標			栄養の概念と食事の意義を科学的観点から理解する。																	
単位認定の要件			筆記試験の60%以上。																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																
			1	講義内容：栄養の概念（食事の意義、栄養と病気の関わり） 予習：（60分）教科書のp1～8までを読み込んでくる。 復習：（60分）何のために何を食べるのか考えられるようになる。5大栄養素とは何かを理解する。																
			2	講義内容：栄養学の歴史（三大栄養素の発見、ビタミン・ミネラルの発見） 予習：（60分）教科書のp8～17までを読み込んでくる。 復習：（60分）5大栄養素とそれらの発見に関わった人を知る。日本の栄養学の歴史を知る。																
			3	講義内容：タンパク質の種類と特徴（構造と分類） 予習：（60分）教科書のp30～35までを読み込んでくる。 復習：（60分）タンパク質の基本構造について説明できる。各種の分類方法で分類された生体内で働くタンパク質を知る。																
			4	講義内容：炭水化物の種類と特徴（構造と分類） 予習：（60分）教科書のp22～25までを読み込んでくる。 復習：（60分）炭水化物の構造と種類について説明できる。単糖のα型とD、L体について理解する。糖質のもつ還元性を説明できる。																
			5	講義内容：脂質の種類と特徴（構造と分類） 予習：（60分）教科書のp25～30までを読み込んでくる。 復習：（60分）脂質の構造と種類について説明できる。リポタンパク質の種類と役割について説明できる。																
			6	講義内容：摂食行動（空腹感と食欲、食事のリズムとタイミング） 予習：（60分）教科書のp57～69までを読み込んでくる。 復習：（60分）ホルモン、神経、感覚による食欲の調節作用を説明できる。																
			7	講義内容：消化・吸収と栄養素の体内動態（消化管の自律性、消化管ホルモン） 予習：（60分）教科書のp71～102までを読み込んでくる。 復習：（60分）口腔から肛門までの消化管の並びと働きを知る。消化管ホルモンと分泌細胞、作用を知る。栄養素の膜輸送方式の種類と特徴を理解する。																
			8	講義内容：糖質の消化・吸収・代謝 予習：（60分）教科書のp88～90までを読み込んでくる。 復習：（60分）糖質の消化吸収の仕組みを理解する。グルコースの各種代謝経路とその意義について説明できる。																
			9	講義内容：血糖値の調節 予習：（60分）教科書のp111～124までを読み込んでくる。 復習：（60分）血糖調節ホルモンの特徴を知る。血糖値を維持する仕組み（グルコースアラニン回路、コリ回路、脂肪組織の役割）と重要性を理解する。																
			10	講義内容：タンパク質の消化吸収 予習：（60分）教科書のp90～92までを読み込んでくる。 復習：（60分）タンパク質の消化吸収の仕組みを理解する。タンパク質の合成と分解の仕組みを理解する。																
			11	講義内容：アミノ酸の代謝と生理作用 予習：（60分）教科書のp159～171までを読み込んでくる。 復習：（60分）特定のアミノ酸を好んで代謝する臓器を知る。生体内でのアミノ酸の運命を説明できる。アミノ酸から合成される生理活性物質を知る。																
			12	講義内容：タンパク質の栄養評価 予習：（60分）教科書のp171～174までを読み込んでくる。 復習：（60分）生物学的評価法と化学的評価法を説明できる。タンパク質の欠乏症について知る。																
			13	講義内容：脂質の消化吸収 予習：（60分）教科書のp92～93までを読み込んでくる。 復習：（60分）脂質の消化吸収の仕組みを理解する。リポタンパク質の代謝について理解する。																
			14	講義内容：脂質の代謝 予習：（60分）教科書のp135～139、143～144、150～156を読み込んでくる。 復習：（60分）脂肪の合成と分解について順序だてて説明できる。エイコサノイドの生理作用と種類について知る。																
			15	講義内容：脂質の代謝と機能 予習：（60分）教科書のp139、145～150までを読み込んでくる。 復習：（60分）コレステロール、胆汁酸、脂肪、ケトン体の合成とその意義について説明できる。アディポサイトカインについて説明できる。																
教科書・教材			健康・栄養科学シリーズ 基礎栄養学（南江堂）																	
参考書・参考文献等			特になし																	
履修上の注意等			毎回の予習と復習が大切である。 復習内容は同時に到達目標であり、講義ごとに必ず達成すること。																	
実務経験との関連			実務経験の有無	無																

【3327】 専門教育科目 専門分野			授業形態				担当教員名			開講年次		開講時期		開講学科							
			講義				熊谷貴子			1年		後期		健康栄養学科							
応用栄養学																					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格								単位認定の方法と フィードバックの有無						
2	15	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者									
			2				○	○							期末試験			60	無		
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》						《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート				
			基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト			20	有		
															授業内提出物			10	有		
															授業内活動						
															その他			10	無		
															計			100			
			フィードバックの方法																		
○		－		－		○	－	－	○	○	－	－	－	－	－						
当該科目の キーワード			《知識・理解》		栄養管理の概念の理解											毎回のWeb課題と小テストについて、講義内で説明をする。					
			《汎用的技能》		ライフステージ別の健康管理の考え方と技法																
			《態度・志向性》		専門職としてのキャリア形成											アクティブラーニングの有無 (内容)		有			
授業概要			成長・発達、加齢に伴う人体の生理的変化と特徴を学び、栄養状態や心機能に応じた栄養ケア・マネジメント実施のための理論を理解する。また、健康な人の栄養管理の指標である食事摂取基準の基本的な考え方や活用方法を理解し、適切な栄養ケア実施のための基礎力を養い活用できるようにする。さらに、栄養状態の評価と判定(栄養アセスメント)の基礎的な考え方と栄養マネジメントの方法を習得する。													問題解決学習小テストや毎回の課題について講義中に解説するが、学生自ら主体的に取り組むことを前提としている。					
授業の到達目標			栄養管理の概念、時々刻々と変化する生活環境への適応、栄養状態の評価・判定、そして科学的な根拠に基づいた栄養素必要量の求め方を修得する。また、ライフステージ別にライフスタイルや様々な生活場面における個人の身体状況や栄養状態に応じた栄養管理のあり方と実際の学習する。																		
単位認定の要件			毎回の出席、筆記試験、授業内テスト、提出物の総合点60点以上。																		
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																	
			1	オリエンテーション:授業概要他 / 栄養ケア・マネジメントの考え方、栄養アセスメント 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分) 授業内容を振り返り理解を確実にすること。																	
			2	栄養ケア・マネジメント:栄養ケア計画 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分) 授業内容を振り返り理解を確実にすること。																	
			3	食事摂取基準の基礎的理解:<総論>意義、基本的事項、指標他 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分) 授業内容を振り返り理解を確実にすること。																	
			4	食事摂取基準の基礎的理解:<総論>活用の基礎理論(個人) 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分) 授業内容を振り返り理解を確実にすること。																	
			5	食事摂取基準の基礎的理解:<総論>活用の基礎理論(集団) 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分) 授業内容を振り返り理解を確実にすること。																	
			6	食事摂取基準の基礎的理解:<各論>エネルギー・栄養素別必要量 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分) 授業内容を振り返り理解を確実にすること。																	
			7	乳児期の栄養:離乳食(授乳・離乳支援ガイド) 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分) 授業内容を振り返り理解を確実にすること。																	
			8	幼児期の栄養:保育所給食、食物アレルギー 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分) 授業内容を振り返り理解を確実にすること。																	
			9	幼児期の栄養:保育所給食(献立計画) 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分) 授業内容を振り返り理解を確実にすること。																	
			10	高齢期の栄養と介護:疾患と栄養ケア(摂食障害への対応) 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分) 授業内容を振り返り理解を確実にすること。																	
			11	成人期の栄養:更年期障害 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分) 授業内容を振り返り理解を確実にすること。																	
			12	健康づくりのための身体活動 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分) 授業内容を振り返り理解を確実にすること。																	
			13	運動時の生理的特徴とエネルギー代謝 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分) 授業内容を振り返り理解を確実にすること。																	
			14	ストレスと栄養ケア 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分) 授業内容を振り返り理解を確実にすること。																	
			15	特殊環境と栄養ケア 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分) 授業内容を振り返り理解を確実にすること。																	
教科書・教材			健康・栄養科学シリーズ 応用栄養学 改定7版(南江堂) 日本人の食事摂取基準2020年版(第一出版)																		
参考書・参考文献等			健康・栄養科学シリーズ 基礎栄養学(南江堂)																		
履修上の注意等			毎回のWeb提出課題を出席および評価に含めます。期末試験は食事摂取基準と栄養管理の基本の理解について問う内容とする。次年度の応用栄養学実習等にも関連する内容であることから基礎的知識を定着させる。																		
実務経験との関連			実務経験の有無	有	病院での臨床経験がある教員が、その経験を生かして、ライフステージ別の栄養状態に応じた栄養管理の基本的な知識と手法、考え方について講義する。																

【3333】 専門教育科目 専門分野				授業形態				担当教員名				開講年次		開講時期		開講学科			
健康教育論				講義				前田朝美				1年		前期		健康栄養学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格									単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理者							
2	15	30	2				○	○								期末試験	90	有	
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート		無	
			基礎知識の体系的 理解  多文化・異文化  文化・社会・自然  コミュニケーション スキル	数量的 スキル  情報リテラシー  論理的思考力  問題解決力  自己管理能力	チーム ワーク  リーダー シップ  倫理観  社会的責任  生涯学習力	授業内小テスト		無											
						授業内提出物		無											
						授業内活動	10	有											
						その他		無											
						計	100												
			フィードバックの方法																
○			—	—	○	—	—	—	—	○	○	○	—						
当該科目の キーワード			《知識・理解》		疾病構造の変化、ヘルスプロモーション											期末試験は採点后に返却し、解説する。			
			《汎用的技能》		ヘルスリテラシー														
			《態度・志向性》		栄養教育の概念・歴史、社会的ニーズ											アクティブラーニングの有無 (内容)	有		
授業概要			健康教育においては、対象者が意欲的に規則正しい食習慣と運動習慣を整え、それを維持していくための支援が求められる。健康教育論では、栄養教育の概念や歴史について学び、その社会的背景や社会的ニーズを理解する。また、行動変容を促すためにどのような働きかけをしなければならないのか、行動科学やカウンセリングについて基本的な考え方を身に付け、管理栄養士として今後必要となる知識や技術について理解を深める。														問題解決学習、グループワーク		
授業の到達目標			①栄養教育の必要性やその社会的背景を理解できる。 ②栄養教育を行っていくために必要な知識や技術について理解できる。 ③管理栄養士の社会的役割を理解し、使命感を高める。																
単位認定の要件			到達目標の①～③の合計が60点以上																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容															
			1	ライフステージ・ライフスタイルと健康(1)食習慣・生活習慣 (2)運動習慣 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
			2	疾病構造の変化と健康教育 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
			3	健康教育の目的とヘルスプロモーション 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
			4	健康教育と行動科学～行動の種類と学習理論～ 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。講義で行った演習を完成させる。															
			5	「やる気」を引き出す健康教育～健康信念モデル、行動変容ステージモデル、自己効力感等～ 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。講義で行った演習を完成させる。															
			6	実践につなげる健康教育～目標設定～ 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。講義で行った演習を完成させる。															
			7	長続きさせるための健康教育～再発防止訓練、社会技術訓練等～ 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。講義で行った演習を完成させる。															
			8	対象者との関係づくり～カウンセリングの基本～ 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。講義で行った演習を完成させる。															
			9	健康教育のマネジメント 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。講義で行った演習を完成させる。															
			10	対象者の情報把握(1)健康状態に関するアセスメント 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
			11	対象者の情報把握(2)食事に関するアセスメント 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
			12	教育方法の種類と特徴 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
			13	教材の種類と特徴 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。															
			14	情報収集の方法 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。講義で行った演習を完成させる。															
15	健康教育とプレゼンテーションスキル 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。講義で行った演習を完成させる。																		
教科書・教材			丸山千鶴子ほか著「健康・栄養科学シリーズ 栄養教育論 改訂第5版」(南江堂)																
参考書・参考文献等			松本千明著「やる気を引き出す8つのポイント行動変容をうながす保健指導・患者指導」(医歯薬出版)																
履修上の注意等			教科書は2年後期の「栄養教育論」にも使用します。																
実務経験との関連			実務経験の有無	無															

【3403】 専門教育科目 選択科目			授業形態				担当教員名			開講年次		開講時期		開講学科						
トレーニング科学			講義							1年		後期		健康栄養学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格									単位認定の方法と フィードバックの有無				
2	15	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理員								
					2		□									期末試験				
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に 利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート				
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観		社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト 60 有		
																		授業内提出物		
																		授業内活動 20 無		
																		その他 20 無		
																		計 100		
			フィードバックの方法																	
○ — ○ — ○ ○ ○ ○ ○ ○ — — ○ ○ ○ ○ ○ ○																				
当該科目の キーワード			《知識・理解》			身体運動の制御機構、体力、トレーニングの原理・原則										授業内小テストは返却時にコメント記入。				
			《汎用的技能》			運動処方、評価(診断的・形成的・総合的)														
			《態度・志向性》			探求心 協力・協調										アクティブラーニングの有無 (内容)		有		
授業概要			トレーニングは、ヒトの身体的達成力を高めるとともに、健康の保持・増進・回復に貢献する。しかし、その処方が合理的・合目的でなければ期待する成果は得られない。本講義では、運動に関わるからだの仕組みを理解し、トレーニングの理論・具体的な運動処方・計画の立て方についての基礎知識を学ぶ。また、これらの知識が管理栄養士を志す者にとって、現場における実践的活用と課題解決につながるよう、マクロ的視野に立ったトレーニングに関する理解を深める。													グループディスカッション				
授業の到達目標			①身体運動の制御機構と運動によるからだの変化について理解する。 ②身体機能(筋力・パワー、持久力、柔軟性等々)を高めるためのトレーニング理論と方法について理解する。 ③年齢・性別に応じた健康保持・増進のためのトレーニング処方について理解する。																	
単位認定の要件			到達目標①～③の合計が60点以上																	
			回	内 容																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			1	ガイダンス、体力の評価と診断(健康指標としての体力要素) 予習:(90分)体力の分類及び行動体力を構成する体力要素について調べる。 復習:(90分)新体力テストの測定項目がどの体力要素を評価するものか、また、健康指標として用いられる体力要素は何かを整理する。																
			2	筋収縮のエネルギー供給機構 予習:(90分)筋収縮の種類と構造・機能等について調べる。 復習:(90分) ATP再合成システム、ATP-PCr系・解糖系・酸化系について理解する。																
			3	運動負荷の実効値と運動障害 予習:(90分)運動による外科的なスポーツ障害にどのようなものがあるか調べる。 復習:(90分) 力学及び解剖学的視点からの運動負荷の捉え方を理解する。																
			4	身体の運動機構①(その生理学的法則) 予習:(90分)ストレッチ運動にはどのような方法及び効果があるのか調べる。 復習:(90分) 筋線維の種類と運動適性の関係、効率的な運動を遂行するための反射の影響、脳と運動の関係について理解する。																
			5	身体の運動機構②(その力学的法則) 予習:(90分)物理学でいう「並進運動」と「回転運動」をヒトの運動に当てはめるとどうなるのか考えてみる。 復習:(90分)並進運動と回転運動における負荷の違い、筋力発揮に及ぼす摩擦の影響、双対動作による運動コントロールについて理解する。																
			6	トレーニングの原理・原則&トレーニング計画の立て方 予習:(90分)トレーニングの原理・原則について調べる。 復習:(90分) 特に健康の保持増進を目的としたトレーニングを行う場合の留意点について理解する。																
			7	ウォーミングアップとクーリングダウン 予習:(90分)自己体験をもとに、これまでやってきた「準備運動」と「整理運動」の内容をまとめておく。 復習:(90分) ウォーミングアップとクーリングダウンの身体に及ぼす効果とその具体的方法について理解する。																
			8	筋力・筋パワートレーニングの実際 予習:(90分)筋力・筋パワー向上のためのトレーニング方法を調べる。 復習:(90分) 筋力・筋パワーの向上を目的とした具体的な運動処方について理解する。																
			9	持久力(全身持久力・筋持久力)トレーニングの実際 予習:(90分)全身持久力・筋持久力向上のためのトレーニング方法を調べる。 復習:(90分)全身持久力・筋持久力の向上を目的とした具体的な運動処方について理解する。																
			10	柔軟性・敏捷性トレーニングの実際 予習:(90分)体力要素としてあげられる「柔軟性」、「敏捷性」とは何かを調べる。 復習:(90分)柔軟性・敏捷性を向上させる運動処方の実際について理解する。																
			11	調整カトレーニングの実際 予習:(90分)体力要素としてあげられる「調整力」とは何かを調べる。 復習:(90分) 調整力を向上させる運動処方の実際について理解し、自らも新たなトレーニング方法を考えてみる。																
			12	メンタルトレーニングの必要性和その方法 予習:(90分)メンタルトレーニングとは何か、その効果等について調べる。 復習:(90分) スポーツの場面だけでなく、日常生活においても精神面の自己制御がメンタルヘルスに効果のあることを理解する。																
			13	運動とダイエット 予習:(90分)身体活動量と体力・体組成の関係について調べる。 復習:(90分) 体脂肪の沈着は、運動や食事、血糖値の値、脂肪細胞の数等々、様々な要因に左右されることを確認する。																
			14	中高年者のトレーニング 予習:(90分)中高年者の体力の特徴について調べる。 復習:(90分) 中高年者のトレーニング効果及び身体活動の循環器系への影響やがん発症の予防効果等について理解する。																
			15	トレーニングと食事・サプリメント 予習:(90分)運動・食事・休養の関係について調べる。 復習:(90分) 目的とするトレーニングによって、いつ・何を摂取することが大切かを理解する。																
教科書・教材			〇もっととなつくとく スポーツサイエンス(講談社)																	
参考書・参考文献等			〇ストレングストレーニング &コンディショニング(ブックハウスHD) 〇トレーニング科学ハンドブック(トレーニング科学研究会:朝倉書房)																	
履修上の注意等			授業内試験として、2回の小テスト実施を予定しています。																	
実務経験との関連			実務経験の有無	無																





【3405】 専門教育科目 選択科目			授業形態				担当教員名			開講年次		開講時期		開講学科								
おいしさの科学					講義				奥野海良人			1年		前期		健康栄養学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格							単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修		選択			管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理員									
2	15	30			2			<input type="checkbox"/>								期末試験			100	有		
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート					
			基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然 コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト								
														授業内提出物								
														授業内活動				無				
														その他								
														計			100					
														フィードバックの方法								
					○	－	－	－	－	○	－	○	－	○	－		○	－				
当該科目の キーワード			《知識・理解》		おいしさを形成する因子													レポート、提出物等は採点・返却し、授業内で解説する。				
			《汎用的技能》		おいしいと感じさせるためには																	
			《態度・志向性》		おいしさと健康													アクティブラーニングの有無 (内容)		無		
授業概要			食育基本法が制定され、食育が盛んに行われている今、管理栄養士や栄養教諭の役割は重要であり、社会の期待も大きい。人は適切に食べることによって、健康が保持され増進される。食べ物と健康を考えると食べ方は重要であり、「おいしさ」は欠かせない要素である。そこで「おいしさ」を科学的に捉え、知識や技術を固めて食の専門家として食育に取り組む力を養う。																			
授業の到達目標			①科学的な根拠に基づいておいしさを追求することの大切さを理解する。②健康に結びつく「おいしさ」を理解するとともに食の専門家として知識・技術の習得を目指す。																			
単位認定の要件			期末試験の点数が60点以上。																			
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																		
			1	人間と食べ物のかかわり 予習：(60分)教科書のp1～p10までを読み込んで我々を取り巻く食品について考える。 復習：(60分)授業内容を振り返りスライドの内容を説明できるようにする。																		
			2	食べ物の状態と食べる人の状態 予習：(60分)教科書のp11～p19までを読み込んでおいしさに関する概要を理解する。 復習：(60分)授業内容を振り返りスライドの内容を説明できるようにする。																		
			3	食べ物の香り・味 予習：(60分)教科書のp19～p22までを読み込んで食物のもつ味・香り成分を理解する。 復習：(60分)授業内容を振り返りスライドの内容を説明できるようにする。																		
			4	食べ物の色・食感(テキストチャー) 予習：(60分)教科書のp23～p31までを読み込んで食物のもつ色・テキストチャー成分を理解する。 復習：(60分)授業内容を振り返りスライドの内容を説明できるようにする。																		
			5	オリエンテーション(味覚閾値検査) 予習：(60分)教科書のp72～p76までを読み込んで味覚閾値について理解する。 復習：(60分)授業内容を振り返りスライドの内容を説明できるようにする。																		
			6	味覚閾値検査 予習：(60分)教科書のp72～p76までを読み込んで味覚能力と検査方法について理解する。 復習：(60分)授業内容を振り返りスライドの内容を説明できるようにする。																		
			7	食品の褐変(カラメル化反応) 予習：(60分)教科書のp36～p38までを読み込んで食物の色とカラメル化反応について理解する。 復習：(60分)授業内容を振り返りスライドの内容を説明できるようにする。																		
			8	食品の褐変(メイラード反応) 予習：(60分)教科書のp36～p38までを読み込んで食物の色とメイラード反応について理解する。 復習：(60分)授業内容を振り返りスライドの内容を説明できるようにする。																		
			9	うま味成分の多様性 予習：(60分)教科書のp69～p72までを読み込んでうま味成分の種類、生理作用について理解する。 復習：(60分)授業内容を振り返りスライドの内容を説明できるようにする。																		
			10	出汁の種類と特徴 予習：(60分)教科書のp69～p72までを読み込んでうま味を含む味の相互作用について理解する。 復習：(60分)授業内容を振り返りスライドの内容を説明できるようにする。																		
			11	出汁のおいしさ 予習：(60分)教科書のp74～p76までを読み込んで各国の味覚教育の違いについて理解する。 復習：(60分)授業内容を振り返りスライドの内容を説明できるようにする。																		
			12	ゲル化した食品とおいしさ 予習：(60分)教科書のp39～p42までを読み込んでゾルとゲルの違いを理解する。 復習：(60分)授業内容を振り返りスライドの内容を説明できるようにする。																		
			13	ゾル化した食品とおいしさ 予習：(60分)教科書のp48～55までを読み込んでゾル・ゲル状の食品について理解する。 復習：(60分)授業内容を振り返りスライドの内容を説明できるようにする。																		
			14	食感や性質が変化する食品 予習：(60分)教科書のp55～62までを読み込んで油脂と砂糖による食品のテキストチャーの変理解する。 復習：(60分)授業内容を振り返りスライドの内容を説明できるようにする。																		
			15	プレゼンテーション 予習：(120分)おいしさに関するプレゼン資料をパワーポイントで作成する。 復習：(30分)おいしさに関するプレゼンの内容についてまとめる。																		
教科書・教材			特になし																			
参考書・参考文献等			調理と理論(同文書院) 新ビジュアル食品成分表(大修館書店) 三訂 健康・調理の科学第3版ーおいしさから健康へー(建帛社)																			
履修上の注意等			教材費として一人当たり800円を必要とします。 講義は時間割を変更して連続的に続けて行うことがあります。 おいしさに関わる物質の成分名や化学構造、化学変化等、少し難しい内容が多くなります。意欲的に自主学習を行ってください。																			
実務経験との関連			実務経験の有無	無																		

【3406】 専門教育科目 選択科目				授業形態		担当教員名		開講年次		開講時期		開講学科						
食品機能学				講義		富田雅弘		1年		前期		健康栄養学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格							単位認定の方法と フィードバックの有無				
2	15	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理員						
					2		□☆											
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に 利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》			
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観		社会的責任	生涯学習力	
			○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		○		
			《知識・理解》		食品の化学成分											連絡または面談		
			《汎用的技能》		国家試験問題解決力													
			《態度・志向性》															
					アクティブラーニングの有無 (内容)		無											
授業概要			食品機能には3つの機能性(栄養機能、嗜好機能、生態調節機能)があることは一般的に知られている。機能性は、基本的に化合物の化学構造に依存している。管理栄養士国家試験にも化学構造式に関する問題も出題されている。食品に含まれる成分中の機能性を発揮させる化学構造を中心に講義する。															
授業の到達目標			食品に含まれる栄養機能成分の化学構造や機能を理解する。 慣用名と化合物名が一致すること目標にする。 管理栄養士国家試験の問題が解けることを目標にする。															
単位認定の要件			筆記試験、受講内活動の合計が60点以上															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容														
			1	ガイダンス・概略 予習:( 分) 復習:( 分)														
			2	機能成分を理解するための有機化学(基礎) 予習:(60分)炭素(C)、水素(H)、酸素(O)、窒素(N)などについて思い出してくる。 復習:(90分)講義の内容を復習する。														
			3	機能成分を理解するための有機化学(化学構造式) 予習:(60分)配布プリントをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅱの乳類に関する管理栄養士国家試験を解く。														
			4	機能成分を理解するための有機化学(異性体) 予習:(60分)配布プリントをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅱの卵類に関する管理栄養士国家試験を解く。														
			5	たんぱく質の機能(アミノ酸) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰのアミノ酸に関する管理栄養士国家試験を解く。														
			6	たんぱく質の機能(ペプチド・たんぱく質) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰのたんぱく質に関する管理栄養士国家試験を解く。														
			7	糖質の機能(単糖類) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰの単糖類に関する管理栄養士国家試験を解く。														
			8	糖質の機能(オリゴ糖・多糖類) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰの多糖類に関する管理栄養士国家試験を解く。														
			9	脂質の機能(脂肪酸) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰの脂肪酸に関する管理栄養士国家試験を解く。														
			10	脂質の機能(脂質・脂肪) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰの脂肪に関する管理栄養士国家試験を解く。														
			11	ビタミンの機能(脂溶性ビタミン) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰのビタミンに関する管理栄養士国家試験を解く。														
			12	ビタミンの機能(水溶性ビタミン) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰのビタミンに関する管理栄養士国家試験を解く。														
			13	食品の二次機能成分(色素) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰの色素に関する管理栄養士国家試験を解く。														
			14	食品の二次機能成分(呈味) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰの呈味成分に関する管理栄養士国家試験を解く。														
			15	食品の二次機能成分(香り・その他) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰの香り・その他の成分に関する管理栄養士国家試験を解く。														
教科書・教材			水品善之、菊崎泰枝、小西洋太郎 編、 栄養科学イラストレイテッド「食品学Ⅰ」(羊土社) 講義プリント配布															
参考書・参考文献等			食品成分表															
履修上の注意等			選択科目であるが、管理栄養士国家試験に出題される内容なので、必修科目と同等に履修すること。															
実務経験との関連			実務経験の有無	無														

【3441】専門教育科目 選択科目			授業形態				担当教員名		開講年次		開講時期		開講学科					
被服学			講義				葛西美樹		1年		前期		健康栄養学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格							単位認定の方法と フィードバックの有無				
2	15	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理者						
					2		□				○	○			期末試験	30	有	
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート		
			基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然 コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		30	有	
														授業内提出物		20	有	
														授業内活動		20	有	
														その他				
														計		100		
			フィードバックの方法															
			○	－	○	－	－	－	－	○	○	○						
当該科目の キーワード			《知識・理解》		快適な衣生活の基礎的学習										期末試験は試験後に正答を提示する。授業内小テスト、提出物、活動は授業内でコメントする。			
			《汎用的技能》		衣生活の課題への関心と解決													
			《態度・志向性》		持続可能な社会を築く一員であることの自覚										アクティブラーニングの有無 (内容)		有	
授業概要			衣服の起源や役割、安全性、機能性など、ヒトが生理的、心理的、物理的に調和された快適な衣生活を送るための基礎的事項を学ぶ。特に生涯を通して健康で安全に生活するために、ライフステージの特徴を理解し適切な衣服の選択の重要性について理解を深める。また、多様化の進む複雑な現代の衣生活に目をむけ、真に豊かで、合理的な衣生活の構築を目指し学習する。												グループワーク			
授業の到達目標			① 衣服の機能を知る。 ② 衣服素材の種類や特徴について知る。 ③ 様々な環境に応じて適切に衣服を選択し、管理できる実践力、応用力を身につける。															
単位認定の要件			到達目標の①～③の合計が60点以上。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容														
			1	授業概要、到達目標 など 予習：(20分) シラバスを確認する。 復習：(160分) 授業内容を振り返る。														
			2	衣服と生活 1. 衣服の機能 予習：(90分) 小・中・高で学習した衣服の機能について確認する。 復習：(90分) 授業内容を振り返る。														
			3	衣服と生活 2. 衣服と繊維素材の起源、衣服の変遷 予習：(90分) 自身が知っている繊維素材についてまとめる。 復習：(90分) 授業内容を振り返り、衣服の変遷と構成の関係性を理解する。														
			4	衣服と素材 1. 繊維 予習：(0分) 復習：(180分) 繊維の種類と特徴について覚える。(小テストの予定あり)														
			5	衣服と素材 2. 糸 3. 布 予習：(0分) 復習：(180分) 糸標本・三原組織の標本を完成させる。														
			6	現代生活と衣服 予習：(90分) トrendファッションについて雑誌や広告を見る。 復習：(90分) 授業内容を振り返る。														
			7	衣服と印象(色彩とデザイン) 予習：(90分) 自分の好きな色を持つイメージについて調べる。 復習：(90分) 授業内容を振り返る。														
			8	衣服素材の性能 予習：(90分) 自身が知っている衣服素材の性能についてその意味を調べる。 復習：(90分) 授業内容を振り返る。														
			9	衣服素材と季節 予習：(90分) 季節と関係のある性能について調べる。 復習：(90分) 授業内容を振り返る。														
			10	衣服の管理 予習：(90分) 自身の衣服の管理方法について考える。 復習：(90分) 授業内容を振り返る。														
			11	衣服と表示 予習：(90分) 自身の衣服のタグの写真を撮る。 復習：(90分) 繊維に応じた衣服の管理方法についてレポートにまとめる。														
			12	衣服と安全性 予習：(40分) 子ども服の安全性について、指定した動画を視聴する。 復習：(140分) 授業内容を振り返る。														
			13	ライフステージに応じた衣服の選択 予習：(90分) 高齢者の身体的特徴について調べる。 復習：(90分) 授業内容を振り返る。														
			14	衣服と社会環境 予習：(90分) 自身の衣生活を振り返る。 復習：(90分) 授業内容を振り返り、課題を完結する。														
15	持続可能な社会を目指した衣生活 予習：(90分) SDGsと衣服について調べる。 復習：(90分) 衣服が直接または間接的に社会環境に及ぼす影響について考え、まとめる。																	
教科書・教材			特になし															
参考書・参考文献等			特になし															
履修上の注意等			衣生活の課題を見つめ解決するための方策を考えるなど、衣服に興味をもち、その理解に努めることを期待する。 発表や演習など、グループワークを行なうことがある。															
実務経験との関連			実務経験の有無	無														



【3446】 専門教育科目 選択科目			授業形態				担当教員名			開講年次		開講時期		開講学科										
アパレルCAD実習					実習				工藤寧子			2年		後期		健康栄養学科								
単位数		授業回数		時間数		卒業要件					免許・資格							単位認定の方法と フィードバックの有無						
1		15		30		必修		選択			管理栄養士		栄養士	栄養教諭	中学家庭		高校家庭				食品衛生 監視員・管理員			
								1							○		○			期末試験				
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目		《知識・理解》			《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》		期末レポート							
		基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任			生涯学習力	授業内小テスト						
																		授業内提出物			50	有		
																		授業内活動			50	有		
																		その他						
																		計			100			
		フィードバックの方法																						
				○		－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－								
当該科目の キーワード		《知識・理解》			設計に必要な基礎的知識の習得															授業内提出物は、返却する。授業内活動は、その場でコメントをする。				
		《汎用的技能》																						
		《態度・志向性》			サイズ表示やデザインの変化に対応する力																			
授業概要		アパレルCADシステムの基本操作を習得する。その後、快適で機能性、審美性を追求した衣服のパターン設計ができるように、基本となる採寸やスカート及びパンツのデザインと型紙との関係を把握する。また、パターンの組立て・フィッティングを行い、デザインの確認と縫製方法の流れを確認する。さらに、衣生活に応用できるように、衣服サイズ表示や既製服の構成を学ぶ。																			グループワーク、グループディスカッション			
授業の到達目標		1.パターン設計に必要な基礎的な知識の習得 2.アパレルCADシステムを活用出来る力の習得 3.日常着用している衣服のサイズ表示や構成を理解 4.自分の体型を把握し、好みのパンツパターン設計ができる 5.自分で考えたスカートとパンツのデザインを発表できる																						
単位認定の要件		到達目標の1～5の合計が60点以上。																						
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)		回	内 容																					
		1	アパレルCAD概論 予習：(0分) 復習：(45分) アパレルCADシステムを理解する																					
		2	CADの基本操作 点と線の種類 予習：(20分) 配布プリントを確認する 復習：(25分) CADの基本操作を振り返る																					
		3	CADの基本操作 移動・反転 予習：(20分) 配布プリントを確認する 復習：(25分) CADの基本操作を振り返る																					
		4	CADの基本操作 修正・領域 予習：(20分) 配布プリントを確認する 復習：(25分) CADの基本操作を振り返る																					
		5	スカートのパターン設計 タイツスカート 予習：(20分) 自身のタイツスカートを参考に、構成を確認する 復習：(25分) パターン設計のながれを振り返る																					
		6	スカートのパターン展開① セミタイツスカート 予習：(20分) 自身のセミタイツスカートを参考に、構成を確認する 復習：(25分) パターン設計のながれを振り返る																					
		7	スカートのパターン展開② マーメイドスカート 予習：(20分) 自身のマーメイドスカートを参考に、構成を確認する 復習：(25分) パターン設計のながれを振り返る																					
		8	体型について・体型測定の方法と採寸 予習：(20分) 体型の特徴について調べる 復習：(25分) 自身の体型を理解する																					
		9	動作による寸法の変化について、衣料サイズについて 予習：(25分) 家庭内にある衣服のサイズ表示を見る 復習：(20分) 動作による寸法の違いを理解する																					
		10	スカートパターンのサイズ展開(9号⇒7号・11号・13号・15号) 予習：(45分) さまざまな洋服のサイズ展開について調べる 復習：(0分)																					
		11	個人の体型に合った、ハーフパンツのパターン設計 予習：(20分) パンツ丈など、デザインを考える 復習：(25分) 型紙を完成させる																					
		12	プロッタによる出力・パターンの組立て 予習：(0分) 復習：(45分) トータル組みを完成させる																					
		13	フィッティング・パターンの修正方法について 予習：(0分) 復習：(45分) 修正方法を復習する																					
		14	パターンの修正 予習：(45分) パターン修正の手順を考える 復習：(0分)																					
15	自分で考えたパンツのデザインを発表 予習：(0分) 復習：(45分) 他者からの意見をもとに課題をまとめる																							
教科書・教材		配布プリントを使用する。																						
参考書・参考文献等		特になし																						
履修上の注意等		「被服立体構成実習」を履修する者は、必ず履修して下さい。																						
実務経験との関連		実務経験の有無	無																					

【3451】専門教育科目 選択科目				授業形態				担当教員名				開講年次		開講時期		開講学科				
住居学				講義				北原啓司				1年		前期		健康栄養学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件						免許・資格								単位認定の方法と フィードバックの有無			
2	15	30	必修		選択				管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理員						
			2				□			○	○									
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末試験	80	無		
			基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然 コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	期末レポート						
														授業内小テスト						
														授業内提出物						
														授業内活動						
			その他	20	無															
			計	100																
フィードバックの方法																				
○			－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
当該科目の キーワード			《知識・理解》			住まいと住生活の理解											アクティブラーニングの有無 (内容)			無
			《汎用的技能》																	
			《態度・志向性》																	
授業概要			住空間の形態や機能を把握した上で、住生活を計画するに留まらず、東北地方においては未発達の新たな集合住宅について学び、ライフステージに合わせた住宅のあり方、そして快適に住むために住環境を考え育んでいく能力を身につけるとともに、住宅からまちづくりにつながる点についても言及する。																	
授業の 到達目標			中・高家庭科教員免許に求められる住居の知識を習得するとともに、家を持つことよりも上手に住まうことを心がける住教育のあり方について、理解してもらうことになる																	
単位認定の要件			定期試験において講義の理解と習熟度を評価する(ノート等の持ち込みを認める)																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																
			1	ライフスタイル論①「家族と住まいの変遷」 予習:(分) 復習:(45分) 授業内容について振り返りを行う。																
			2	ライフスタイル論②「家族と住要求」 予習:(分) 復習:(45分) 授業内容について振り返りを行う。																
			3	ライフスタイル論③「日本の住宅政策」 予習:(分) 復習:(45分) 授業内容について振り返りを行う。																
			4	住居計画論①「間取りの考え方」 予習:(分) 復習:(45分) 授業内容について振り返りを行う。																
			5	住居計画論②「敷地と住戸まわりの計画」 予習:(分) 復習:(45分) 授業内容について振り返りを行う。																
			6	住居計画論③「集住の計画学(理論編)」 予習:(分) 復習:(45分) 授業内容について振り返りを行う。																
			7	住居計画論④「集住の計画学②(実践編)」 予習:(分) 復習:(45分) 授業内容について振り返りを行う。																
			8	住居計画論⑤「バリアフリーの住まい」 予習:(分) 復習:(45分) 授業内容について振り返りを行う。																
			9	住環境論①「住まいと健康」 予習:(分) 復習:(45分)授業内容について振り返りを行う。																
			10	住環境論②「快適な室内環境」 予習:(分) 復習:(45分)授業内容について振り返りを行う。																
			11	住環境論③「住まいの維持管理」 予習:(分) 復習:(45分) 授業内容について振り返りを行う。																
			12	住環境論④「震災復興と住まいづくり」 予習:(分) 復習:(分) 授業内容について振り返りを行う。																
			13	住環境論⑤「住環境教育」 予習:(分) 復習:(45分)授業内容について振り返りを行う。																
			14	住環境論⑥「リビング・リテラシー」 予習:(分) 復習:(45分) 授業内容について振り返りを行う。																
15	定期試験・まとめ 予習:(分) 復習:(45分)試験内容について振り返りを行う。																			
教科書・教材			特になし																	
参考書・参考文献等			特になし																	
履修上の注意等			ビジュアルなプレゼンテーションを行うので、記録だけではなく記憶にとどめて欲しい																	
実務経験との関連			実務経験の有無	無																

【3471】 専門教育科目 選択科目			授業形態				担当教員名				開講年次		開講時期		開講学科				
栄養士基礎演習			演習				前田朝美・花田玲子・他				1年		前期		健康栄養学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格								単位認定の方法と フィードバックの有無			
1			必修		選択			管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理員						
					1			☆	☆							期末試験			
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート	30	有	
			基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然 コミュニケーションスキル	数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力												授業内小テスト	15	有	
																授業内提出物	50	有	
																授業内活動	5	有	
																その他		無	
																計	100		
													フィードバックの方法						
			○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
当該科目の キーワード			《知識・理解》		管理栄養士・栄養士の資質、役割											レポート及び小テストは評価後に返却し、解説する。			
			《汎用的技能》		協調性、数量的スキル														
			《態度・志向性》		伝える力											アクティブラーニングの有無 (内容)		有	
授業概要			管理栄養士・栄養士の活躍の場を知り、将来、どのような分野で活躍したいのかを考える。各分野で活躍するために必要な専門的知識・技能や資質、課題解決のため考察力や判断力について理解する。社会に出て管理栄養士・栄養士として働くことの意味や役割を理解することで、主体的に学習に取り組む意欲を喚起する目的で実施する。														グループワーク、グループディスカッション		
授業の到達目標			管理栄養士・栄養士業務の総合的能力を修得するために ①各分野の管理栄養士・栄養士業務の実際を理解する。 ②業務に必要な知識・技能の基本を修得する。 ③管理栄養士・栄養士に必要な資質について理解する。 ④課題解決に必要な考察力、判断力、主体的な学習態度を修得する。																
単位認定の要件			①②③④の観点からの評価の結果が60点以上。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容															
			1	オリエンテーション 予習：(15分)シラバスを確認する。 復習：(30分)配布資料を確認する。															
			2	学生生活を充実させるために(在学生とのグループワーク) 予習：(15分)自己紹介シートの事前準備をする。 復習：(30分)自己紹介シートを完成させる。															
			3	管理栄養士の役割と実務(病院管理栄養士、行政管理栄養士) 予習：(15分)管理栄養士の活躍の場を調べる。 復習：(30分)レポートを作成する。															
			4	基礎的な資質を理解する(コミュニケーション力、連携と協同、リーダーシップ) 予習：(15分)資料を読む。 復習：(30分)レポートを作成する。															
			5	基礎的な能力を理解する(1)栄養に関する最近の話題 予習：(15分)資料を読む。 復習：(30分)レポートを作成する。															
			6	基礎的な能力を理解する(2)基本的な計算演習 予習：(15分)資料を読む。 復習：(30分)レポートを作成する。															
			7	学修技法(1)講義ノートの書き方、時間外学習について 予習：(15分)教科書のP1～26を読む。 復習：(30分)レポートを作成する。															
			8	学修技法(2)実験・実習の心構え、情報収集と活用 予習：(15分)教科書のP27～60を読む。 復習：(30分)レポートを作成する。															
			9	社会人基礎力 予習：(15分)資料を読む。 復習：(30分)レポートを作成する。															
			10	栄養士の業務を理解する1(献立作成①) 予習：(15分)資料を読む。 復習：(30分)主菜の献立計画を作成する。															
			11	栄養士の業務を理解する2(食品成分表、栄養価計算) 予習：(15分)食品成分表を読む。 復習：(30分)次回小テストの勉強をする。															
			12	栄養士の業務を理解する3(献立作成②) 予習：(15分)資料を読む。 復習：(30分)週間献立計画表を作成する。															
			13	栄養士の業務を理解する4(食事摂取基準) 予習：(15分)資料を読む。 復習：(30分)次回小テストの勉強をする。															
			14	栄養士の業務を理解する5(献立作成③) 予習：(15分)資料を読む。 復習：(30分)常食献立1日分を作成する。															
			15	自身の管理栄養士像を考える 復習：(45分)期末レポートを作成する。															
教科書・教材			栄養士・管理栄養士をめざす人の文章術ハンドブック 西川真理子 化学同人																
参考書・参考文献等			参考書等は授業内で指示します。																
履修上の注意等			欠席した回のレポートも提出が必要です。																
実務経験との関連			実務経験の有無	無															

【3602】 教職に関する科目			授業形態				担当教員名			開講年次		開講時期		開講学科				
教職の理解				講義				齋藤雅俊・他			1年		前期		健康栄養学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格							単位認定の方法と フィードバックの有無			
2	15	30	必修		選択			管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・管理員					
					2					○	○	○			期末試験			
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート		
			基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然 コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト				
														授業内提出物				
														授業内提出物				
														授業内活動				
														その他				
			計			100												
フィードバックの方法																		
			○	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	各担当者が行う。			
当該科目の キーワード			《知識・理解》		生きる力										各担当者が行う。			
			《汎用的技能》		主体的対話的で深い学び													
			《態度・志向性》		学び続ける教師、チーム学校													
授業概要			教育のあり方、及び教員としての意識の向上を図るためには、教育の理論と実践を関係づけ、さらに生き生きとした生の教育現場への理解が必要である。本講義では教職の意義及び教員の役割、並びに教員の職務などについて、各人の切り口で、それぞれ実際の面での工夫や苦心も交えて講じる中で、教職の現実についての理解を深めていく。また、「チーム学校」として、専門性に基づく体制の在り方と機能的運営、教員一人ひとりの力の発揮とともに校内外の連携についても触れる。特に、最終回では全体を総括して、社会における教育の重要性、教職に対する期待と心構えを説く。												グループワークのある回等			
授業の到達目標			教職に対する心構えを培う。教職を目指す学生として、教職の意義、教員の役割、教員の職務、学校現場での教員、求められる教師像、教職への進路選択に指標となる内容等について理解する。															
単位認定の要件			各回の評価合計を実施回数「15」で割った平均点が、60点以上であること。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容														
			1	オリエンテーション:「教職」とは何か、教師の役割と職責について(齋藤 雅俊) 予習: (60分)Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。 復習: (60分)授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。														
			2	現在の学校教育(1):子どもの個性・可能性を引き出し、伸ばす教師とは(齋藤 雅俊) 予習: (60分)Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。 復習: (60分)授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。														
			3	現在の学校教育(2):確かな学力を育むために(小林 琢哉) 予習: (90分)学力の内容と測定・評価の方法について調べておく。 復習: (90分)これまでの自分の学習経験と授業の内容を比較しながら、確かな学力を育むためには何が必要か考察する。														
			4	現在の学校教育(3):学び続ける教師をめざして(小林 琢哉) 予習: (90分)教師にとっての学びとは何か、調べておく。 復習: (90分)教師が学び成長し続けるためには何が必要か、考察をまとめる。														
			5	現在の学校教育(4):子どもに寄り添う教育、生活指導・生徒指導のあり方とは(萩臺 美紀) 予習: (90分)生徒指導とは何かを調べること、生徒指導提要の基礎の箇所を読んでおくこと。 復習: (90分)生徒指導提要を改めて読み、生徒指導の定義、目的について理解を深める。														
			6	学校間の連携(1):生活指導・生徒指導における幼小中高の連携について(萩臺 美紀) 予習: (90分)幼小中高の各段階の発達的特徴について調べる。 復習: (90分)幼小中高で生じる問題と連携の具体的な取り組みについて理解を深める。														
			7	学校間の連携(2):発達障害と生徒指導について(萩臺 美紀) 予習: (90分)幼小中高で生じる発達障害特性を抱える児童・生徒の困り感について調べる。 復習: (90分)発達障害特性を抱える児童・生徒への支援方法について自分の考えをまとめる。														
			8	家庭との連携(1):保護者との信頼関係の構築(萩臺 美紀) 予習: (90分)保護者と教員との関わりにはどのような場面があるか調べる。 復習: (90分)保護者と信頼関係を構築する方法について理解を深め、自分自身のコミュニケーション上の課題を考える。														
			9	家庭との連携(2):不適応行動における連携の実践(萩臺 美紀) 予習: (90分)不登校支援における保護者との連携方法について調べる。 復習: (90分)不登校支援における考え方、保護者の協力について自分の考えをまとめる。														
			10	地域社会との連携(1):生涯学習社会における学校、家庭、地域社会との連携・協働に関わる施策や施設について(安川由貴子) 予習: (90分)地域社会との連携・協働がなぜ必要なのかを考え、自身の経験を振り返る。 復習: (90分)地域社会との連携・協働の必要性や意義について、自分の考えをまとめる。														
			11	地域社会との連携(2):地域社会に開かれた学校にむけて(コミュニティ・スクール、地域学校協働活動の実践)(安川由貴子) 予習: (90分)地域社会との連携・協働の実践例について調べる。 復習: (90分)学校と地域社会との連携・協働のあり方や課題について、自分の考えをまとめる。														
			12	教育現場における現代的課題(1):ICTを活用した教育について(小林 琢哉) 予習: (90分)現代の教育でICTがどのように活用されているか調べておく。 復習: (90分)これからの教育におけるICT活用の意味について考察する。														
			13	教育現場における現代的課題(2):キャリア教育と人間形成(齋藤 雅俊) 予習: (60分)Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。 復習: (60分)授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。														
			14	教育現場における現代的課題(3):多様な教育機会の保障(齋藤 雅俊) 予習: (60分)Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。 復習: (60分)授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。														
			15	まとめ:現代の教員に求められる資質・能力と教職の道への挑戦(齋藤 雅俊) 予習:なし 復習: (60分)授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。														
教科書・教材			オムニバス方式の授業のため、毎回担当者が資料等を用意する。															
参考書・参考文献等			特定の参考書は使用しないが、「教職とは何か」と言う問いに関わる本を自主的に探して読むこと。															
履修上の注意等			特になし															
実務経験との関連			実務経験の有無	有	(萩臺)スクールカウンセラーの経験のある教員が、児童生徒の発達的特徴を踏まえた問題行動、支援、保護者との連携方法について講義する。													



【9001】 #N/A				授業形態			担当教員名			開講年次		開講時期		開講学科					
介護等体験				実習			福士章子			1年		前期		健康栄養学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件						免許・資格							単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修		選択														
—					—						○					単位なし	100	無	
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目		《知識・理解》			《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》				
		基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任				生涯学習力	
		○	—	○	○	—	—	○	—	○	○	—	○	○				○	○
当該科目の キーワード		《知識・理解》			特別支援学級及び社会福祉施設の特徴、留意点												実習ノートはコメントをつけ、返却している（体験先でコメントをくれることもある）。		
		《汎用的技能》			障害者・高齢者に対する介護・介助・交流														
		《態度・志向性》			教職員や利用者との共働 教員としての資質向上														
授業概要		介護等体験に備えて、4回のガイダンスを実施する。ガイダンスでは、介護等体験の意義、心構え、事前に勉強しておくことなどを説明し、申し込みに必要な書類の準備やネットでの登録手続きなどをする。事前の指導を充実させることで、学生に有意義な体験をしてもらいたい。															自分の実習先について調べ、介助について必要な知識を得ておく。車椅子の操作を自分たちで練習しておく。		
授業の到達目標		「義務教育（小・中）に従事する教員が、個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する意識を深め、教員としての資質向上を図り、義務教育の充実を期する観点から、小学校、中学校の普通免許状の取得を希望する者に、障害者、高齢者に対する介護、介助、交流の体験を行うものである」という教育職員免許法、特例法に基づき、青森県内の特別支援学校2日間、社会福祉施設5日間の介護等体験を実施する。																	
単位認定の要件		体験先からいただく証明書2枚（特別支援学校1枚、社会福祉施設1枚）が教員免許申請の際、必要になります。																	
授業計画 （予習、復習の内容・時間含む）		内 容																	
		介護等体験の意義を理解する。県内の特別支援学校の特徴や所在地を確認し、希望調査票に正しく記入し、提出する。社会福祉施設申し込みに関わるネットでの登録、検索・申し込みの手順や方法を理解し、入力作業をし、登録を完了する。受付開始日に自分で申し込みできるようにしておく。特別支援学校の配属決定を受け、申し込み書類を作成し提出する。体験先への事前連絡と挨拶、お礼状の書き方、証明書の取り扱い、実習ノートの記入の仕方などを理解する。連絡網を作成する。社会福祉施設配属決定を受け、施設利用者（高齢者、障害者）と接する際の留意点および介助（入浴、着替え、食事、車椅子の操作など）の具体的な方法などを理解する。連絡網を作成する。各施設における具体的な諸注意（1週間前に事前連絡をすること、給食費、服装、検便の有無など）を確認する。レクリエーションの企画の準備をする。 証明書、実習ノートの配布、記入方法の確認をする。実習における心構えを再度確認する。  【授業時間外学習の指示】 実習に行く前に特別支援学校や社会福祉施設の特徴や介助の留意点等を学習し、車椅子の使用方法も練習すること。																	
教科書・教材		特になし																	
参考書・参考文献等		特になし																	
履修上の注意等		介護等体験を希望する人はガイダンスに必ず出席してください。																	
実務経験との関連		実務経験の有無	無																